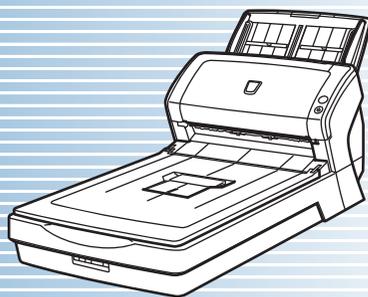


ScanPartner SP30F

イメージスキャナ

オペレーターガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書では、本製品の基本的な操作および取り扱い方法について説明しています。
スキャナの設置および接続については、Quick Installation Sheet を参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

各部の名称と働きおよび基本的な操作について説明しています。

スキャナをお使いになる前に

原稿をスキャナにセットする方法について説明しています。

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法について説明しています。

操作パネルの操作方法

いろいろな原稿を読み取る方法について説明しています。

いろいろな読み取り方

清掃方法について説明しています。

日常のお手入れ

消耗品の交換について説明しています。

消耗品の交換

トラブルの対処方法など、困ったときの対処方法について説明しています。

困ったときには

Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナの動作設定

付録

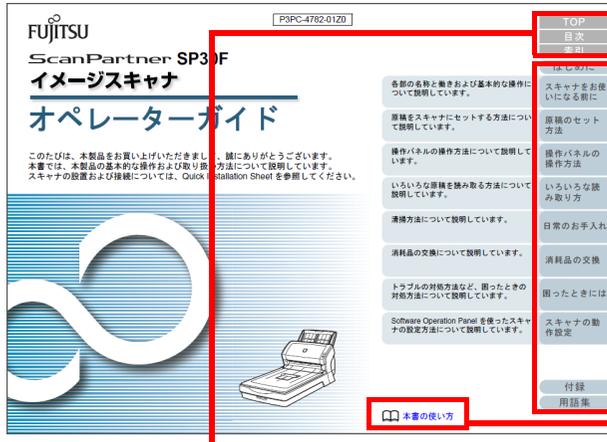
用語集

本書の使い方

本書の使い方について説明します。

- 本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
 - 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
 - キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。
 - 本文中の青字 / ツメ / 目次 / 索引など（マウスがリンク選択時の形状（ など）に変わる箇所）をクリックすると、参照先に移動します。
- 共通ページ

各章の先頭ページに移動します。
このツメは全ページにあります。



- TOP : 表紙ページに移動します。
- 目次 : 目次ページに移動します。
- 索引 : 索引ページに移動します。
- このツメは全ページにあります。
- 本書の使い方ページに移動します。
- 本文中の青字をクリックすると、参照先に移動します。

- 目次ページ



クリックしたタイトルのページに移動します。

- 索引ページ



クリックした索引のページに移動します。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

本製品の概要

本製品とは、イメージスキャナ ScanPartner のことです。
スキャナには、両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) が搭載されており、インターフェースは USB をサポートしています。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意 (紙、PDF)	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。PDF 版は Setup DVD-ROM で提供されています。
Quick Installation Sheet	スキャナの設置や設定などを説明しています。
オペレーターガイド (本書) (PDF)	基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Error Recovery Guide (HTML ヘルプ)	エラーが発生した場合に、スキャナの状態と対処方法を表示します。また、消耗品の交換方法なども動画で説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
スキャナドライバヘルプ	各スキャナドライバの使い方や設定方法などを説明しています。各スキャナドライバから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションの使い方や設定方法などを説明しています。必要に応じてご使用ください。各アプリケーションから参照できます。

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentium、および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。

ABBYY™ FineReader™ 9.0 Sprint

© 2013 ABBYY, All rights reserved.

ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd. の商標です。

Presto!™ PageManager™ 9

© 2002-2013, NewSoft Technology Corp. All Rights Reserved.

NewSoft、Presto!、および PageManager は、NewSoft Technology Corporation の登録商標または商標です。

ScanSnap および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒 212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地

(ソリッドスクエア東館)

TEL:044-540-4538

© PFU LIMITED 2014

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® XP Home Edition	Windows XP (*1)
Windows® XP Professional	
Windows® XP Professional x64 Edition	
Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット)	Windows Vista (*1)
Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット)	
Windows Vista® Business (32/64 ビット)	
Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット)	
Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット)	Windows Server 2008 (*1)
Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット)	
Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット)	
Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット)	Windows 7 (*1)
Windows® 7 Professional (32/64 ビット)	
Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット)	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

名称	本文中の表記
Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 (*1)
Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 R2 (*1)
Windows® 8 (32/64 ビット)	Windows 8 (*1)
Windows® 8 Pro (32/64 ビット)	
Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 8.1 (32/64 ビット)	Windows 8.1 (*1)
Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット)	
Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット)	
Microsoft® Word	Word
Microsoft® Office Word	
Microsoft® Excel®	Excel
Microsoft® Office Excel®	
Presto!™ PageManager™ 9	Presto! PageManager
ABBYY™ FineReader™ 9.0 Sprint	ABBYY FineReader Sprint
ScanSnap A3 キャリアシート (*2)	A3 キャリアシート

名称	本文中の表記
PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner	PaperStream IP ドライバ
PaperStream IP (TWAIN x64) for ScanPartner	
PaperStream IP (ISIS) for ScanPartner	

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

*2：オプションとして用意しています。詳細は「付 .4 スキャナのオプション」(P.146) を参照してください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロールパネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、PaperStream IP ドライバのものであります。

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、PaperStream IP ドライバをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

目次

本書の使い方	2
はじめに	3
本書をお読みになる前に	5
第 1 章 スキャナをお使いになる前に	14
1.1 特長	15
1.2 各部の名称と働き	16
1.3 電源の投入 / 切断	20
電源の投入	20
電源の切断	20
1.4 ADF の開閉	21
ADF の開け方	21
ADF の閉じ方	21
1.5 ドキュメントカバーの開閉	22
ドキュメントカバーの開け方	22
ドキュメントカバーの閉じ方	22
1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	23
1.7 スタッカーの設定	24
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	25
1.9 読み取り操作の流れ	26
1.10 添付ソフトウェア	28
添付ソフトウェアの概要	28
動作環境	29
添付ソフトウェアのインストール	30

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第 2 章	原稿のセット方法	31
2.1	ADF での原稿のセット	32
	原稿の準備	32
	原稿のセット方法	33
2.2	フラットベッドでの原稿のセット	34
2.3	読み取りできる原稿	35
	原稿のサイズ	35
	読み取りできる原稿の条件	35
	セットできる原稿の枚数	38
	穴を開けてはいけない領域	39
	マルチフィードを正しく検出するための条件	39
	混載条件	41
	自動用紙サイズ検出を行うための条件	43
	A3 キャリアシートを使用する場合の条件	44
第 3 章	操作パネルの操作方法	45
3.1	操作パネルをお使いになる前に	46
	操作パネルの名称と働き	46
	ランプ (LED) の表示内容	47
第 4 章	いろいろな読み取り方	48
4.1	読み取り方一覧	49
4.2	種類やサイズが異なる原稿の読み取り	50
	幅の違う原稿を読み取りたいとき	50
	A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき	51
	写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき	54
	長尺帳票を読み取りたいとき	56
	本を読み取りたいとき	57
	フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき	59

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

目次	
4.3	読み取り方の変更 61
	ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき 61
4.4	読み取り時のスキャナ動作の変更 62
	スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき 62
第 5 章	日常のお手入れ 64
5.1	清掃用品および清掃が必要な場所 65
	清掃用品 65
	清掃箇所と清掃頻度 66
5.2	スキャナ外部の清掃 67
5.3	スキャナ内部の清掃 68
	ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合） 68
	ADF の清掃（布による場合） 69
	フラットベッドの清掃 73
5.4	A3 キャリアシートの清掃 74
第 6 章	消耗品の交換 75
6.1	消耗品と交換周期 76
6.2	ブレーキローラの交換 77
6.3	ピックローラの交換 79
第 7 章	困ったときには 82
7.1	原稿づまりが発生したときは 83
7.2	操作パネルのエラー表示 85
	一時的エラー 86
	装置異常 87
7.3	困ったときには 89
	電源が投入されない 90
	読み取りが開始されない 91
	白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる 92

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

文字や線の読み取り結果が良くない.....	93
画像がゆがむまたは鮮明ではない.....	94
読み取った画像に縦線が出る.....	95
スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルの Check ランプ (LED) が点灯または点滅している.....	96
マルチフィードが頻繁に起こる.....	97
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる.....	99
原稿つまり / ピックミスが頻繁に起こる.....	100
読み取った画像が間延びする.....	101
読み取った画像の先端または後端に影がある.....	102
原稿に黒い跡が残る.....	103
A3 キャリアシートがうまく送られない / つまる.....	104
A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける.....	106
7.4 サービスセンターに連絡する前に.....	107
概要.....	107
エラーの状況.....	108
7.5 装置ラベルの確認.....	109
ラベルの位置.....	109
第 8 章 スキャナの動作設定.....	110
8.1 Software Operation Panel の起動.....	111
8.2 Software Operation Panel のパスワード設定.....	113
パスワードの設定.....	113
「閲覧モード」の設定.....	114
「閲覧モード」の設定解除.....	115
パスワードの変更.....	116
パスワードの設定解除.....	117
パスワード紛失時の対応.....	118

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.3	設定できる項目	119
	装置設定	119
	装置設定 2	121
8.4	枚数カウンタに関する設定	124
	枚数カウンタの確認およびリセット	124
	消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）.....	126
8.5	読み取りに関する設定	127
	読み取り開始位置の調整（オフセット設定 / 倍率調整）.....	127
	読み取った画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）・縁消し（FB））.....	128
	指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）.....	130
	読み取り時間の短縮（プレピックモード）.....	131
	給紙のリトライ回数設定（給紙のリトライ回数）.....	131
	高地で読み取る機能の設定（高地モード）.....	132
8.6	マルチフィード検出に関する設定	133
	マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）.....	133
	マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）.....	135
8.7	待機時間に関する設定	138
	手挿入モードの待機時間の設定（手挿入タイムアウト）.....	138
	省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）.....	139
8.8	電源投入 / 切断に関する設定	140
	電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）.....	140
付録	141
付 .1	スキャナ基本仕様	142
付 .2	設置諸元	144
付 .3	外形寸法	145
付 .4	スキャナのオプション	146
付 .5	ソフトウェアのアンインストール手順	148
付 .6	e- 文書法に適合した電子文書の作成	149

修理・お問い合わせ	151
用語集	155
索引	164

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第1章 スキャナをお使いになる前に

この章では、各部の名称と働きおよび基本的な操作方法について説明します。

1.1 特長	15
1.2 各部の名称と働き	16
1.3 電源の投入 / 切断	20
1.4 ADF の開閉	21
1.5 ドキュメントカバーの開閉	22
1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	23
1.7 スタッカーの設定	24
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	25
1.9 読み取り操作の流れ	26
1.10 添付ソフトウェア	28

1.1 特長

本製品の特長について説明します。
本製品には、次のような特長があります。

高速読み取りを実現

毎分30枚/60面(*1)の読み取り速度を実現しました。さらに、一度に50枚までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

読み取り前処理を効率化

厚さ・サイズの異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」ができます。読み取り前の原稿仕分け作業を簡略化できます。

マルチフィードによる業務ロスを低減

一度に2枚以上の原稿が重なって給紙（マルチフィード）されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されています。厚さ・サイズが異なる原稿を混載読み取りする場合でも、マルチフィードを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

e-文書法(*2)の画質要件を満たす画像を生成

2005年4月に施行されたe-文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類（申込書、請求書、検収書など）を、電子化して保存できるようになりました。e-文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e-文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

A4サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿の読み取りを実現

A4サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿を読み取るために、A3キャリアシートをオプションとして用意しています。A3キャリアシートは、複数枚まとめて読み取ったり、一般の原稿と同時に読み取ったりできます。

*1：解像度300dpiで、A4サイズの原稿を読み取った場合です。

*2：e-文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、この法律の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.2 各部の名称と働き

スキャナの各部名称について説明します。

■前面

サイドガイド

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

ADF（自動給紙機構）

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。
消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開きます。

スタッカー

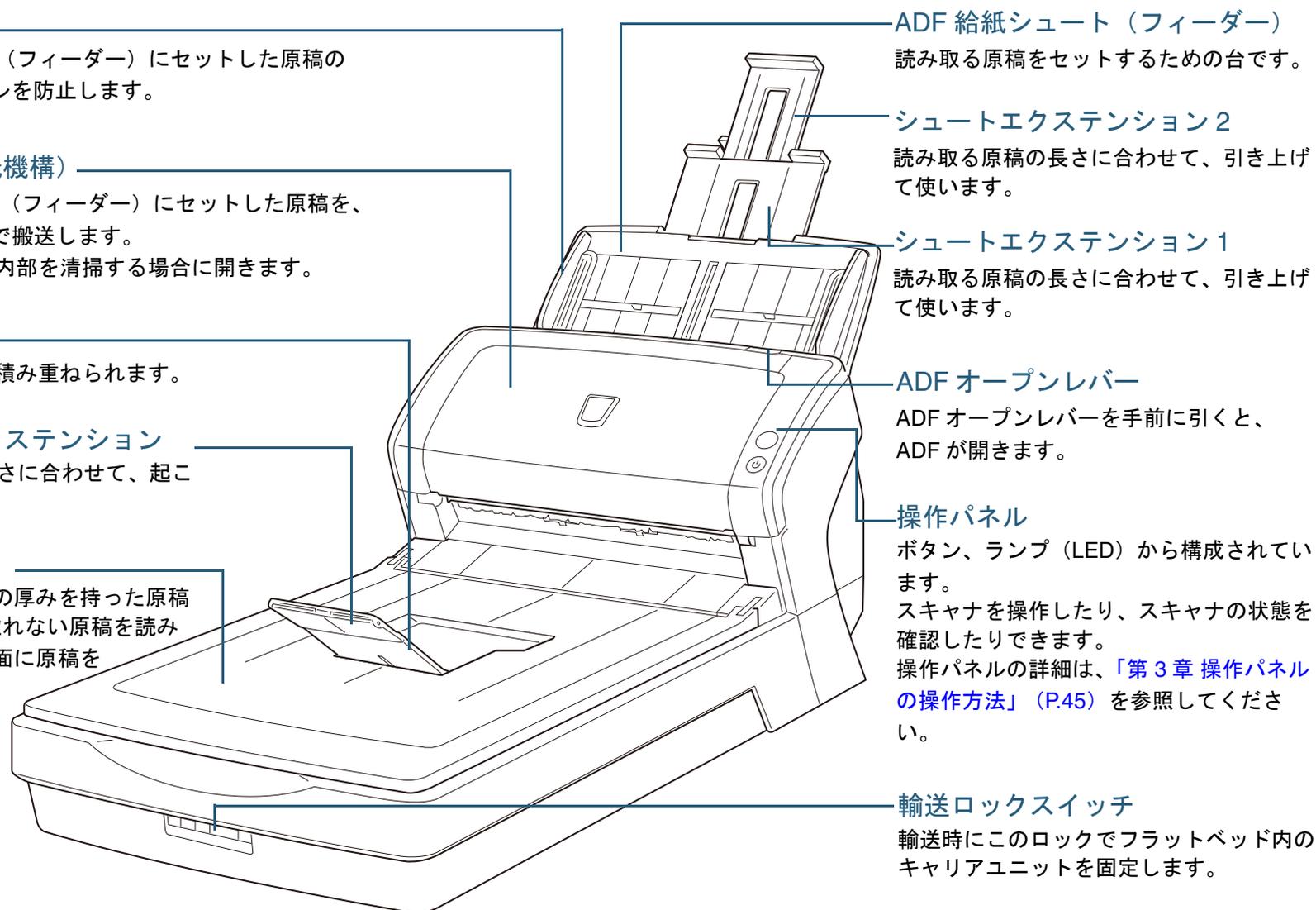
排出された原稿が積み重ねられます。

スタッカーエクステンション

読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。

フラットベッド

薄い原稿、本などの厚みを持った原稿など ADF で読み取れない原稿を読み取る場合、ガラス面に原稿を置きます。



ADF 給紙シュート（フィーダー）
読み取る原稿をセットするための台です。

シュートエクステンション2
読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

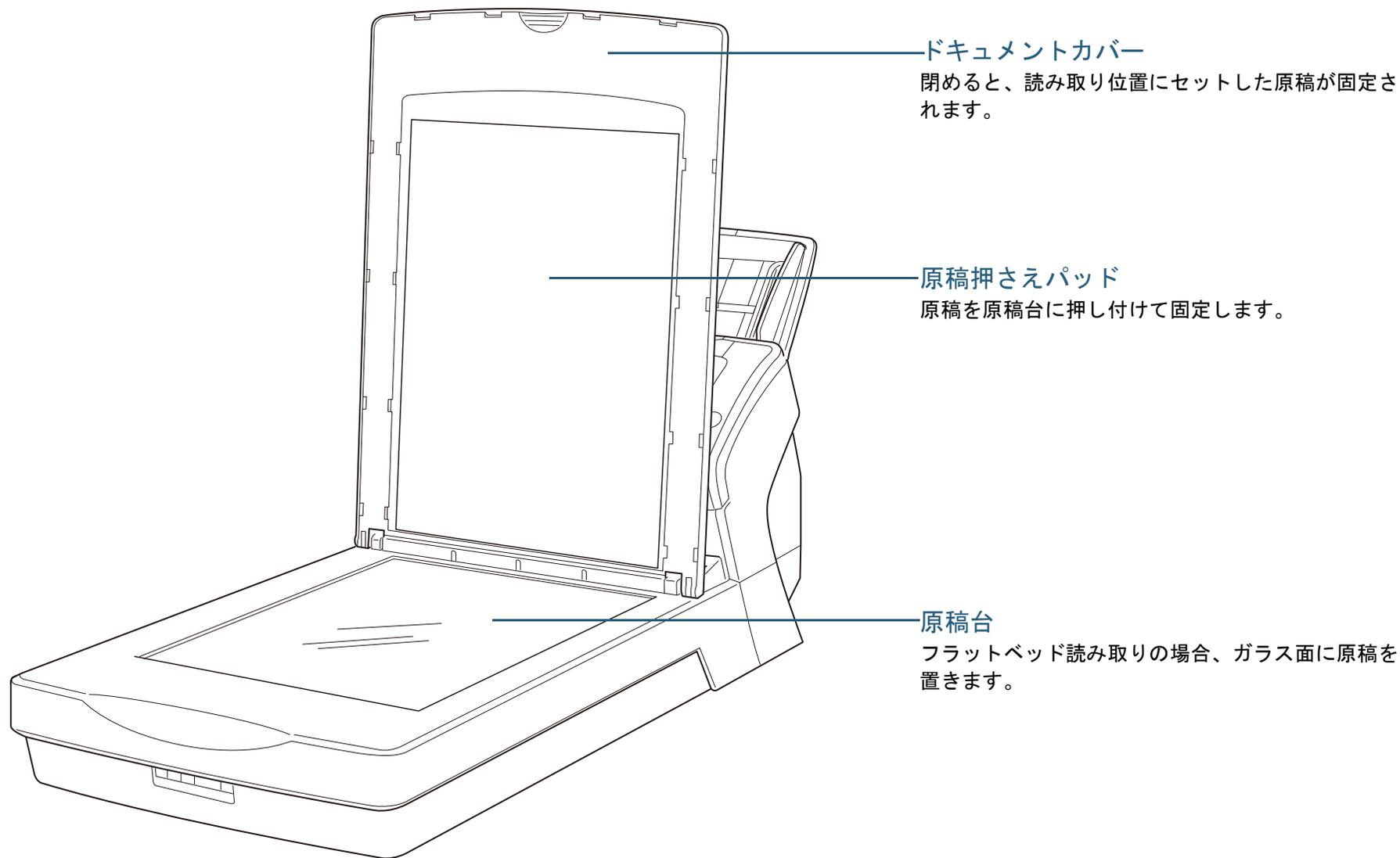
シュートエクステンション1
読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

ADF オープンレバー
ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。

操作パネル
ボタン、ランプ（LED）から構成されています。
スキャナを操作したり、スキャナの状態を確認したりできます。
操作パネルの詳細は、「第3章 操作パネルの操作方法」（P.45）を参照してください。

輸送ロックスイッチ
輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。

■内部



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

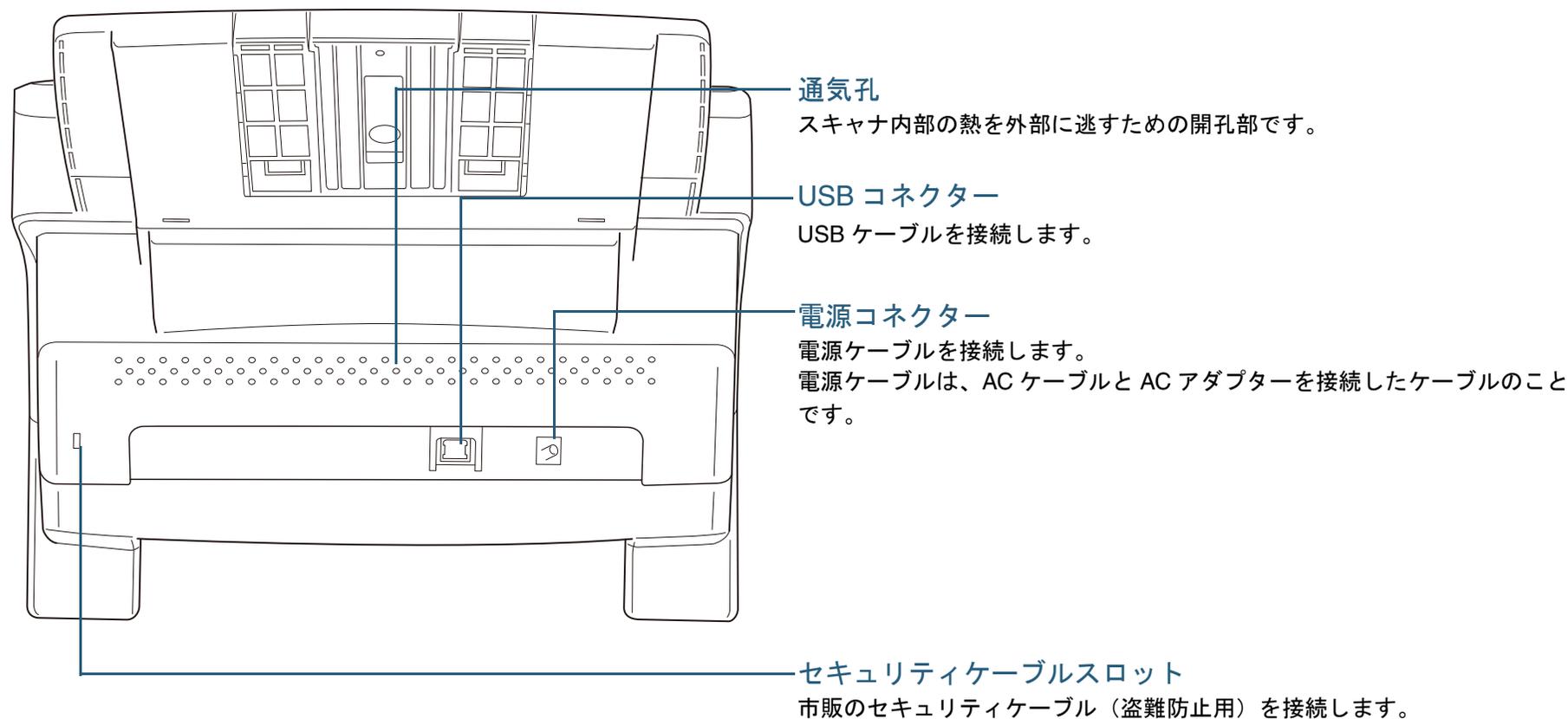
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■背面



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

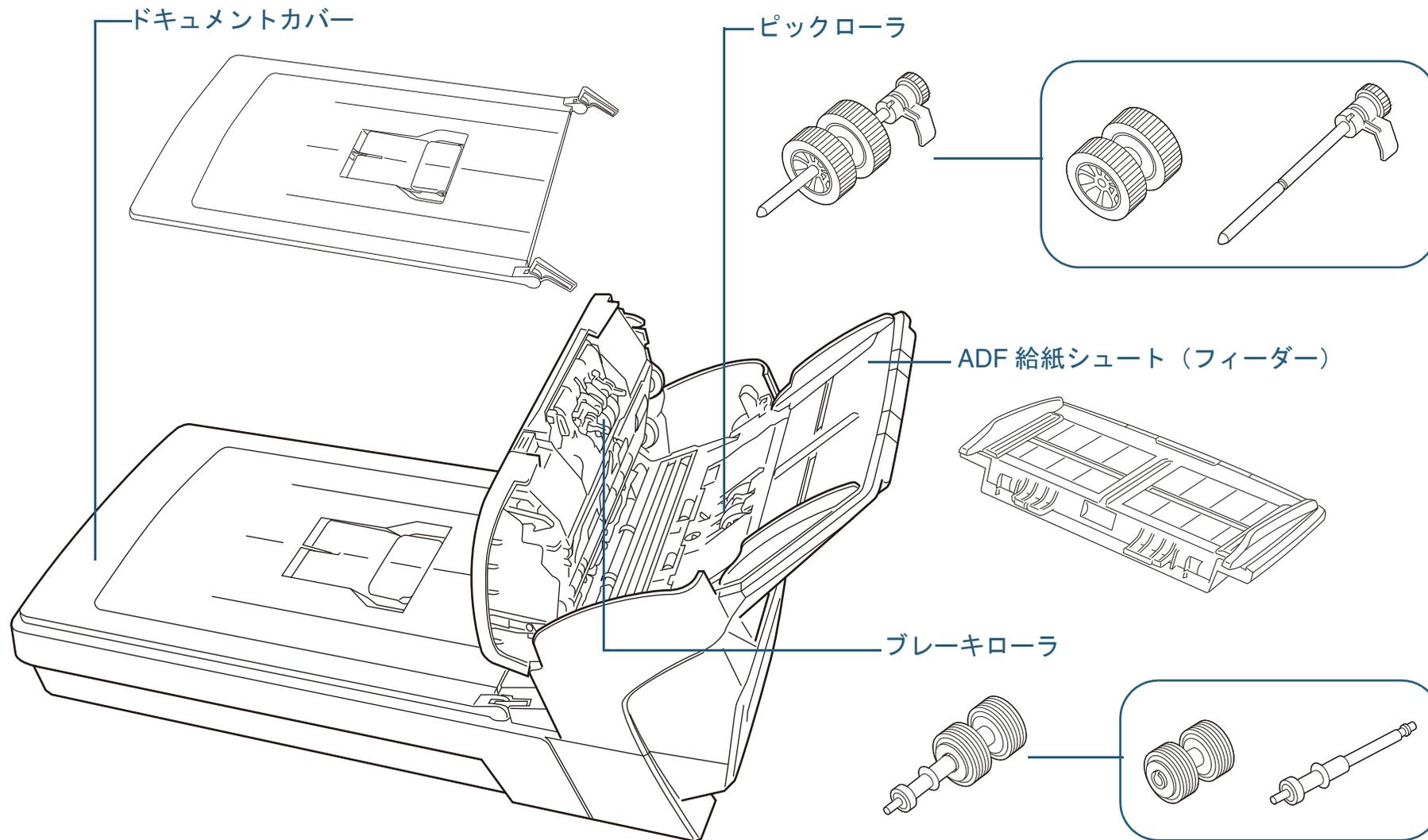
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■取り外し可能部品



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.3 電源の投入 / 切断

電源の投入 / 切断について説明します。

ヒント

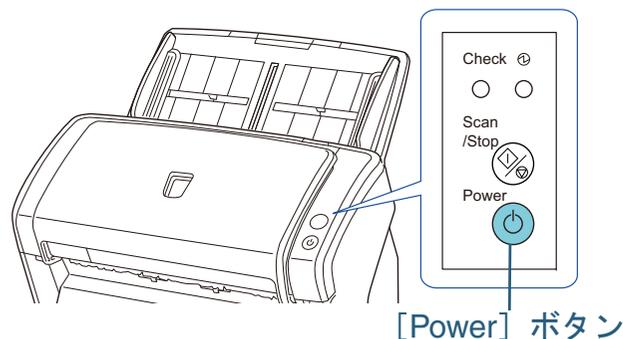
スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源に合わせてスキャナなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用して電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

詳細は、「[電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）](#)」（P.140）を参照してください。

電源の投入

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを押します。



[Power] ボタン

⇒ 電源が投入され、初期化処理実行中は、Power ランプ（LED）が点滅します。

Power ランプ（LED）が点灯すると、レディ状態となります。

ヒント

[Power] ボタンを押したとき、Check ランプ（LED）が一瞬点灯しますが、初期診断によるものであり、故障ではありません。

電源の切断

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを2秒間以上押します。
⇒ 電源が切断され、Power ランプ（LED）が消灯します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

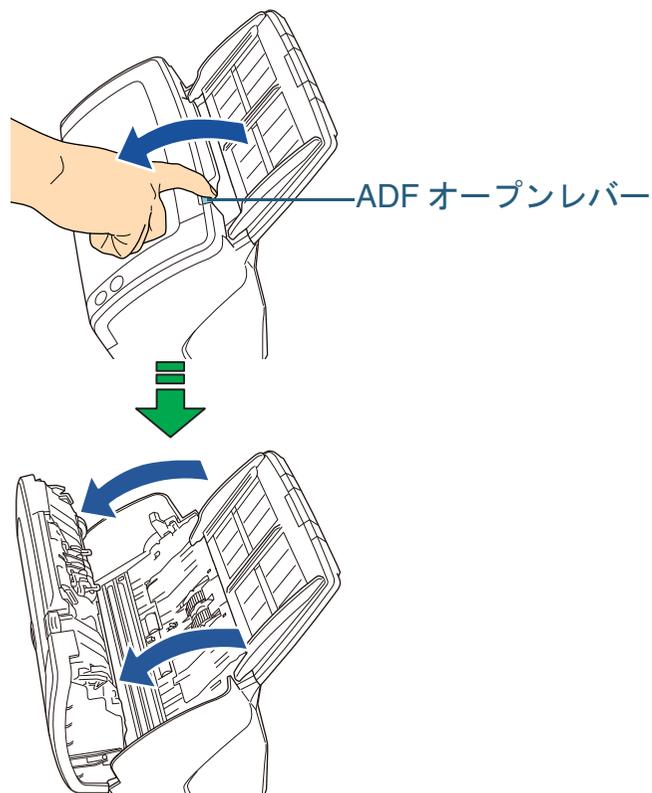
用語集

1.4 ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開きます。

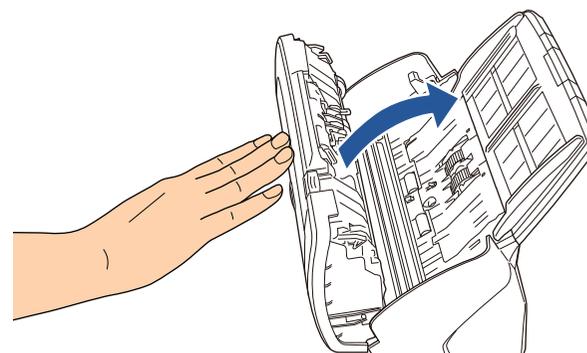


注意

ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。ご注意ください。

ADF の閉じ方

- 1 ADF を閉じます。
「カチン」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

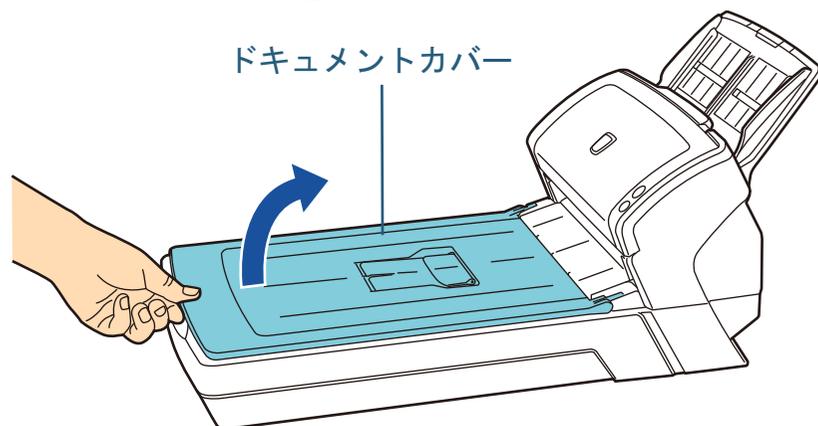
閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないこと確認してください。

1.5 ドキュメントカバーの開閉

ドキュメントカバーの開閉について説明します。

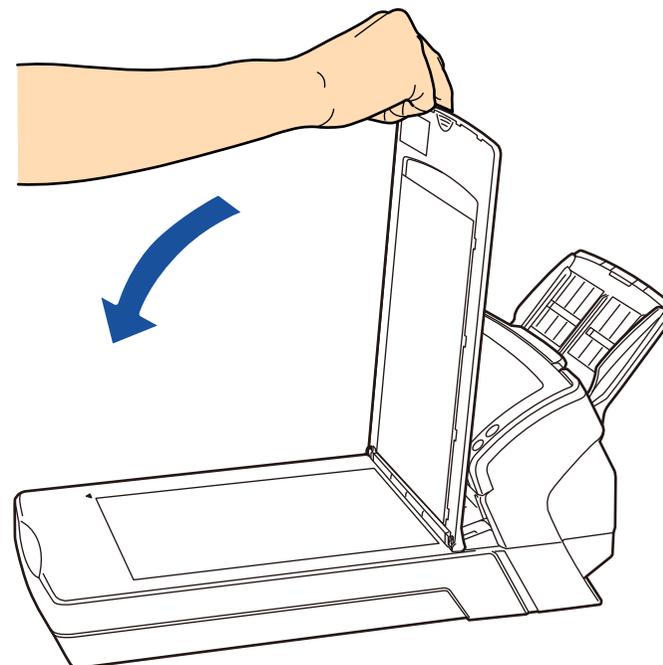
ドキュメントカバーの開け方

- 1 ドキュメントカバーを開きます。



ドキュメントカバーの閉じ方

- 1 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

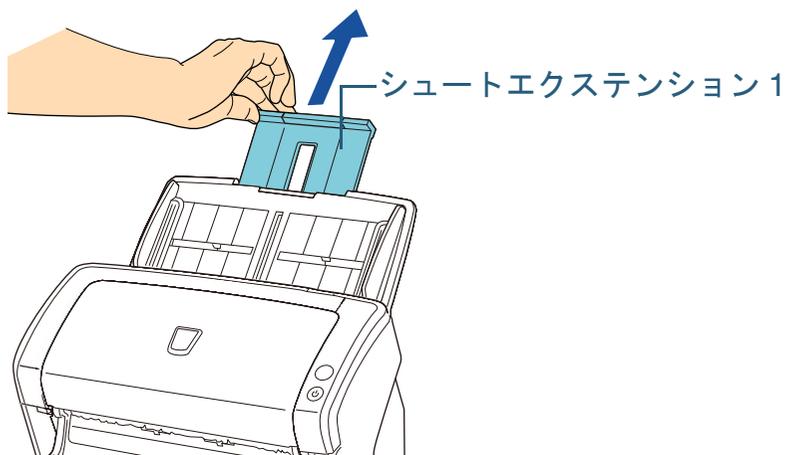
用語集

1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次読み込まれていきます。

A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに読み込めます。

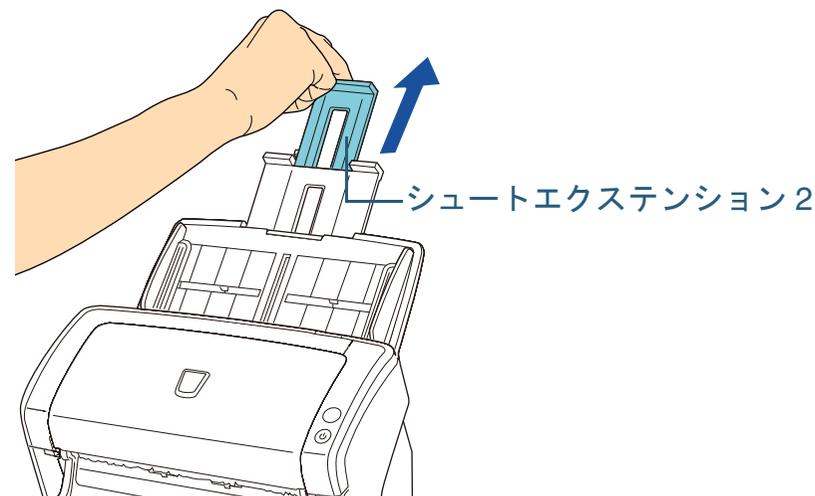
1 シュートエクステンション1を引き上げます。



ヒント

スキャナを押さえながら、シュートエクステンション1をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

2 シュートエクステンション2を引き上げます。



ヒント

スキャナを押さえながら、シュートエクステンション2をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

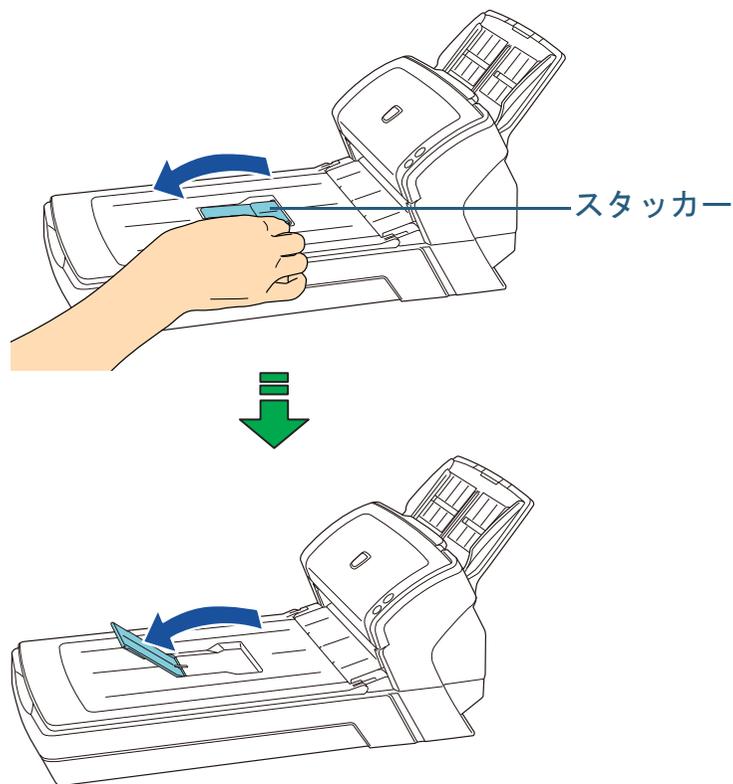
1.7 スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられています。

A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、スタッカーやスタッカーエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

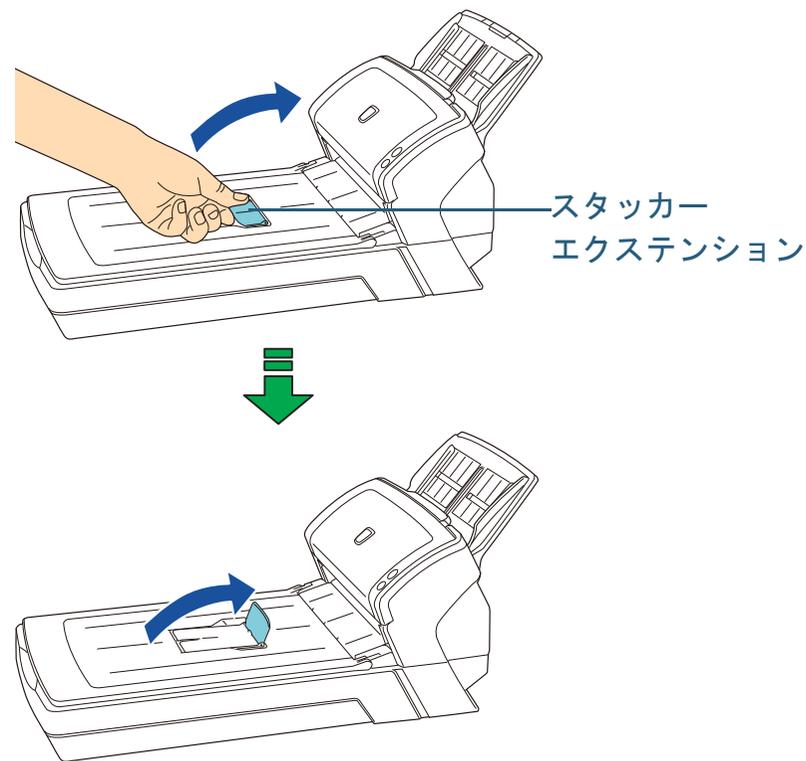
■読み取り原稿サイズが、A5 縦以上の場合

- 1 スタッカーに指をかけて、手前に起こします。



■読み取り原稿サイズが、A6 縦、A5 横以下の場合

- 1 スタッカーエクステンションを起こします。



重要

スタッカーエクステンションを無理に 90 度以上に倒すと、破損するおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.8 省電力モードの移行 / 復帰

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わっても、Powerランプ(LED)は点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF給紙シュート(フィーダー)に原稿をセットする。
- 操作パネルの[Scan/Stop]ボタンを押す。
- スキャナを使用できるアプリケーションから読み取る。

省電力モードから復帰した場合、操作パネルのPowerランプ(LED)がレディ状態になるまで点滅します。

また、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断され、待機中の消費電力を低減できます。

自動的にスキャナの電源が切断されないようにするには、Software Operation Panelの「装置設定」で、「一定時間後に電源をOFFにする」チェックボックスのチェックを外してください。詳細は、「[省電力モードの待機時間の設定\(省電力設定\)](#)」(P.139)を参照してください。

自動的にスキャナの電源が切断された場合に、再度スキャナの電源を投入するには、操作パネルの[Power]ボタンを押します。詳細は、「[1.3 電源の投入 / 切断](#)」(P.20)を参照してください。

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていた場合、省電力モードに切り替わる時間が経過しても省電力モードに切り替わらないことがあります。原稿の取り除き方法については、「[7.1 原稿づまりが発生したときは](#)」(P.83)を参照してください。
- 使用するアプリケーションによっては、「一定時間後に電源をOFFにする」チェックボックスをチェックしても、スキャナの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナの電源が自動的に切断された場合は、再度スキャナの電源を投入する前に、一度アプリケーションを終了してください。

ヒント

省電力モードに切り替わるまでの時間は、Software Operation Panelで変更できます。詳細は、「[省電力モードの待機時間の設定\(省電力設定\)](#)」(P.139)を参照してください。

1.9 読み取り操作の流れ

スキャナを使って原稿を読み取る操作の流れについて説明します。

スキャナで原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、そのドライバに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

本製品には、次のスキャナドライバと画像読み取り用アプリケーションが添付されています。

- スキャナドライバ
 - PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for ScanPartner
 - PaperStream IP (ISIS) for ScanPartner
- 画像読み取りアプリケーション
 - Presto! PageManager
 - ABBYY FineReader Sprint

ヒント

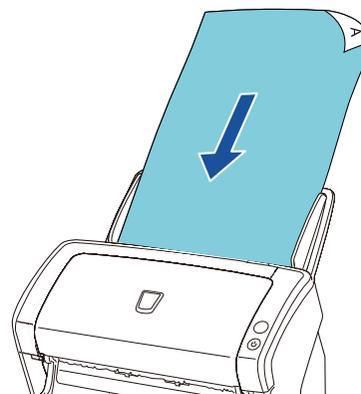
スキャナドライバおよび画像読み取り用アプリケーションの詳細は、「1.10 添付ソフトウェア」(P.28)を参照してください。

画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作が若干異なります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

ここでは、読み取り操作の流れを示します。

- 1 スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.20)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。
原稿の表面 (読み取り面) が ADF 給紙シュート (フィーダー) 側 (下向き) になるように、原稿をセットします。



詳細は、「第2章 原稿のセット方法」(P.31)を参照してください。

- 3 画像読み取り用アプリケーションを起動します。
- 4 読み取りに使用するスキャナドライバを指定します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバを指定しなくてもよい場合もあります。
- 5 スキャナドライバの設定画面で、スキャナの読み取り条件を設定します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバの設定画面を表示しない場合もあります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

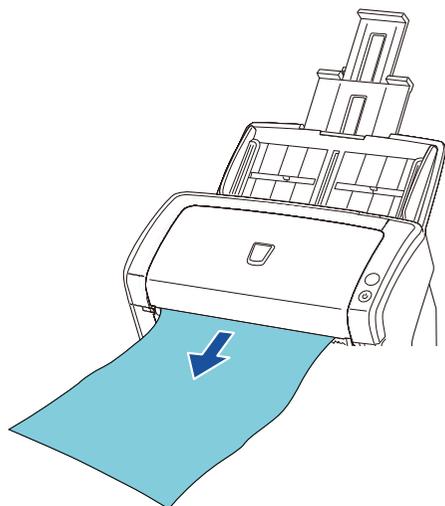
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。



重要

読み取り中などスキャナとコンピュータが通信しているときに、USB ケーブルを抜いたり、ユーザーログオフしたりなどスキャナとコンピュータの通信が切断される操作を行わないでください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.10 添付ソフトウェア

添付ソフトウェアの概要

本製品には、次の添付ソフトウェアが添付されています。

- PaperStream IP ドライバ
PaperStream IP ドライバは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナドライバです。
PaperStream IP ドライバには、次の 3 種類があります。
 - PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner
TWAIN 規格に準拠したスキャナドライバです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用します。
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for ScanPartner
TWAIN 規格に準拠したスキャナドライバです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用します。
64 ビットオペレーティングシステムの場合にインストールできます。
 - PaperStream IP (ISIS) for ScanPartner
ISIS 規格に準拠したスキャナドライバです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用しません。

詳細は、PaperStream IP ドライバのヘルプを参照してください。

- Software Operation Panel
読み取り時の動作や消耗品の管理などを設定できます。
PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。
詳細は、「第 8 章 スキャナの動作設定」(P.110) を参照してください。
- Error Recovery Guide
エラーが発生した場合に、スキャナの状態と対処方法を表示します。
PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。

- Presto! PageManager
PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner に対応した画像読み取り用アプリケーションです。ドキュメントを簡単に読み取り、共有、整理できます。
詳細は、Presto! PageManager のヘルプおよびマニュアルを参照してください。
- ABBYY FineReader Sprint
PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner に対応したアプリケーションです。WIA ドライバは未サポートです。読み取った画像を Word や Excel (*1) などに変換できます。
詳細は、ABBYY FineReader Sprint のヘルプを参照してください。
- マニュアル
安全上のご注意およびオペレーターガイドがインストールされます。

*1 : Microsoft® Office 製品がインストールされている必要があります。

そのほか、スキャナの動作や読み取り条件を設定して、画像読み取り用アプリケーションからスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法については、「第 4 章 いろいろな読み取り方」(P.48) で説明しています。

動作環境

動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® XP Home Edition (Service Pack 3 以降) ● Windows® XP Professional (Service Pack 3 以降) ● Windows® XP Professional x64 Edition (Service Pack 2 以降) ● Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降) ● Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降) ● Windows Vista® Business (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降) ● Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降) ● Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット) (Service Pack 1 以降) ● Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット) ● Windows® 7 Professional (32/64 ビット) ● Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット) ● Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット) ● Windows Server® 2012 Standard (64 ビット) (*1) (*2) ● Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット) (*1) (*2)
--------------	--

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® 8 (32/64 ビット) (*2) ● Windows® 8 Pro (32/64 ビット) (*2) ● Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット) (*2) ● Windows® 8.1 (32/64 ビット) (*2) ● Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット) (*2) ● Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット) (*2)
CPU	Intel® Pentium® 4 1.8GHz 以上 (推奨: Intel® Core™ i5 2.5GHz 以上、モバイル向けを除く)
メモリ容量	1G バイト以上推奨 (推奨: 4G バイト以上)
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	2.2G バイト以上の空き容量が必要 (*3)
DVD ドライブ	インストール時に必要
インターフェース	USB2.0/1.1

*1: Presto! PageManager および ABBYY FineReader Sprint は未サポートです。

*2: 添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

*3: 原稿の読み取り時には、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

添付ソフトウェアのインストール

添付の「Setup DVD-ROM」からソフトウェアをインストールする手順について説明します。

次のソフトウェアをインストールできます。

- PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner
- PaperStream IP (TWAIN x64) for ScanPartner
- PaperStream IP (ISIS) for ScanPartner
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- Presto! PageManager
- ABBYY FineReader Sprint
- マニュアル

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。各ソフトウェアのアンインストール手順については、「付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順」(P.148) を参照してください。

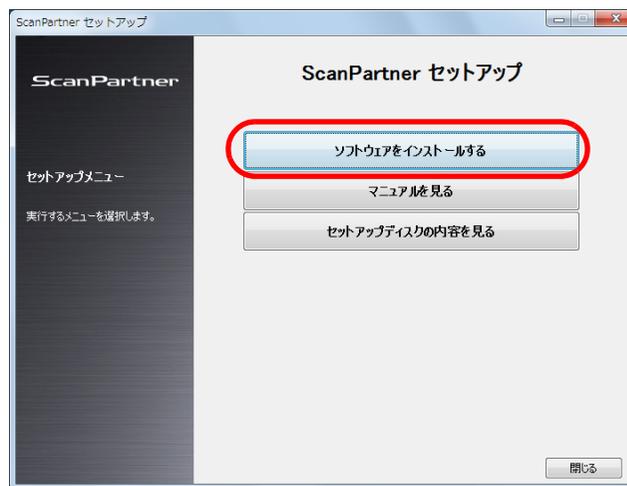
1 コンピュータの電源を投入して、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。

2 Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
⇒ 「ScanPartner セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「ScanPartner セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラ」または「コンピュータ」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 [ソフトウェアをインストールする] ボタンをクリックします。



⇒ ソフトウェアの情報の画面が表示されます。

4 内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。

5 インストールするソフトウェアのボタンをクリックします。



6 表示される画面の指示に従ってインストールします。

第2章 原稿のセット方法

この章では、原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

2.1 ADF での原稿のセット.....	32
2.2 フラットベッドでの原稿のセット.....	34
2.3 読み取りできる原稿.....	35

2.1 ADF での原稿のセット

ADF に原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備

ヒント

スキャナが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細は、「2.3 読み取りできる原稿」(P.35) を参照してください。

1 原稿を確認します。

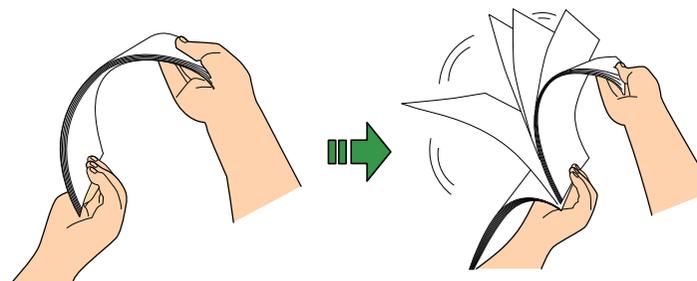
- 1 セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。
原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。
幅の違う原稿の場合は、「混載条件」(P.41) および「幅の違う原稿を読み取りたいとき」(P.50) を参照してください。

2 原稿の枚数を確認します。

セットできる原稿枚数は 50 枚までです (厚さ 80g/m² (69kg/連) の原稿、原稿の総厚みが 5mm 以下)。
詳細は、「セットできる原稿の枚数」(P.38) を参照してください。

2 原稿をさばきます。

- 1 原稿を 5mm 以下の厚みで取り出します。
- 2 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3 回さばきます。



- 3 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。
- 4 すべての原稿に対して、手順 1～3 を行います。
- 5 原稿の端をそろえます。

ヒント

原稿のさばき方の詳細は、Error Recovery Guide を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

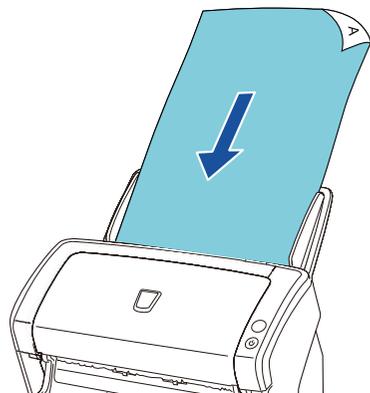
スキャナの動作設定

付録

用語集

原稿のセット方法

- 1 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を引き上げます。
詳細は、「1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定」（P.23）を参照してください。
- 2 原稿の長さに合わせて、スタッカーやスタッカーエクステンションを起こします。
詳細は、「1.7 スタッカーの設定」（P.24）を参照してください。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。

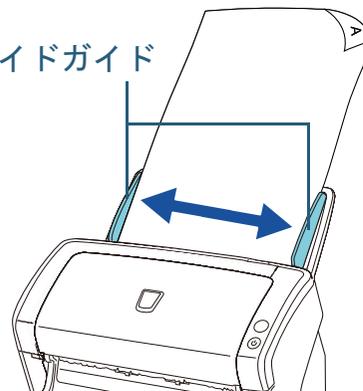


重要

クリップ、ステープルは取り除いてください。マルチフィードやピックアップが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。

- 4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。

サイドガイド



- 5 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

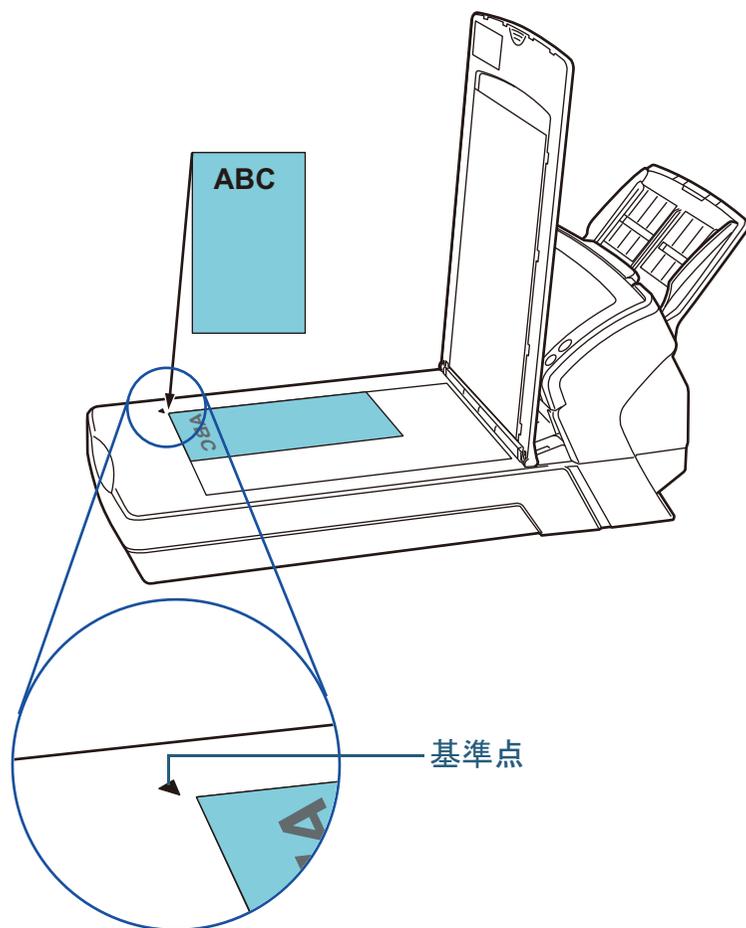
付録

用語集

2.2 フラットベッドでの原稿のセット

- 1 **ドキュメントカバーを開きます。**
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22)を参照してください。
- 2 **原稿台に原稿をセットします。**
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。

- 3 **ドキュメントカバーを閉じます。**
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22)を参照してください。
- 4 **画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。**
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。



はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

2.3 読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。

ADF	最大：A4 縦 (210 × 297mm)、リーガル (8.5 × 14 インチ)、長尺帳票 (*1) (216 × 863mm、210 × 3048mm)
	最小：A8 (52 × 74mm)
フラットベッド	最大：216 × 297mm

*1：アプリケーションや用紙サイズなどの読み取り条件によっては、メモリ不足で読み取りできない場合があります。
863mm より長い長尺帳票を読み取る場合は、解像度を 200dpi 以下にしてください。

読み取りできる原稿の条件

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙 (再生紙)
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/ 連)
- A8 サイズは 127 ~ 209g/m² (110 ~ 180kg/ 連)
- プラスチックカードは 1.4mm 以下

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

事前の注意

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に薄い原稿
- 写真（印画紙）

また、次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- A8 サイズより小さい原稿
- 幅が 216mm（8.5 インチ）より大きい原稿
- 紙 / プラスチックカード以外のもの：布、金属箔、OHP フィルムなど
- 傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

重要

- ノーカーボン紙は、ブレーキローラや原稿を送るローラ類（ピックアップローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、次のことに注意してください。

清掃 : 原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックアップローラを清掃してください。詳細は、「第5章 日常のお手入れ」（P.64）を参照してください。

部品の交換 : ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にブレーキローラやピックアップローラに接触すると、ブレーキローラやピックアップローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

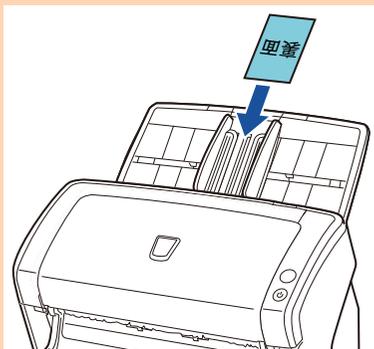
スキャナの動作設定

付録

用語集

重要

- プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - プラスチックカードを ADF で読み取る場合は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に、最大3枚まではセットできます。ただし、プラスチックカードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、1枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
 - 次の仕様のプラスチックカードを使用してください。
ISO7810 ID-1 タイプに準拠したプラスチックカード
サイズ : 85.6 × 53.98mm
厚さ : 1.4mm 以下
素材 : ポリ塩化ビニル (PVC) またはポリ塩化酢酸ビニル (PVCA)
- 事前に搬送できることを確認後、ご使用ください。
- 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。
 - プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
 - プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。

ヒント

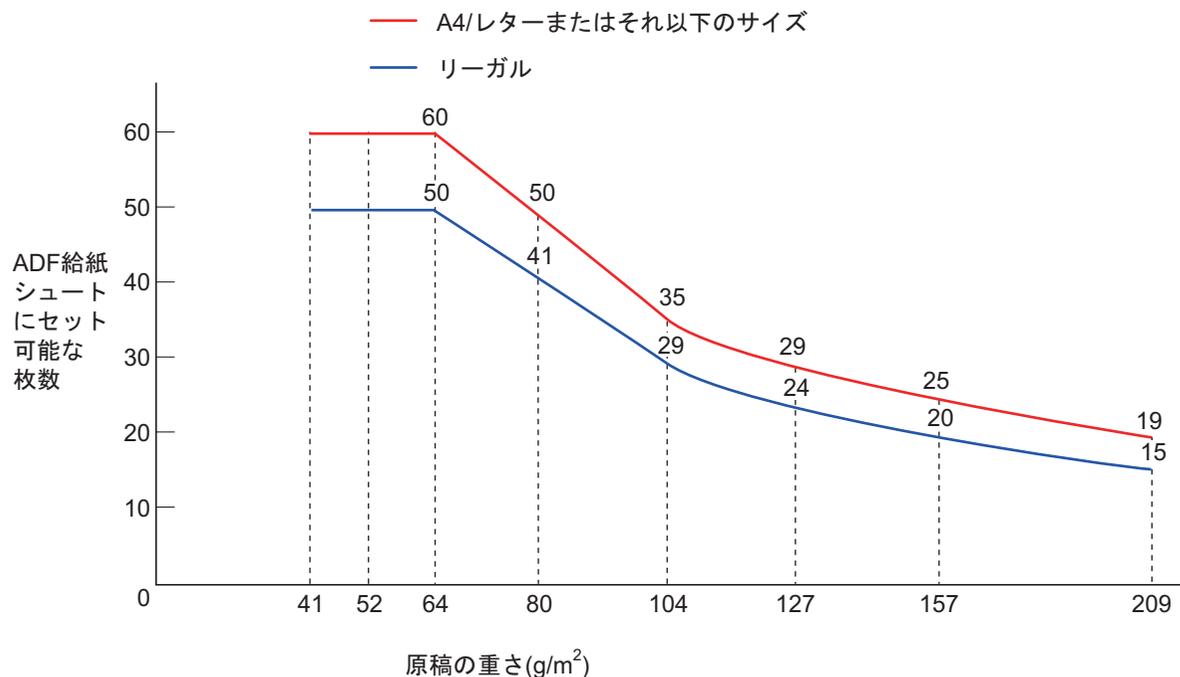
- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するために「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻りにローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。清掃方法については、「第5章 日常のお手入れ」(P.64)を参照してください。
- マルチフィード、ピックアップ、原稿づまりが頻りに発生する場合は、「7.3 困ったときには」(P.89)を参照してください。
- ADF で原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは次の数値を満たしている必要があります。



- TOP
- 目次
- 索引
- はじめに
- スキャナをお使いになる前に
- 原稿のセット方法
- 操作パネルの操作方法
- いろいろな読み取り方
- 日常のお手入れ
- 消耗品の交換
- 困ったときには
- スキャナの動作設定
- 付録
- 用語集

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



厚さの単位	変換表									
g/m ² (坪量)	41	52	64	75	80	90	104	127	157	209
lb	11	14	17	20	21	24	28	34	42	56
kg (連量)	35	45	55	64.5	69	77.5	90	110	135	180

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

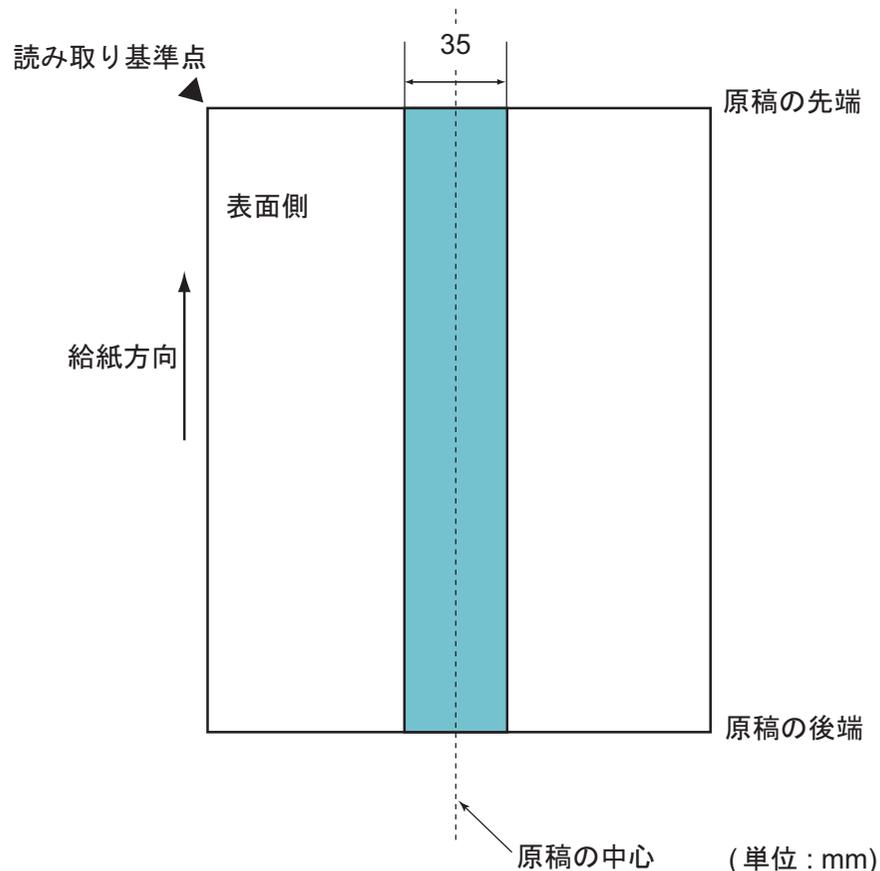
スキャナの動作設定

付録

用語集

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があるとエラーの原因となる場合があります。



重要

この条件は、原稿がピックアップ幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

ヒント

原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

マルチフィードを正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。マルチフィード検出は原稿の重なり、原稿の長さ、またはこれらを組み合わせてチェックします。検出を正しく行うには、次に示す条件が必要です。

原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：41～209g/m²（35～180kg/連）（0.05～0.26mm）
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。図1を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図1を参照してください。

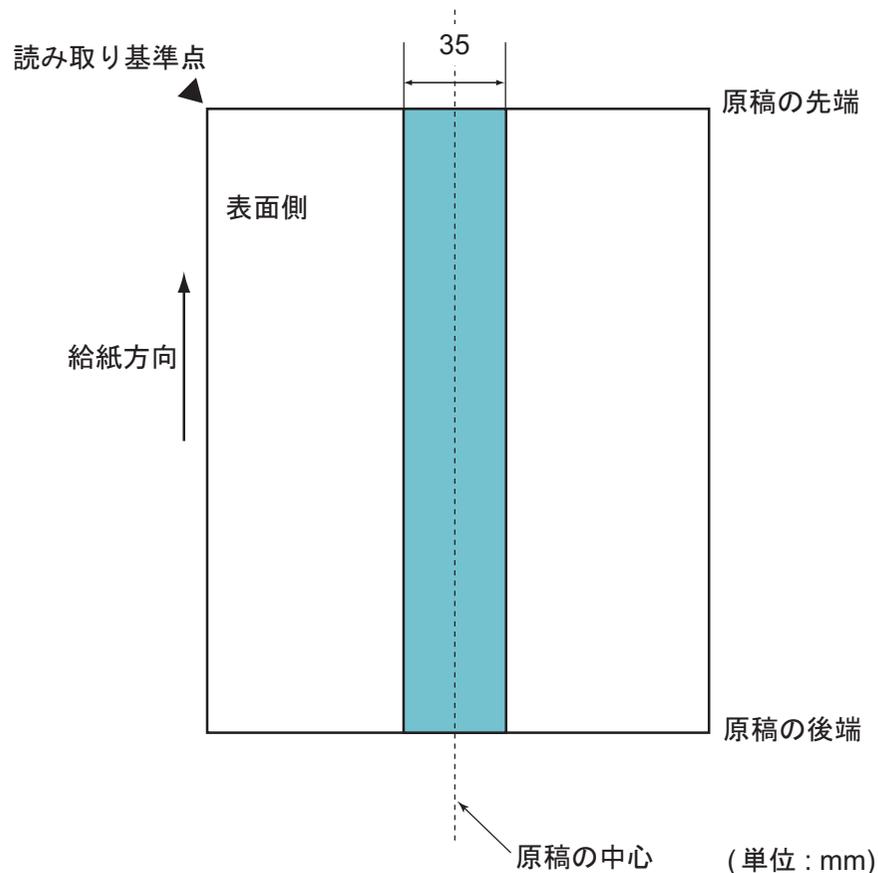
原稿の長さを検出する場合

- ADF給紙シュート（フィーダー）にセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。
- 原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。図1を参照してください。

原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

- ADF給紙シュート（フィーダー）にセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：41～209g/m²（35～180kg/連）（0.05～0.26mm）
- 原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。図1を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図1を参照してください。

図1



ヒント

- 原稿によっては、マルチフィードの検出率が低下する場合があります。原稿の先端から約30mmは、マルチフィードを検出できません。
- 図1の領域でマルチフィードを検出しない長さ（給紙方向の長さ）を Software Operation Panel で設定できます。詳細は、「8.6 マルチフィード検出に関する設定」（P.133）を参照してください。

重要

- この条件は、原稿がピックアップ幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
- 原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

混載条件

厚み / 摩擦係数 / サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。

読み取り方法については、「幅の違う原稿を読み取りたいとき」(P.50)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

41 ~ 209g/m² (35 ~ 180kg/ 連)

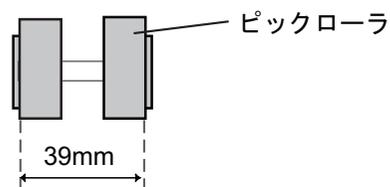
原稿の摩擦係数

原稿に使う用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。いろいろな用紙メーカー / 銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。

推奨摩擦係数は次のとおりです。
0.35 ~ 0.60 (紙間摩擦係数参考値)

原稿のセット位置条件

中央約 39mm のピックアップ幅にすべての原稿がかかるサイズの組み合わせで使用してください。



原稿のサイズ

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。

事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することを推奨します。

重要

- 異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対して、サイドガイドが機能しないので、スキューしやすくなります。
- 「長さの違いを検出」および「重なりと長さの違いを検出」によるマルチフィード検出を使用しないでください。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

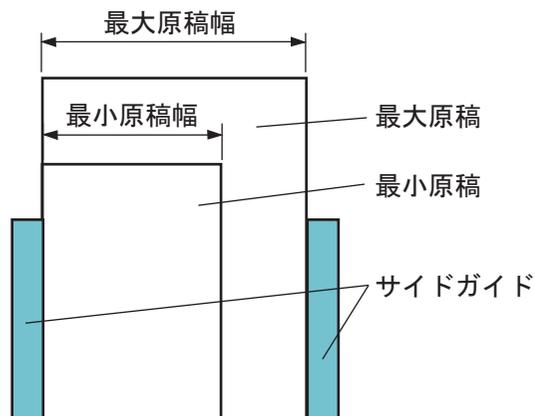
定型サイズの混載での組み合わせ例

サイズの異なる原稿を混載する場合は、次の範囲が混載可能な組み合わせの目安となります。
 ただし、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。
 事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することを推奨します。

最大原稿サイズ		LTR 縦 A3キャリア シート	A4 縦 A5 横	B5 縦 B6 横	A5 縦 A6 横	B6 縦 B7 横	A6 縦 A7 横	B7 縦 B8 横	A7 縦 A8 横	B8 縦	A8 縦
	幅 (mm) (*1)	216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小 原稿 サイズ	LTR 縦 A3キャリアシート	216									
	A4 縦 A5 横	210									
	B5 縦 B6 横	182	混載可能範囲								
	A5 縦 A6 横	149									
	B6 縦 B7 横	129									
	A6 縦 A7 横	105									
	B7 縦 B8 横	91									
	A7 縦 A8 横	74.3									
	B8 縦	64.3									
	A8 縦	52.5									

LTR：レターサイズ

*1：最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



重要

B8 縦サイズ、A8 縦サイズは混載できません。

自動用紙サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2 (45kg/連) 以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い (グレー色) の原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

■原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216 × 297mm)
- A3 (297 × 420mm) (*1)
- A4 (210 × 297mm)
- A5 (148 × 210mm)
- A6 (105 × 148mm)
- B4 (257 × 364mm) (*1)
- B5 (182 × 257mm)
- B6 (128 × 182mm)
- はがき (100 × 148mm)
- 名刺 (91 × 55mm、55 × 91mm)
- レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
- ダブルレター (11 × 17 インチ、279.4 × 431.8mm) (*1)
- 写真E版 (83 × 117mm、117 × 83mm)
- 写真L版 (89 × 127mm、127 × 89mm)
- 写真LL版 (127 × 178mm、178 × 127mm)
- カスタムサイズ
幅 : 25.4 ~ 216mm (1 ~ 8.5 インチ)
長さ : 25.4 ~ 297mm (1 ~ 11.69 インチ)

*1 : 2つ折りにして読み取ります。

■原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。
一般的なオフィス用紙

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

127g/m² まで (110kg/ 連まで)

2つ折りにして読み取る場合の使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

63.5g/m² まで (55kg/ 連まで)

事前の注意

次のことに注意してください。

- A3 キャリアシートは同時に最大3枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用するアプリケーションによっては、メモリが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を下げて読み取ってください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよびA3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷がA3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下でA3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損したA3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損、または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC用紙(再生紙)を50枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。PPC用紙(再生紙)は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿(写真・はがきなど)を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。A3 キャリアシートには、1枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。

第3章 操作パネルの操作方法

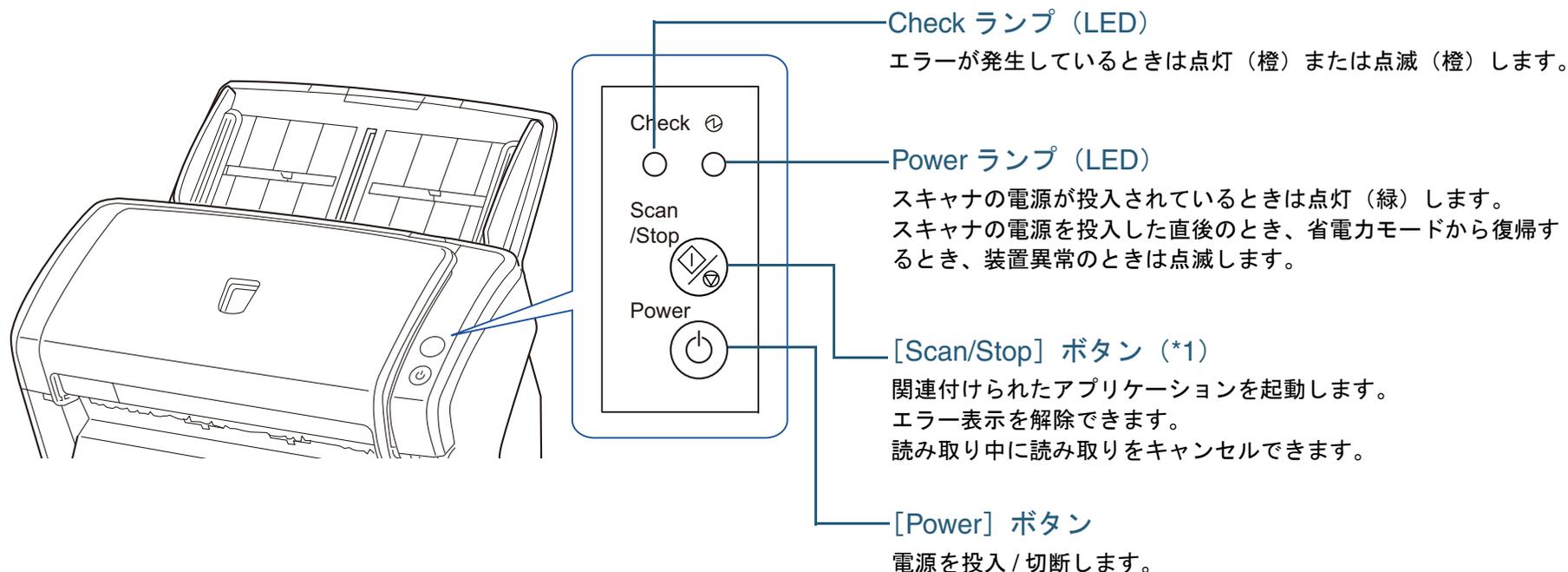
この章では、操作パネルの操作方法について説明します。

3.1 操作パネルをお使いになる前に	46
--------------------------	----

3.1 操作パネルをお使いになる前に

操作パネルは、ボタンとランプ（LED）から構成されています。

操作パネルの名称と働き



*1 : [Scan/Stop] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、Setup DVD-ROM で提供されているスキヤナドライバのヘルプおよび「スキヤナのボタンで読み取りを開始したいとき」(P.62) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキヤナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキヤナの動作設定

付録

用語集

ランプ (LED) の表示内容

Check ランプ	Power ランプ	説明
消灯	点滅	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。 省電力モードからの復帰時や ADF を閉じたあと、レディ状態になるまでの間に表示されます。
消灯	点灯	原稿を読み取れる状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 また、この状態を「レディ状態」と呼びます。 レディ状態では、Check ランプ (LED) が消灯し、Power ランプ (LED) が点灯します。 省電力モード中もこの表示になります。
点灯	点灯	スキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 Check ランプ (LED) が点灯します。 エラーの詳細は、「 一時的エラー 」(P.86) を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンを押すと、レディ状態に戻ります。

Check ランプ	Power ランプ	説明
点滅	点灯 または 点滅	スキャナが初期化処理中または原稿の読み取り中に、装置異常 (アラーム) が発生したことを意味します。 Power ランプ (LED) が点灯または点滅して、Check ランプ (LED) が点滅します。 エラーの詳細は、「 装置異常 」(P.87) を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンを押すと、レディ状態に戻ります。 このアラームが発生した場合は、電源を再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きアラームが発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入された販社 / 販売店または「 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.153) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第4章 いろいろな読み取り方

この章では、スキャナの動作や読み取り条件を設定して、画像読み取り用アプリケーションからスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

4.1 読み取り方一覧	49
4.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り	50
4.3 読み取り方の変更	61
4.4 読み取り時のスキャナ動作の変更	62

4.1 読み取り方一覧

ここでは、代表的な原稿の読み取り方の一覧を次に示します。

種類やサイズが異なる原稿の読み取り

- 「幅の違う原稿を読み取りたいとき」 (P.50)
- 「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」 (P.51)
- 「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」 (P.54)
- 「長尺帳票を読み取りたいとき」 (P.56)
- 「本を読み取りたいとき」 (P.57)
- 「フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき」 (P.59)

読み取り方の変更

- 「ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき」 (P.61)

読み取り時のスキャナ動作の変更

- 「スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき」 (P.62)

そのほかの原稿の読み取り方については、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り

幅の違う原稿を読み取りたいとき

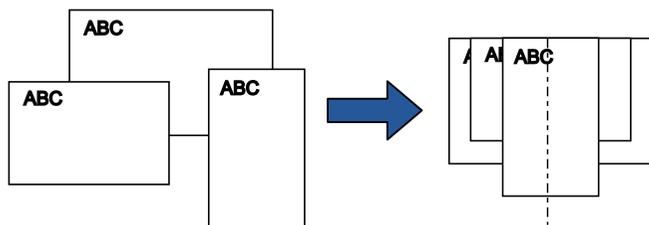
重要

幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

ヒント

混載読み取りが可能な原稿の条件の詳細は、「混載条件」(P.41)を参照してください。

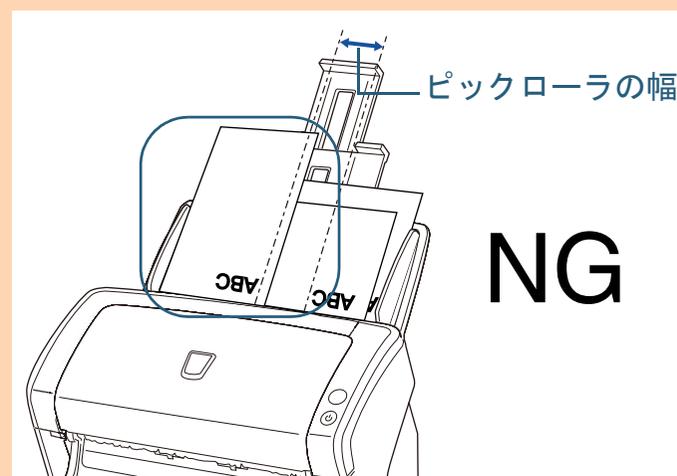
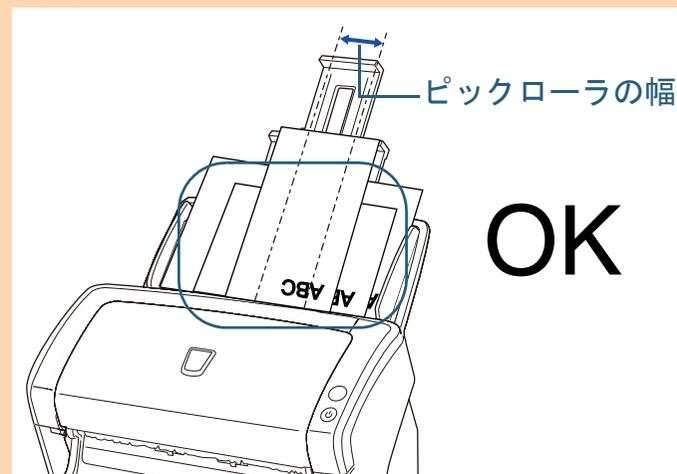
- 1 原稿の先端をそろえます。



- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。
詳細は、「第2章 原稿のセット方法」(P.31)を参照してください。

重要

すべての原稿がピックアップ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 3 スキャナドライバで、用紙サイズを自動的に検出する読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿を2つ折りにして両面を見開きで読み取り、1つの画像につなぎ合わせて出力します。

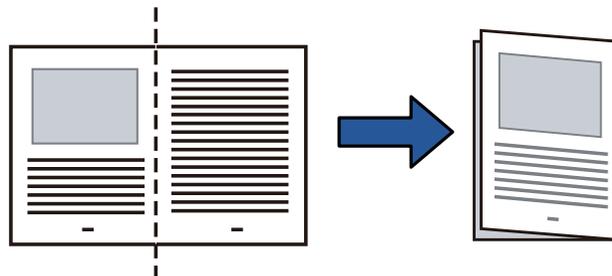
重要

原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。精度を求める読み取りには推奨できません。

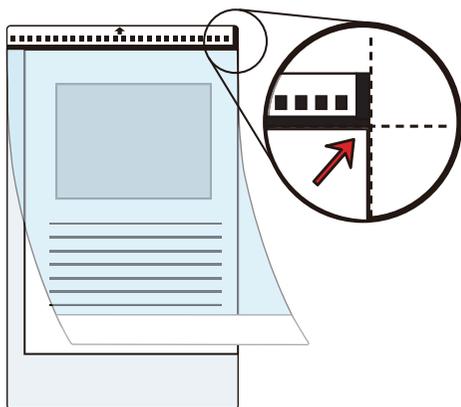
ヒント

A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、両面を1つの画像につなぎ合わせることもできます。
この場合、手順2でA3 キャリアシートにA4 サイズ以下の両面印刷された原稿をはさんでください。

- 1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。
 - 1 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。
折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。



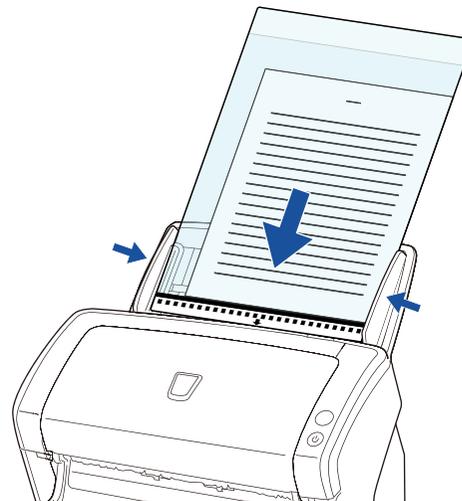
- 2 A3 キャリアシートの表面を開いて、原稿をはさみます。
原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。



ヒント

A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を上にしたときに、右端に太い縦線のある面が、A3 キャリアシートの表面です。

- 2 A3 キャリアシートの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



- 3 スキャナドライバで、A3 キャリアシート用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバの設定画面を表示しない場合もあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

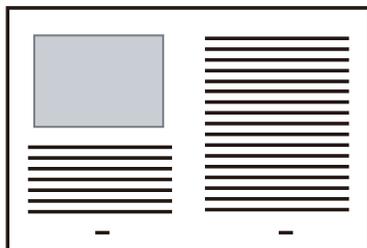
付録

用語集

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取りま

す。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

⇒ 裏と表の原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力されます。



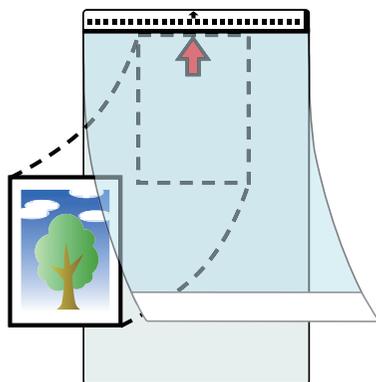
重要

- 画像の見開きの継ぎ目部分に、隙間ができたり、線がはいったりする場合があります。
また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、画像がハの字に傾く場合があります。
これらの現象は、次を行うと改善される場合があります。
 - 原稿をしっかりと折り曲げる
 - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端を A3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
 - A3 キャリアシートを読み取るときに、A3 キャリアシートを裏 / 表逆にセットする
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズ（A3、A4、またはダブルレター）の中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなる場合があります。
例：A3 サイズの原稿の中央に、A4 サイズに収まる範囲で絵や文字が印刷されている場合
⇒ B4 サイズで出力されます。
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像の見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてください。
- 「画像タイプ」を「2 値白黒」にしたとき、原稿の影によって画像の端が黒くなる場合があります。

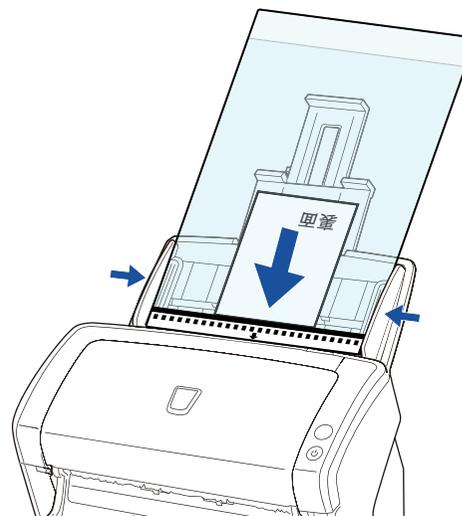
写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき

A3 キャリアシートを使用すると、傷つけない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取れます。

- 1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。
A3 キャリアシートを開いて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上側を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



- 2 A3 キャリアシートにセットした原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



- 3 スキャナドライバで、A3 キャリアシート用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

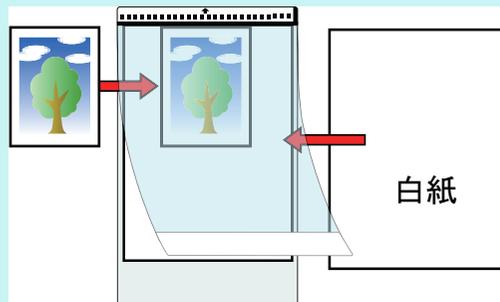
重要

- 画像は、「用紙サイズ」に指定されているサイズの中央に配置されます。
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズの中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。
例：A4サイズの原稿の中央にA5サイズで印刷されている場合
⇒ A5サイズで出力されます。
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない
- 画像に原稿の端の影がはいる
- 特殊な形に切り抜いた原稿をA3キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線がはいる
- 画像に原稿の外側の色が含まれる



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）までの原稿を読み取りできます。

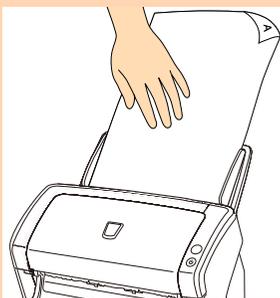
画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り可能な原稿サイズが異なります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

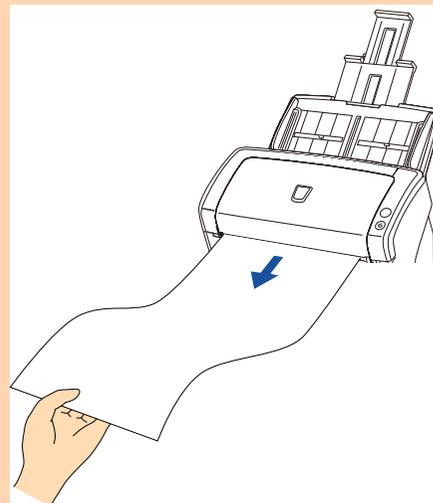
- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。
詳細は、「第2章 原稿のセット方法」（P.31）を参照してください。

重要

- 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 長尺帳票を読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - 原稿のセット時
読み取る原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、原稿を手で押さえてセットしてください。



- 原稿の排出時
スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。



ヒント

A4 サイズより長い原稿を読み取る場合は、次のようにしてください。

- シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を最大まで引き上げてください。
詳細は、「1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定」（P.23）を参照してください。
- スタッカーやスタッカーエクステンションを起こしてください。
詳細は、「1.7 スタッカーの設定」（P.24）を参照してください。

- 2 スキャナドライバで、長尺帳票用の読み取り設定にします。

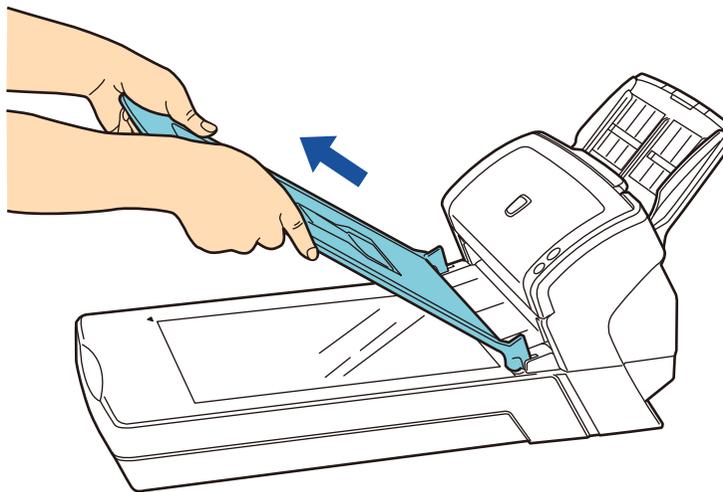
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバの設定画面を表示しない場合もあります。

- 3** 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

本を読み取りたいとき

- 1** ドキュメントカバーを開きます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22)を参照してください。
- 2** ドキュメントカバーを上側(矢印の方向)に抜き、取り外します。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

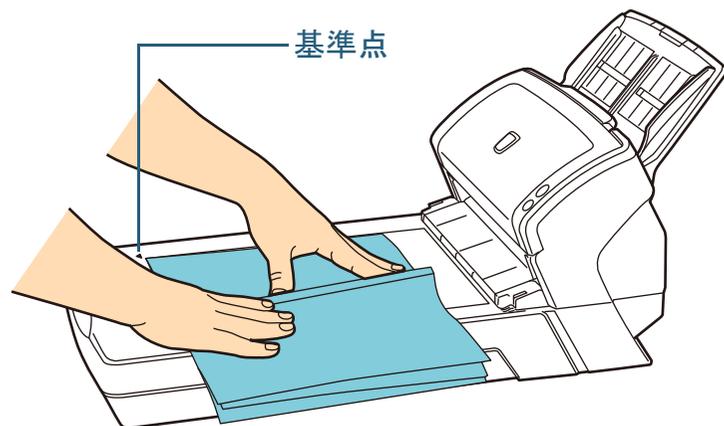
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 3** 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面（読み取り面）が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



- 4** スキャナドライバで、フラットベッド用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
- 5** 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

重要

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

- 6** ドキュメントカバーを取り付けます。

- 7** ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」（P.22）を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

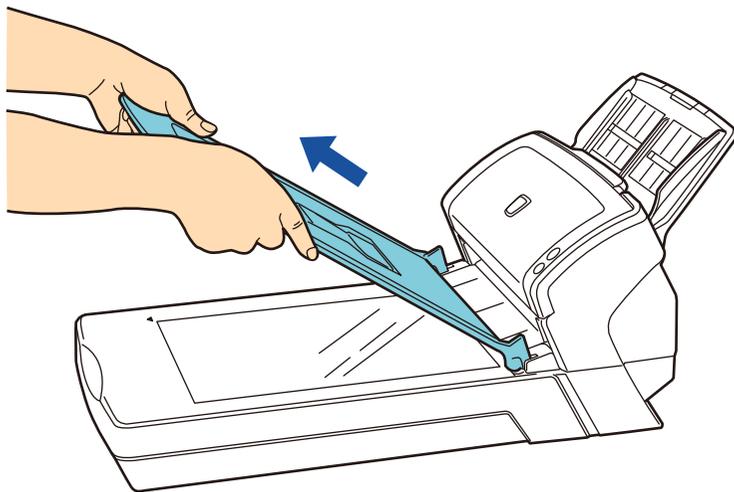
スキャナの動作設定

付録

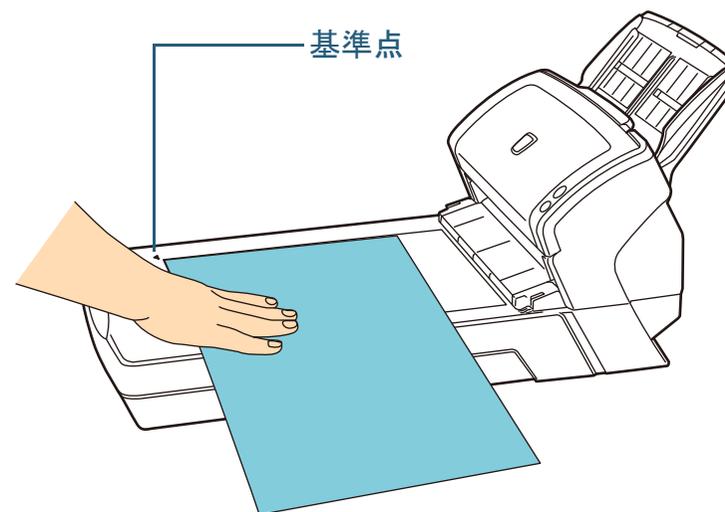
用語集

フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき

- 1 ドキュメントカバーを開きます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22)を参照してください。
- 2 ドキュメントカバーを上側(矢印の方向)に抜き、取り外します。



- 3 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



- 4 スキャナドライバで、フラットベッド用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
- 5 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

重要

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6 ドキュメントカバーを取り付けます。

7 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「[1.5 ドキュメントカバーの開閉](#)」(P.22)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4.3 読み取り方の変更

ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき

手挿入とは、ADF に手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る操作です。

通常、ADF で原稿を読み取る場合、セットした原稿がなくなると読み取りを終了します。手挿入の場合、セットした原稿がなくなると、指定した時間だけ次の原稿がセットされるのを待ちます。指定した時間内に原稿がセットされると読み取りを継続し、セットされないと読み取りを終了します。

この方法で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取りできます。

手挿入は、次のような場合に有効です。

- 原稿に書かれている内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、マルチフィードや原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を続けて読み取りたい場合

1 Software Operation Panel で手挿入ができるように設定します。

詳細は、「[手挿入モードの待機時間の設定（手挿入タイムアウト）](#)」(P.138) を参照してください。

2 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。詳細は、「[第2章 原稿のセット方法](#)」(P.31) を参照してください。

3 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

⇒ 読み取り後、Software Operation Panel で指定した時間、ADF のローラーが回転したまま、次の原稿がセットされるまで待機します。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）に次の原稿をセットします。

⇒ セットした原稿が同じ設定で読み取られます。

5 読み取る原稿がなくなるまで、手順 4 を繰り返します。

⇒ Software Operation Panel で指定した時間を経過しても、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされない場合、読み取りを終了します。

ヒント

- 次の原稿がセットされるのを待っている状態のときに、操作パネルの [Scan/Stop] ボタンを押すと、すぐに読み取りを中断できます。
- 手挿入タイムアウトの設定が有効になっていると、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態で読み取りを開始しても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。
- 手挿入モードで頻繁に原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4.4 読み取り時のスキャナ動作の変更

スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき

スキャナの [Scan/Stop] ボタンを使用して、原稿を読み取りできます。

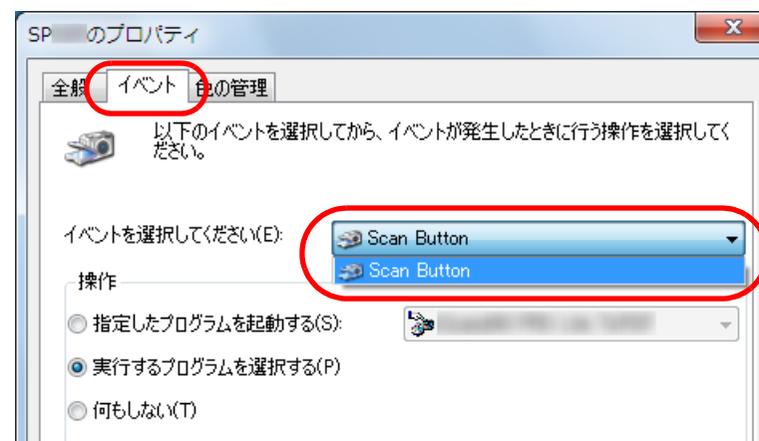
この場合は、起動するアプリケーションを [Scan/Stop] ボタンに設定する必要があります。

コンピュータ側の設定

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
スキャナとコンピュータの接続方法は、Quick Installation Sheet を参照してください。
スキャナの電源の投入方法は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.20) を参照してください。
- 2 「コントロールパネル」画面を表示します。
 - Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7
「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。
 - Windows Server 2012/Windows 8
スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」 → 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
 - Windows Server 2012 R2/Windows 8.1
スタート画面左下にある「↓」 → 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
「↓」はマウスを動かすと表示されます。
- 3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
⇒ 「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

- 4 スキャナのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「スキャン プロパティ」をクリックします。
⇒ スキャナのプロパティの画面が表示されます。

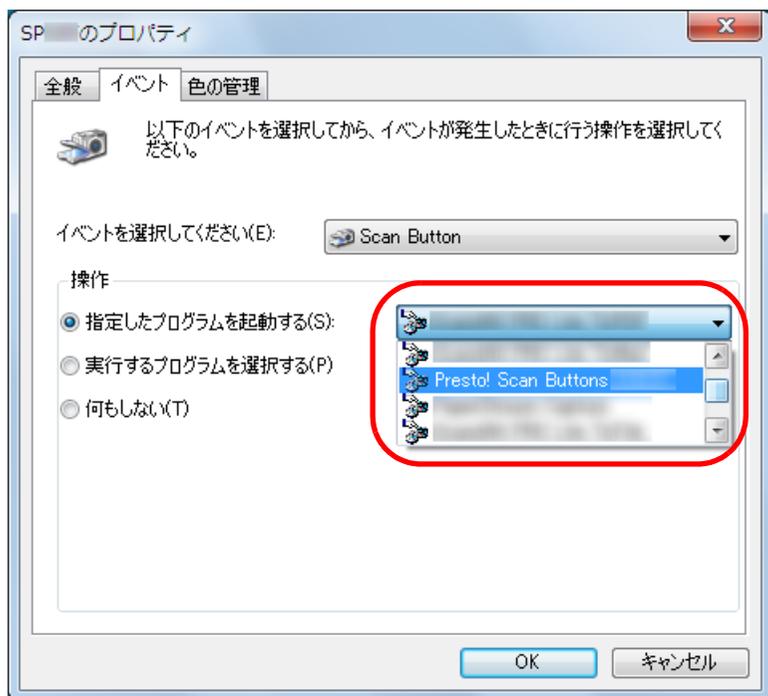
- 5 「イベント」タブをクリックし、イベントを選択します。「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、次のイベントを選択できます。

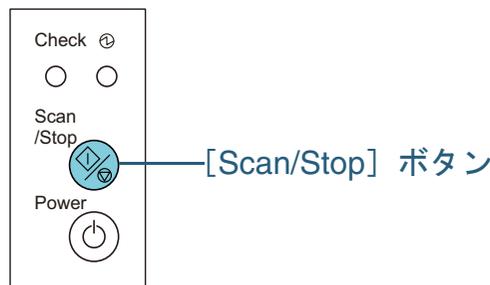
- Scan Button ([Scan/Stop] ボタンを押したとき)

- 6** イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。
 「操作」の下の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、右のメニューからアプリケーションをクリックします。



- 7** [OK] ボタンをクリックします。
 コンピュータ側の設定はこれで終了です。続けて、スキャナ側の設定を行ってください。

スキャナ側の設定



特に設定することはありません。

⇒ [Scan/Stop] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。

ヒント

操作パネルの詳細は、「第3章 操作パネルの操作方法」(P.45)を参照してください。

第5章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



警告



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。



注意

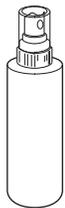


スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスは高温になります。
内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから清掃してください。

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所.....	65
5.2 スキャナ外部の清掃.....	67
5.3 スキャナ内部の清掃.....	68
5.4 A3 キャリアシートの清掃.....	74

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1本 (100ml) 布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用します。 クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1パック (10枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1箱 (24袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	
乾いた布		
ScanAid (*1)	FI-624SA	-

重要

清掃用品を正しく安全にご使用いただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.154) にお問い合わせください。

*1 : ScanAid の詳細は、「付 .4 スキャナのオプション」(P.146) 参照してください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
ADF	ブレーキローラ	5,000 枚読み取りごとに清掃してください。
	ピックアップローラ	
	プラスチックローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
フラットベッド	原稿押さえパッド	
	原稿台	
	プラスチックカバー	

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

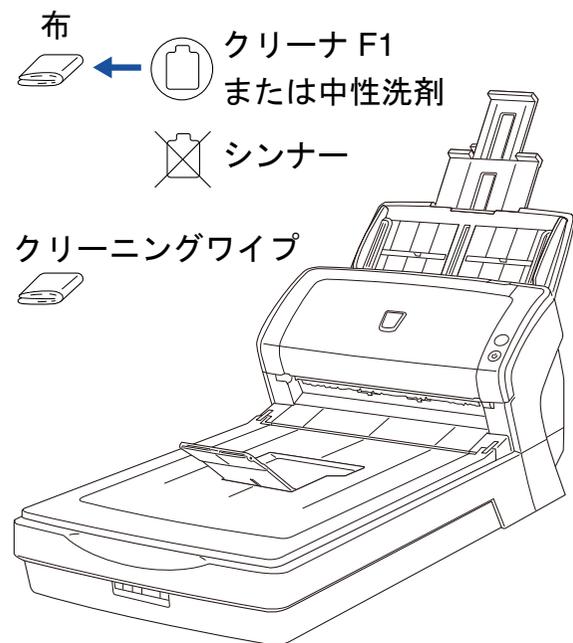
用語集

5.2 スキャナ外部の清掃

スキャナ外部、ADF 給紙シュート（フィーダー）、およびスタッカーなどは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

5.3 スキャナ内部の清掃

ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）

ADF は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となることがあります。

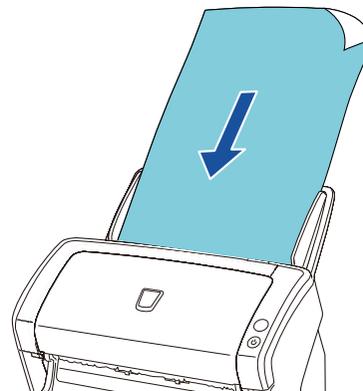
ADF の清掃は、目安として 5,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

- 1 スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.20) を参照してください。
- 2 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。
- 3 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。
詳細は、「1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定」(P.23) を参照してください。
- 4 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーやスタッカーエクステンションを起こします。
詳細は、「1.7 スタッカーの設定」(P.24) を参照してください。

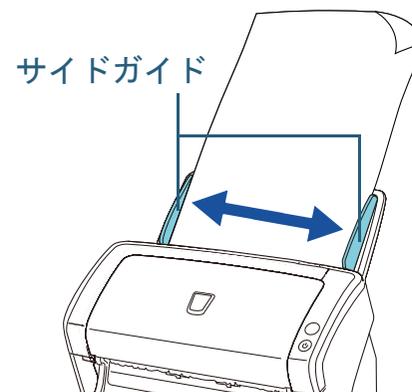
- 5 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



- 6 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。

サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに読み込まれることがあります。



はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 7 スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、クリーニングペーパーを読み取ります。

ADF の清掃（布による場合）

ADF は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。

ADF の清掃は、目安として 5,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

**注意**

スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスが高温になります。内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

- 1 スキャナの電源を切断し、15 分以上待ちます。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.20) を参照してください。
- 2 ADF を開きます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.21) を参照してください。

**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

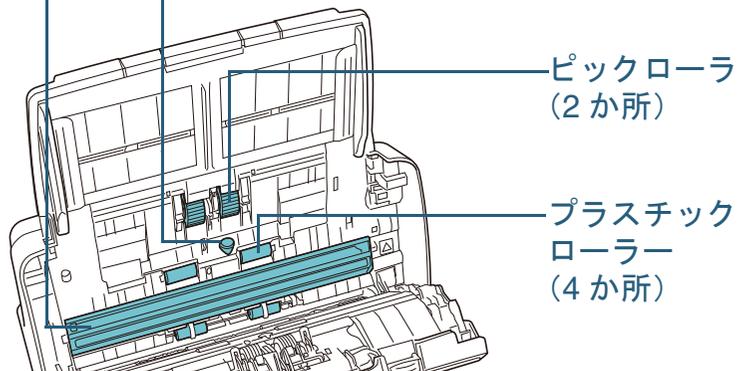
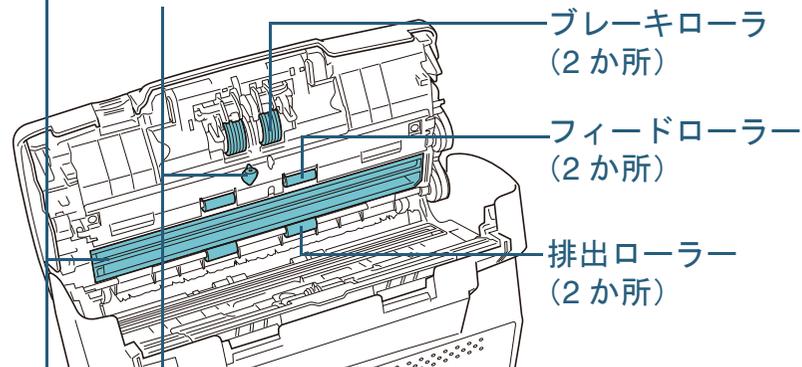
付録

用語集

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。

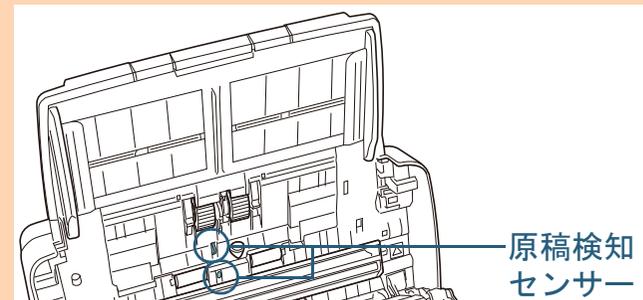
ガラス (2 か所)

超音波センサー (2 か所)



重要

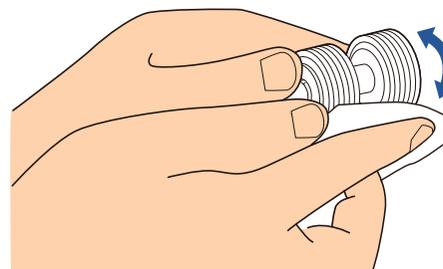
清掃の際は、布を原稿検知センサーに引っ掛けて破損しないように注意してください。



ブレーキローラ (2 か所)

ブレーキローラはスキャナから取り外して清掃します。ブレーキローラの取り外し方法は、「6.2 ブレーキローラの交換」(P.77) を参照してください。

ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿って軽く清掃します。



ピックローラ (2 か所)

手で回転させながら、ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿って軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。

プラスチックローラー（4か所）

ローラーの表面をいためないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。このとき、プラスチックローラーの中央に取り付けてあるスポンジをいためないように注意してください。

ガラス（2か所）

ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

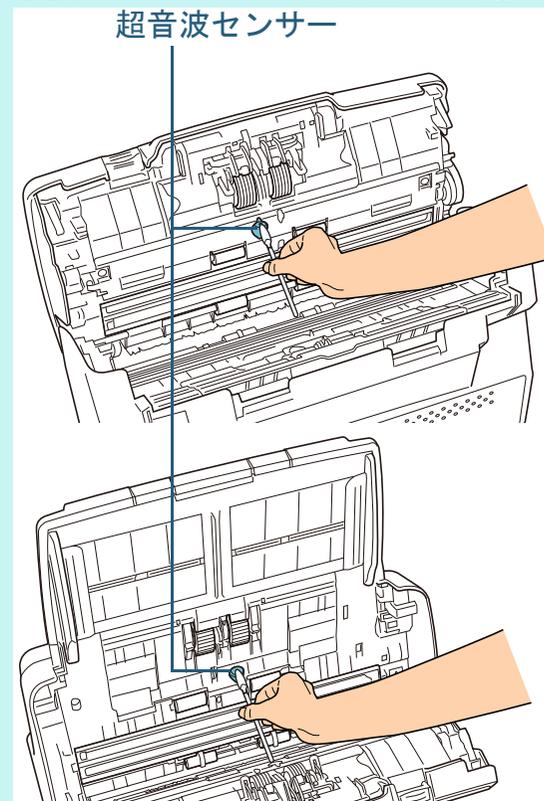
重要

ガラスがよごれていると、読み取った画像に縦線が出る可能性があります。

超音波センサー（2か所）

超音波センサー表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

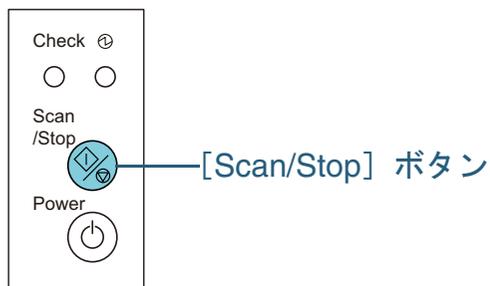
ふき取りにくい場合は、綿棒を使って清掃してください。



フィードローラー（2か所）/ 排出ローラー（2か所）

フィードローラー/ 排出ローラーは、電源を投入して回転させながら清掃します。

- 1 スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入/ 切断」（P.20）を参照してください。
- 2 操作パネルがレディ状態になったときに ADF を開きます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.21）を参照してください。
- 3 操作パネルの [Scan/Stop] ボタンを押すと、フィードローラー/ 排出ローラーが一定量回転します。



注意

[Scan/Stop] ボタンを押すと、フィードローラー/ 排出ローラーが同時に回転します。清掃する場合、回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

- 4 少量のクリーナー F1 をしみこませた布やクリーニングワイプをフィードローラー/ 排出ローラー表面に押し当てて左右に擦り清掃します。
[Scan/Stop] ボタンを押してローラーを回転させながらローラー全域を清掃します。
特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。
なお、目安として、[Scan/Stop] ボタンを7回押すと、フィードローラー/ 排出ローラーが1回転します。

4 ADF を閉じます。

詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.21）を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が読み込まれないおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

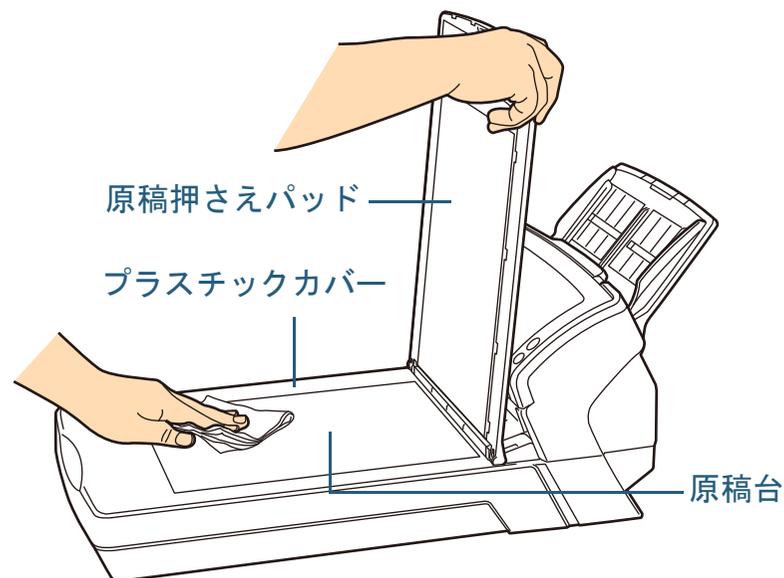
付録

用語集

フラットベッドの清掃

フラットベッドは、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

- 1 ドキュメントカバーを開きます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22) を参照してください。
- 2 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。



重要

原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナー液がしみこまないように注意してください。

- 3 乾くまで待ちます。
- 4 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.22) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

5.4 A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となります場合がありますので、定期的に清掃してください。

重要

- A3 キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することを推奨します。
A3 キャリアシートのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.154) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第6章 消耗品の交換

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。



注意

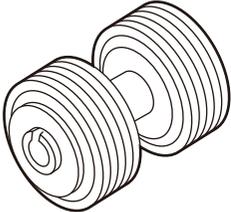
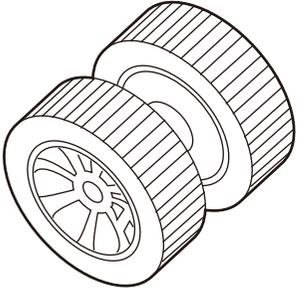


スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスは高温になります。
消耗品の交換を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

6.1 消耗品と交換周期.....	76
6.2 ブレーキローラの交換.....	77
6.3 ピックローラの交換.....	79

6.1 消耗品と交換周期

スキャナに使用される消耗品を次の表に示します。

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C624BR	200,000 枚または1年ごとに交換
ピックローラ 	FI-C624PR	200,000 枚または1年ごとに交換
ScanAid (*1)	FI-624SA	-

*1 : ScanAid の詳細は、「付 .4 スキャナのオプション」(P.146) 参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備されることを推奨します。また、スキャナでは、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（ブレーキローラおよびピックアップローラ）をそれぞれ記録していますので、使用状況を確認できます。

確認したい場合は、「[8.4 枚数カウンタに関する設定](#)」(P.124) を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m² (69kg/ 連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

ヒント

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「[株式会社 PFU PFU ダイレクト](#)」(P.154) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6.2 ブレーキローラの交換

ブレーキローラを交換する手順を次に示します。

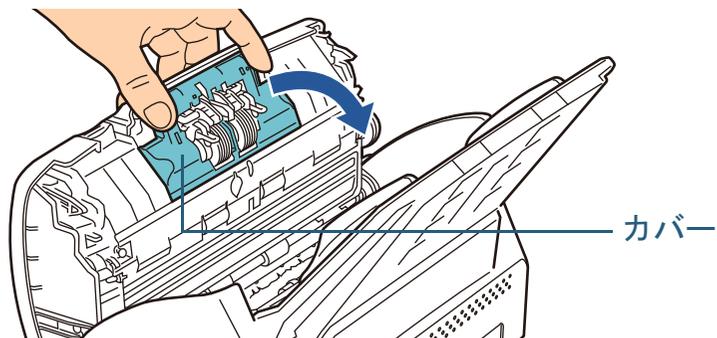
- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF を開きます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.21）を参照してください。



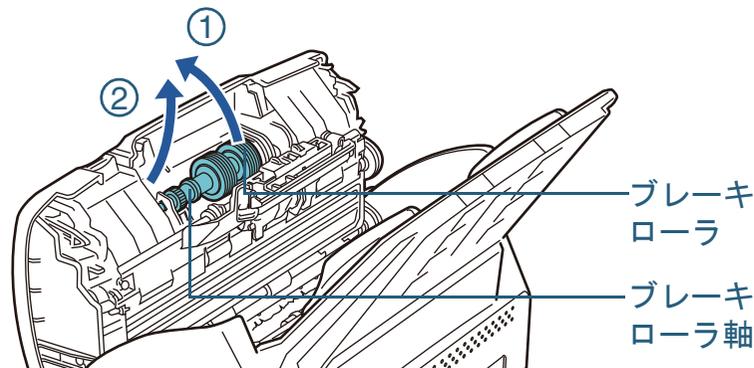
注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

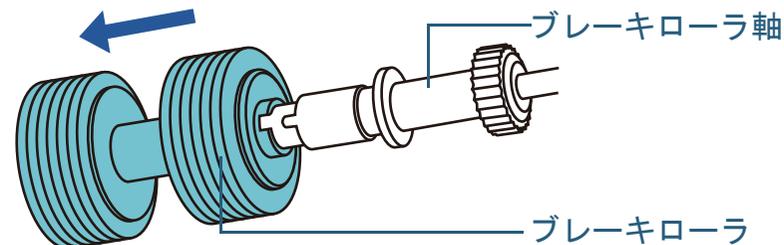
- 3 ブレーキローラ軸を取り外します。
1 ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開きます。



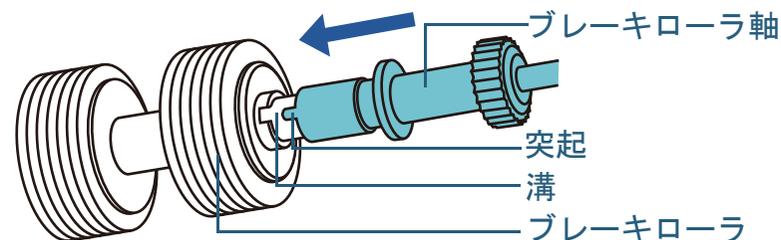
- 2 ブレーキローラ軸の右側のブレーキローラを持ち上げて軸の右側を外し、軸の左側を穴から抜き取ります。



- 4 ブレーキローラを、ブレーキローラ軸から取り外します。



- 5 新しいブレーキローラを、ブレーキローラ軸に取り付けます。
ブレーキローラ軸の突起部分とブレーキローラの溝を合わせて差し込みます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

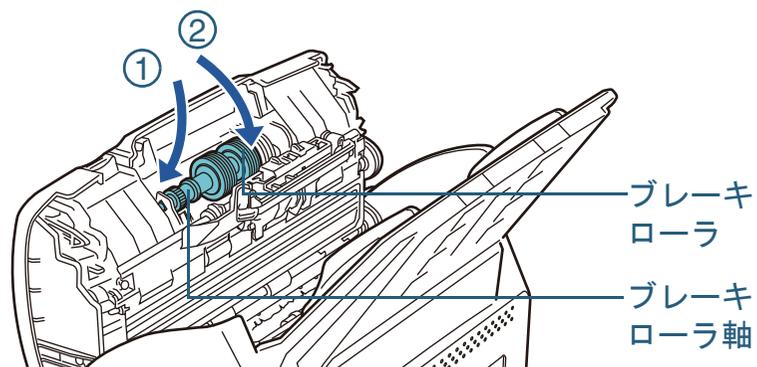
スキャナの動作設定

付録

用語集

6 ブレーキローラ軸を取り付けます。

- 1 ブレーキローラ軸の左側を穴にはめ込んでから、軸の右側を取り付けます。



- 2 ブレーキローラのカバーを閉めます。

重要

ブレーキローラ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

7 ADF を閉じます。

詳細は、「[1.4 ADF の開閉](#)」(P.21) を参照してください。



ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

8 ブレーキローラのカウンターをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細は、「[枚数カウンタのリセット](#)」(P.125) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

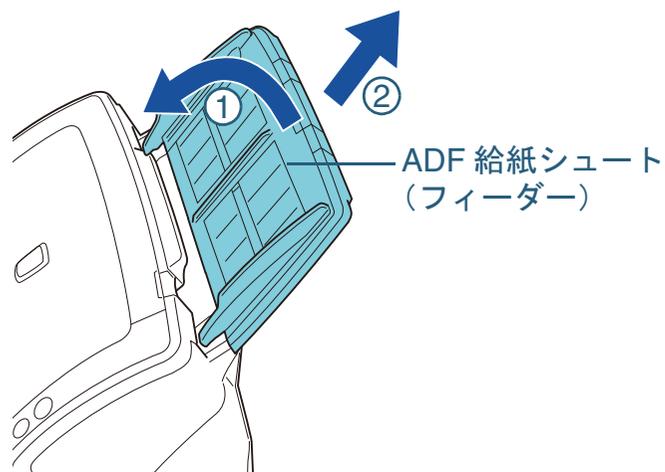
付録

用語集

6.3 ピックローラの交換

ピックアップローラを交換する手順を次に示します。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、①のように斜め上方に持ち上げながら、②の方向に引き上げます。



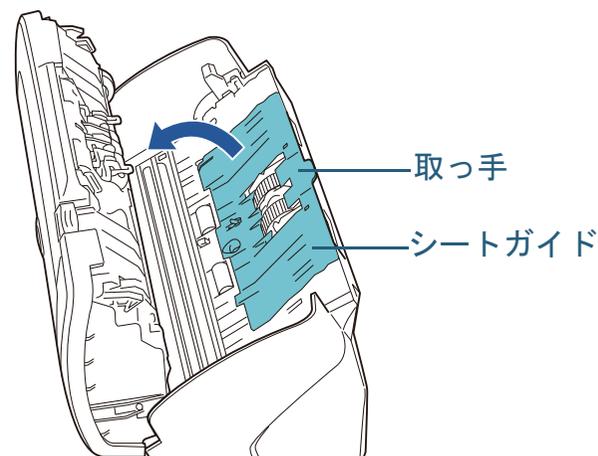
- 3 ADF を開きます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.21) を参照してください。



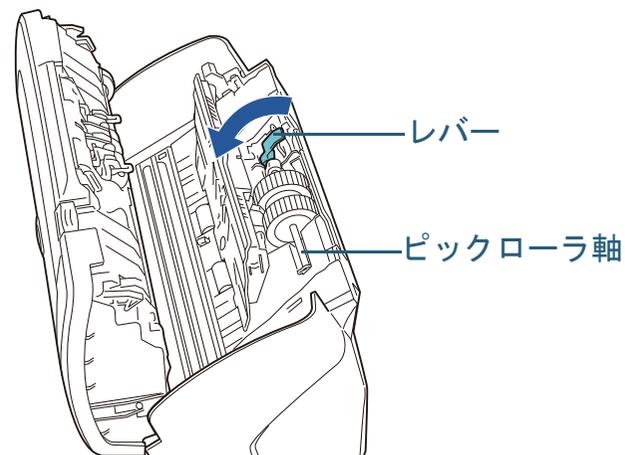
注意

ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

- 4 ピックローラ軸を取り外します。
1 シートガイドの取っ手を上に持ち上げて、シートガイドを開きます。



- 2 ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

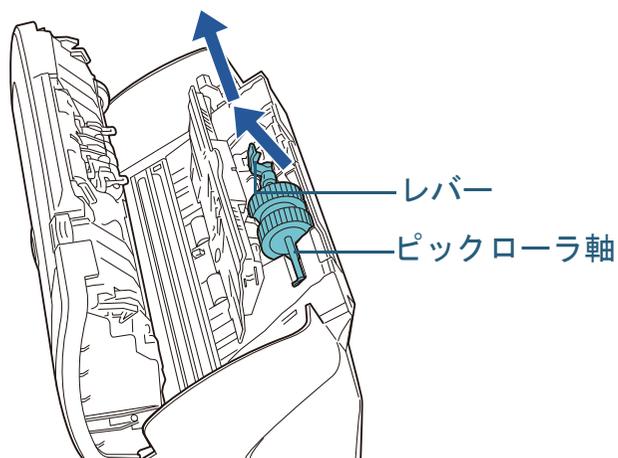
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

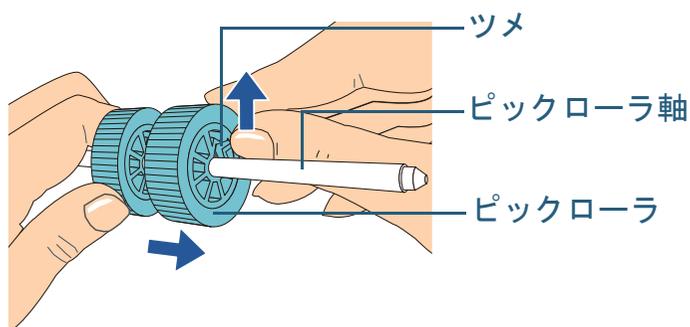
- 3 ピックローラ軸のレバーを持ち上げてから、軸を穴から抜き取ります。



重要

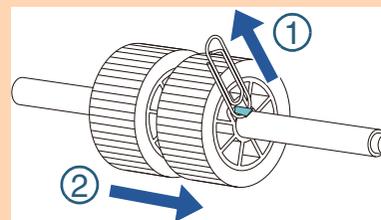
ピックアップローラ軸のレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いていますので、触らないように注意してください。

- 5 ピックローラを、ピックアップローラ軸から取り外します。ピックアップローラのツメを持ち上げながら、ピックアップローラ軸を引き抜きます。

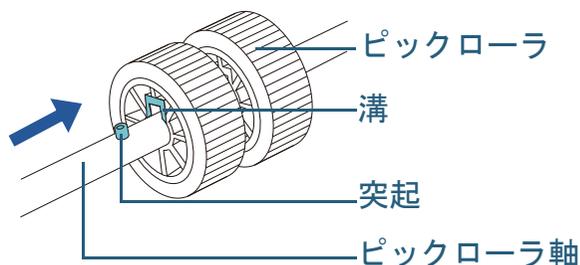


重要

指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックアップローラのツメを持ち上げてください。



- 6 新しいピックアップローラを、ピックアップローラ軸に取り付けます。ピックアップローラ軸の突起部分とピックアップローラの溝を合わせて差し込みます。

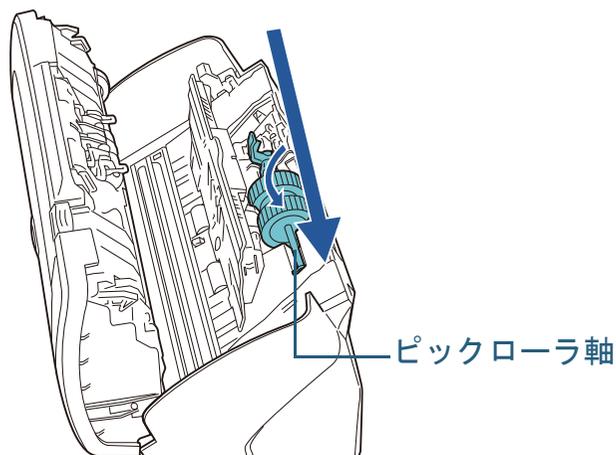


重要

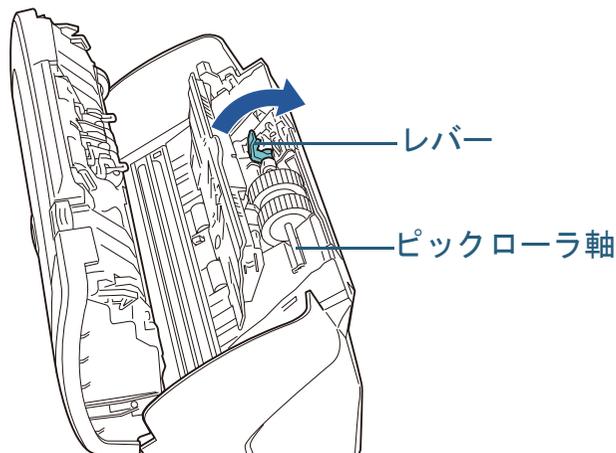
ピックアップローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。なお、ピックアップローラは取り付けるとき、「カチッ」という音がなります。音が出るまで差し込んでください。

7 ピックローラ軸を取り付けます。

- 1 右側の穴に斜め上方からピックアップ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。



- 2 ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



- 3 シートガイドを閉じます。シートガイドの両側が確実にロックしているか確認してください。

重要

ピックアップ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

8 ADF を閉じます。

詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.21) を参照してください。

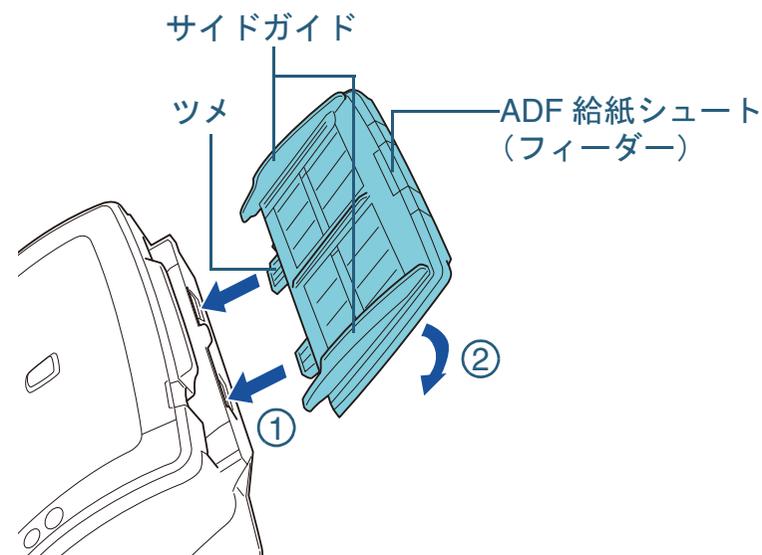


注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

9 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

ADF 給紙シュート（フィーダー）を、スキャナ背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように差し込み、下方に倒してしっかり固定します。サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



10 ピックローラのカウンターをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細は、「枚数カウンタのリセット」(P.125) を参照してください。

第7章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナドライバのヘルプまたは Error Recovery Guide を参照してください。

7.1 原稿づまりが発生したときは.....	83
7.2 操作パネルのエラー表示.....	85
7.3 困ったときには.....	89
7.4 サービスセンターに連絡する前に.....	107
7.5 装置ラベルの確認.....	109

7.1 原稿づまりが発生したときは

原稿がつまった場合は、次の要領で原稿を取り除いてください。

⚠ 注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをすることがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、または髪の毛などがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

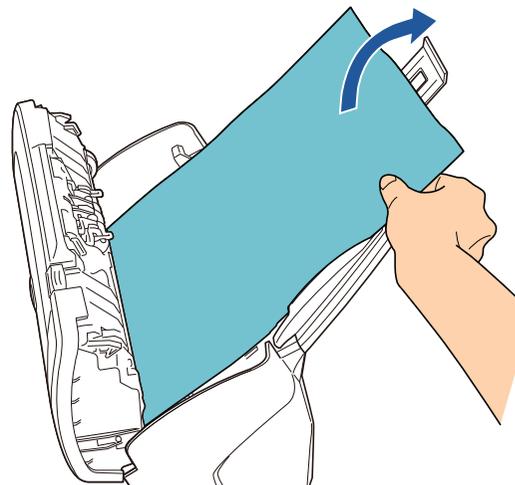
1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開きます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.21）を参照してください。

⚠ 注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



重要

- ステープルやクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがありますので注意してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4 ADF を閉じます。

詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.21) を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が読み込まれないおそれがあります。
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF の内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1 ~ 4 に従って取り除いてください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

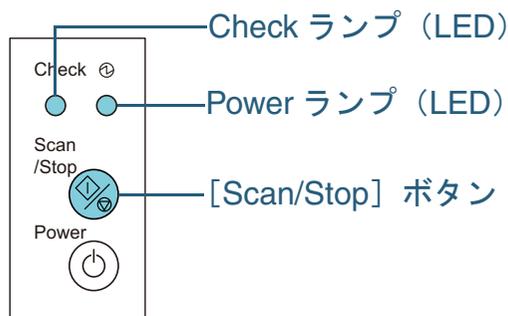
用語集

7.2 操作パネルのエラー表示

スキャナの使用中にエラーが発生すると、操作パネルのランプ（LED）が次のようになります。

- 一時的エラーの場合
 - Check ランプ（LED）が点灯します。
 - Power ランプ（LED）は点灯したままです。
- 装置異常の場合
 - Check ランプ（LED）が点滅します。
 - Power ランプ（LED）が点灯または点滅します。

一時的エラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となります。なお、一時的エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンを押すと、レディ状態に戻ります。原稿づまりエラーの場合は、スキャナ内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的にエラー表示が解除されます。



お使いのコンピュータに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows の起動と同時に Error Recovery Guide の画面が表示されます。エラーが発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。

画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

一時的エラー

お客様による復旧が可能な一時的なエラーです。
エラーの一覧を次に示します。
一時的エラーになると、操作パネルの Check ランプ (LED) が点灯します。

■搬送系エラー

項目	対処法
原稿づまりが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> つまった原稿を取り除いてください。 詳細は、「7.1 原稿づまりが発生したときは」(P.83)を参照してください。 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 詳細は、「2.3 読み取りできる原稿」(P.35)を参照してください。
マルチフィードが発生しました。	操作パネルの [Scan/Stop] ボタンを押すと、マルチフィードされた原稿が排出されます。

■その他のエラー

項目	対処法
輸送ロックエラーが発生しました。	輸送ロックスイッチを解除してください。 詳細は、Quick Installation Sheet を参照してください。
読み取り中に ADF が開かれました。	ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。
エラーの一覧を次に示します。

■駆動系異常、光学異常、内部異常

Check ランプ	Power ランプ	項目	対処法
点滅 2 回	点灯	光量異常 (ADF 表面) が発生しました。	1 ガラスを清掃してください。 詳細は、「第 5 章 日常のお手入れ」(P.64) を参照してください。
点滅 3 回	点灯	光量異常 (ADF 裏面) が発生しました。	2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。
点滅 4 回	点灯	フラットベッドの駆動系異常が発生しました。	1 輸送ロックスイッチが解除されているかを確認してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。
点滅 7 回	点灯	光学異常 (フラットベッド) が発生しました。	
点滅 5 回	点灯	操作パネル異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。
点滅 6 回	点灯	EEPROM 異常が発生しました。	
点滅 7 回	点滅 7 回	メモリ異常が発生しました。	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

■チップ系異常

Check ランプ	Power ランプ	項目	対処法
点滅 3 回	点滅 3 回	LSI 異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。

■モーター系異常

Check ランプ	Power ランプ	項目	対処法
点滅 2 回	点滅 2 回	ランプ系異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。
点滅 6 回	点滅 6 回	モーター系異常が発生しました。	

■センサー系異常

Check ランプ	Power ランプ	項目	対処法
点滅 4 回	点滅 4 回	センサー異常が発生しました。	1 超音波センサーの周辺にゴミなどが付着している場合は、取り除いてください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、ランプ (LED) の状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.107)の各項目を確認して、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

症状一覧
「電源が投入されない」(P.90)
「読み取りが開始されない」(P.91)
「白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる」(P.92)
「文字や線の読み取り結果が良くない」(P.93)
「画像がゆがむまたは鮮明ではない」(P.94)
「読み取った画像に縦線が出る」(P.95)
「スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルの Check ランプ(LED) が点灯または点滅している」(P.96)
「マルチフィードが頻繁に起こる」(P.97)
「原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる」(P.99)
「原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる」(P.100)
「読み取った画像が間延びする」(P.101)
「読み取った画像の先端または後端に影がある」(P.102)

症状一覧
「原稿に黒い跡が残る」(P.103)
「A3 キャリアシートがうまく送られない / つまる」(P.104)
「A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける」(P.106)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

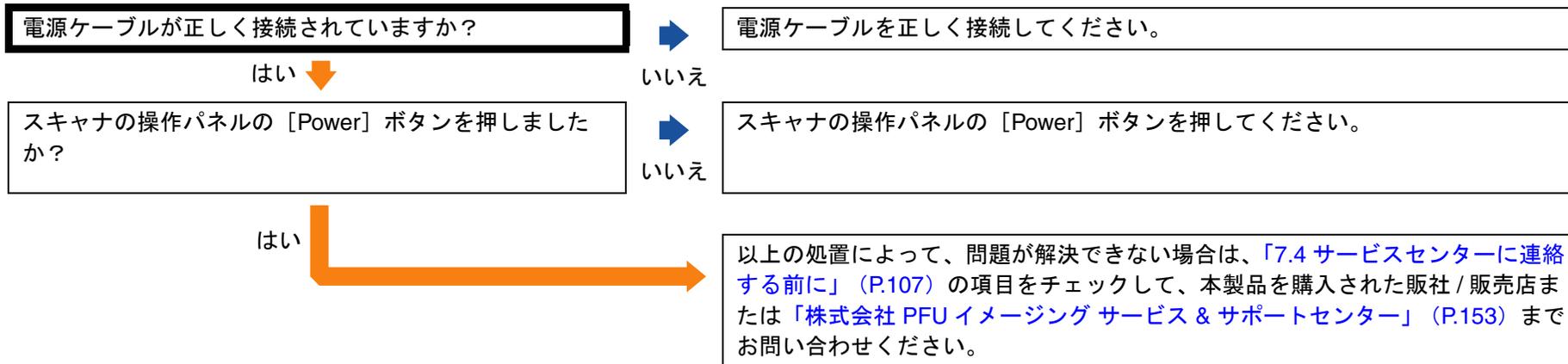
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

電源が投入されない



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

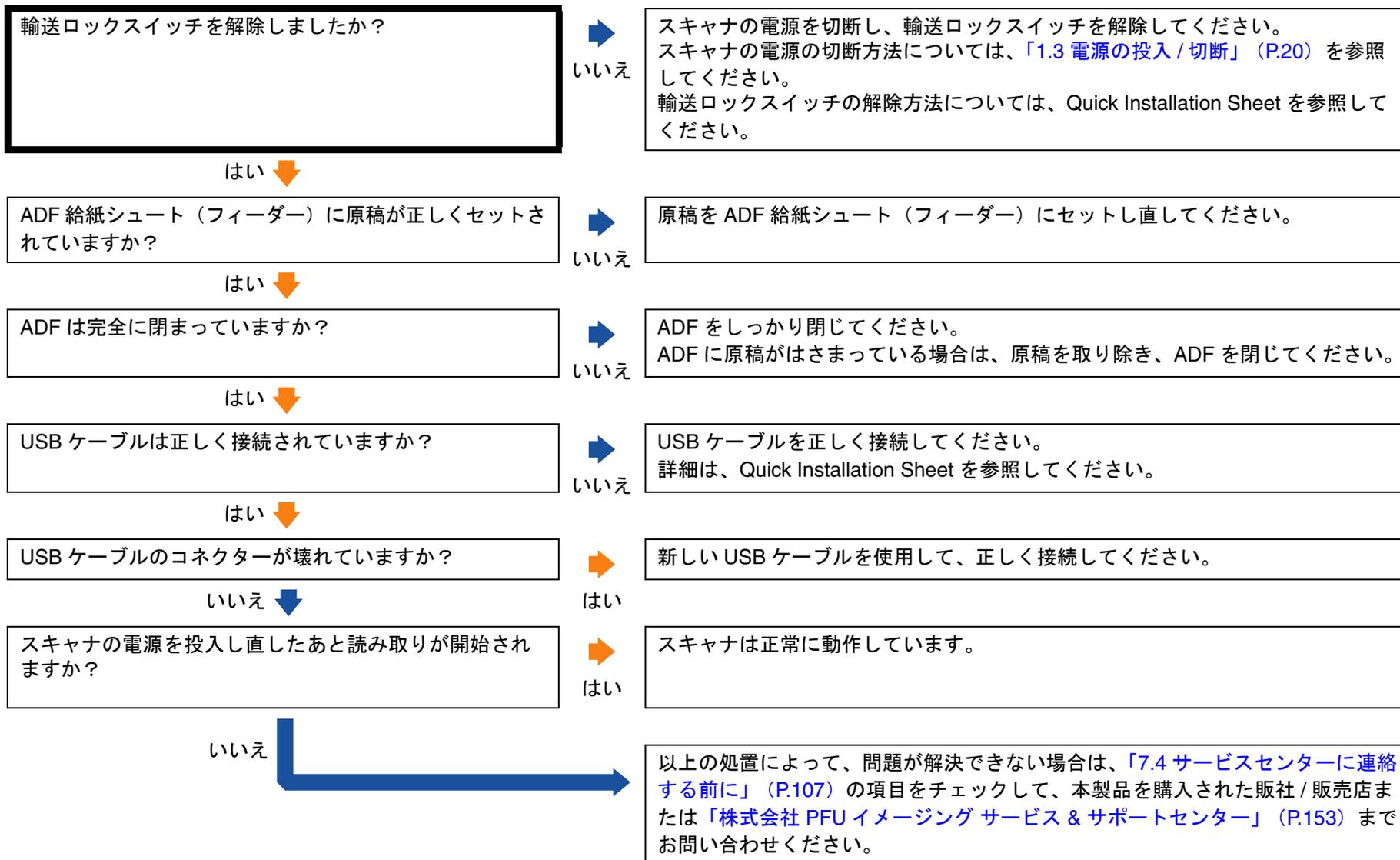
困ったときには

スキャナの動作設定

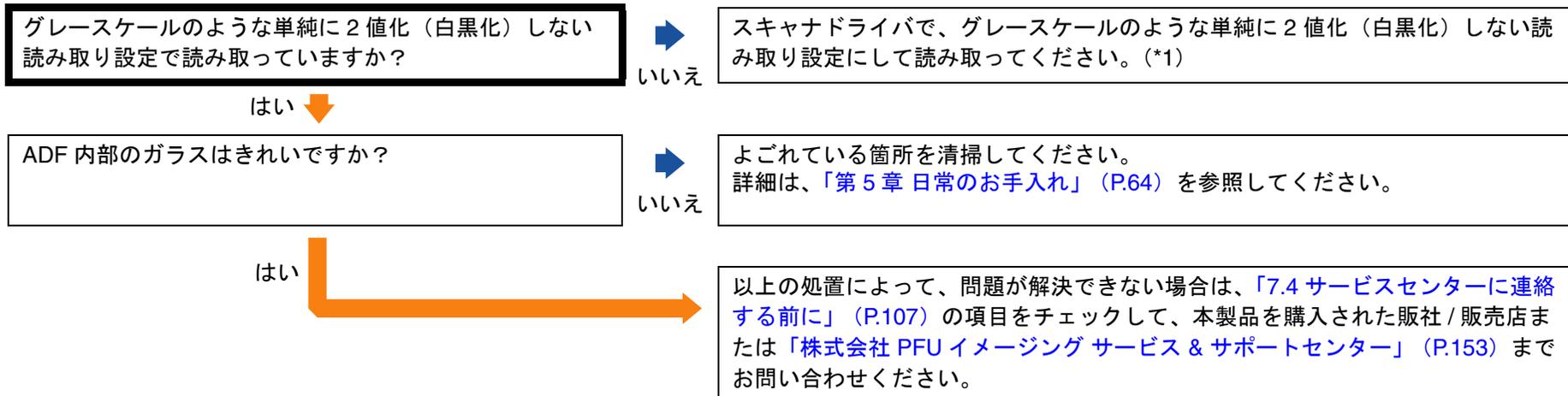
付録

用語集

読み取りが開始されない

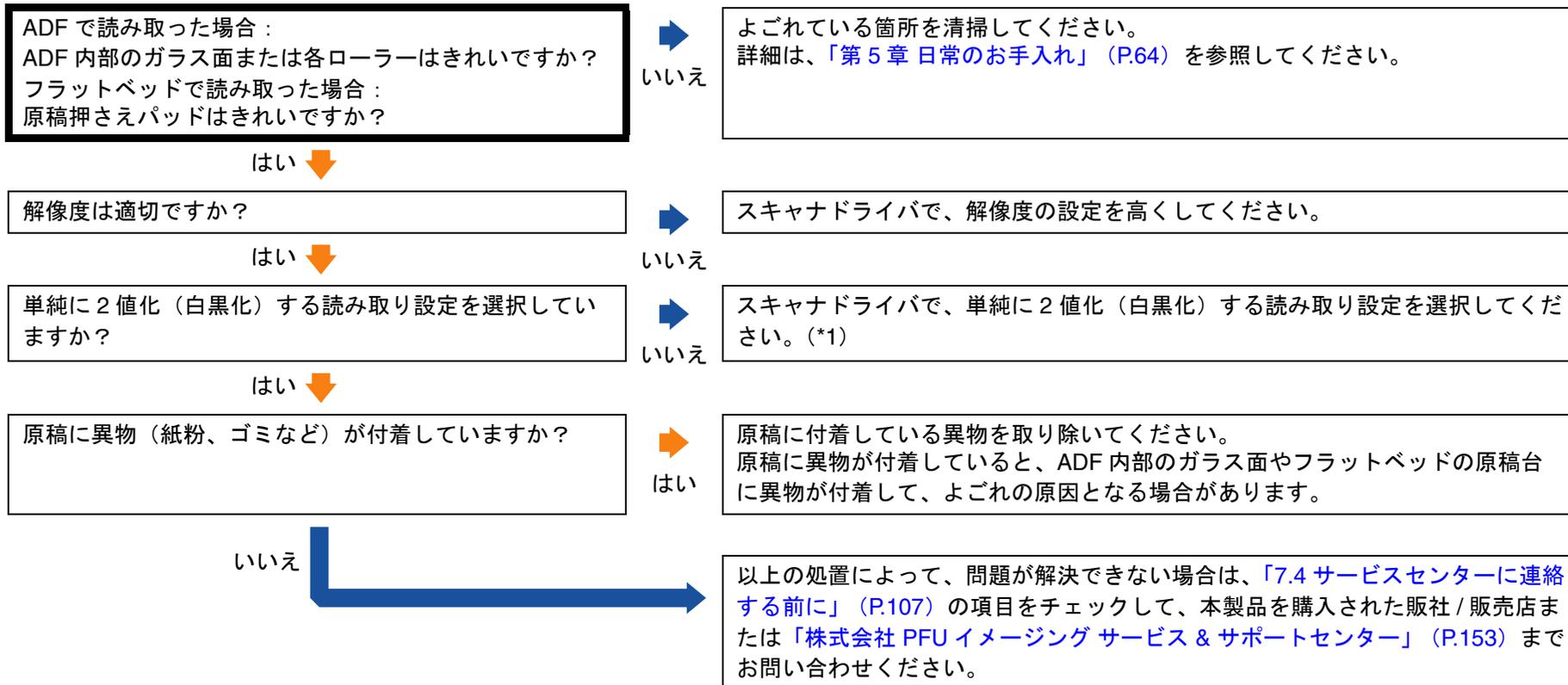


白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる



*1：絵や写真を単純に2値化（白黒化）すると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。スキヤナドライバで設定可能な場合は、グレースケールのような単純に2値化（白黒化）しない読み取り設定にして読み取ってください。

文字や線の読み取り結果が良くない



*1：グレースケール、カラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。スキャナドライバで設定可能な場合は、単純に2値化（白黒化）する読み取り設定にして読み取ってください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

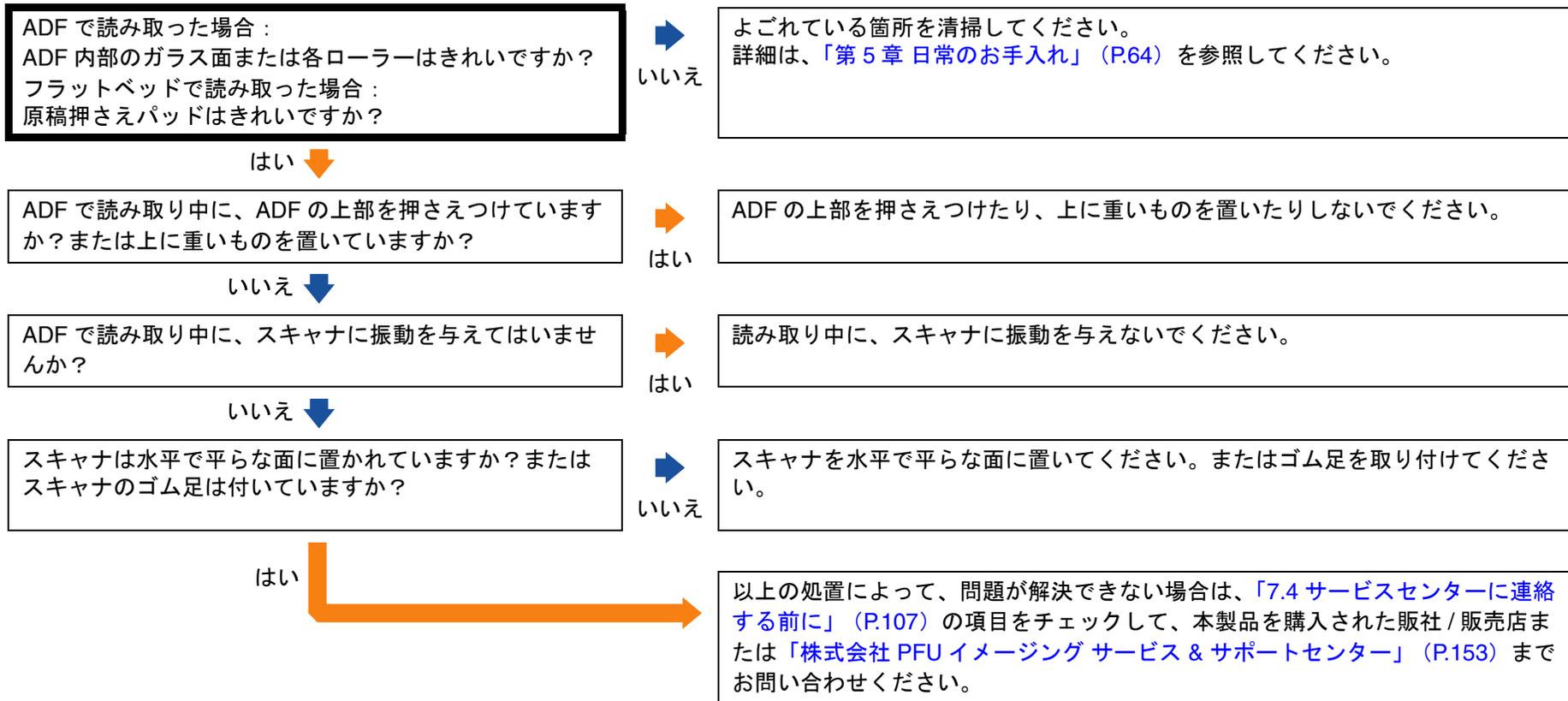
日常のお手入れ

消耗品の交換

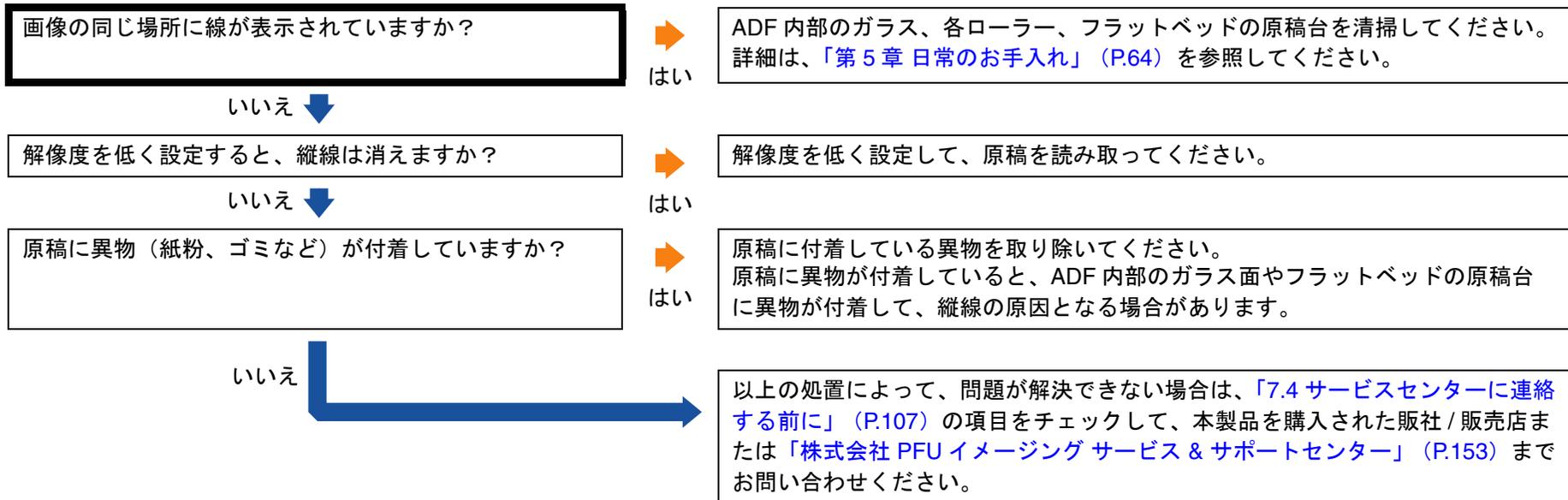
困ったときには

スキャナの動作設定

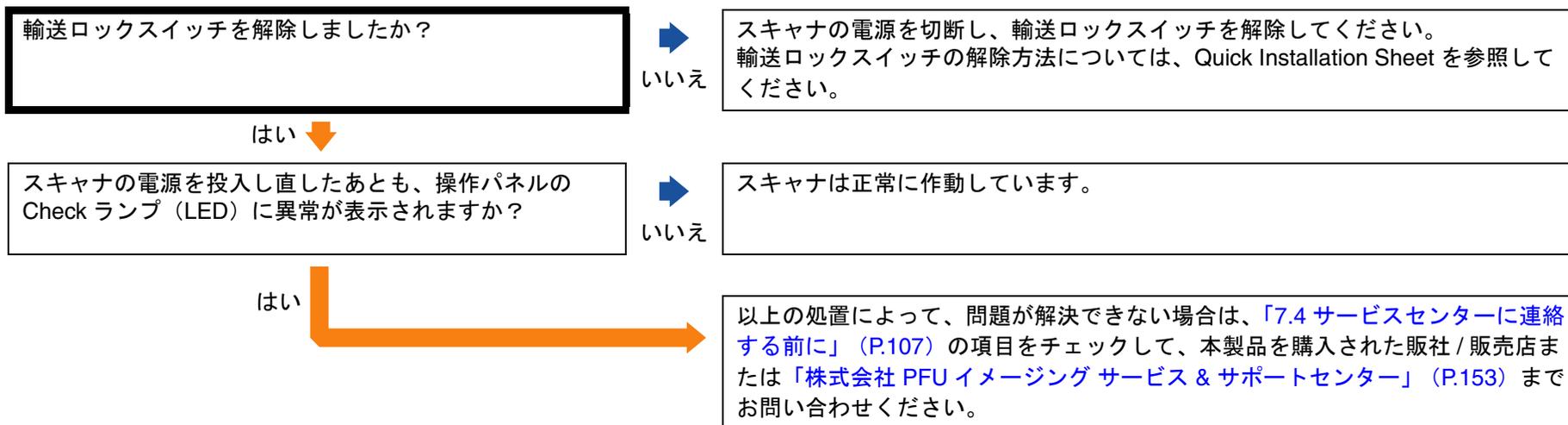
画像がゆがむまたは鮮明ではない



読み取った画像に縦線が出る



スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルのCheckランプ（LED）が点灯または点滅している



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

マルチフィードが頻繁に起こる



はい(続き) ↓

消耗品(*1)が擦り減っていますか?

→
はい

消耗品カウンターを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。
詳細は、「第6章 消耗品の交換」(P.75)を参照してください。

いいえ ↓

標高2,000m以上の高地でスキャナを使用していますか?

→
はい

Software Operation Panelの高地モード(*2)を「有効」にしてください。
詳細は、「高地で読み取る機能の設定(高地モード)」(P.132)を参照してください。

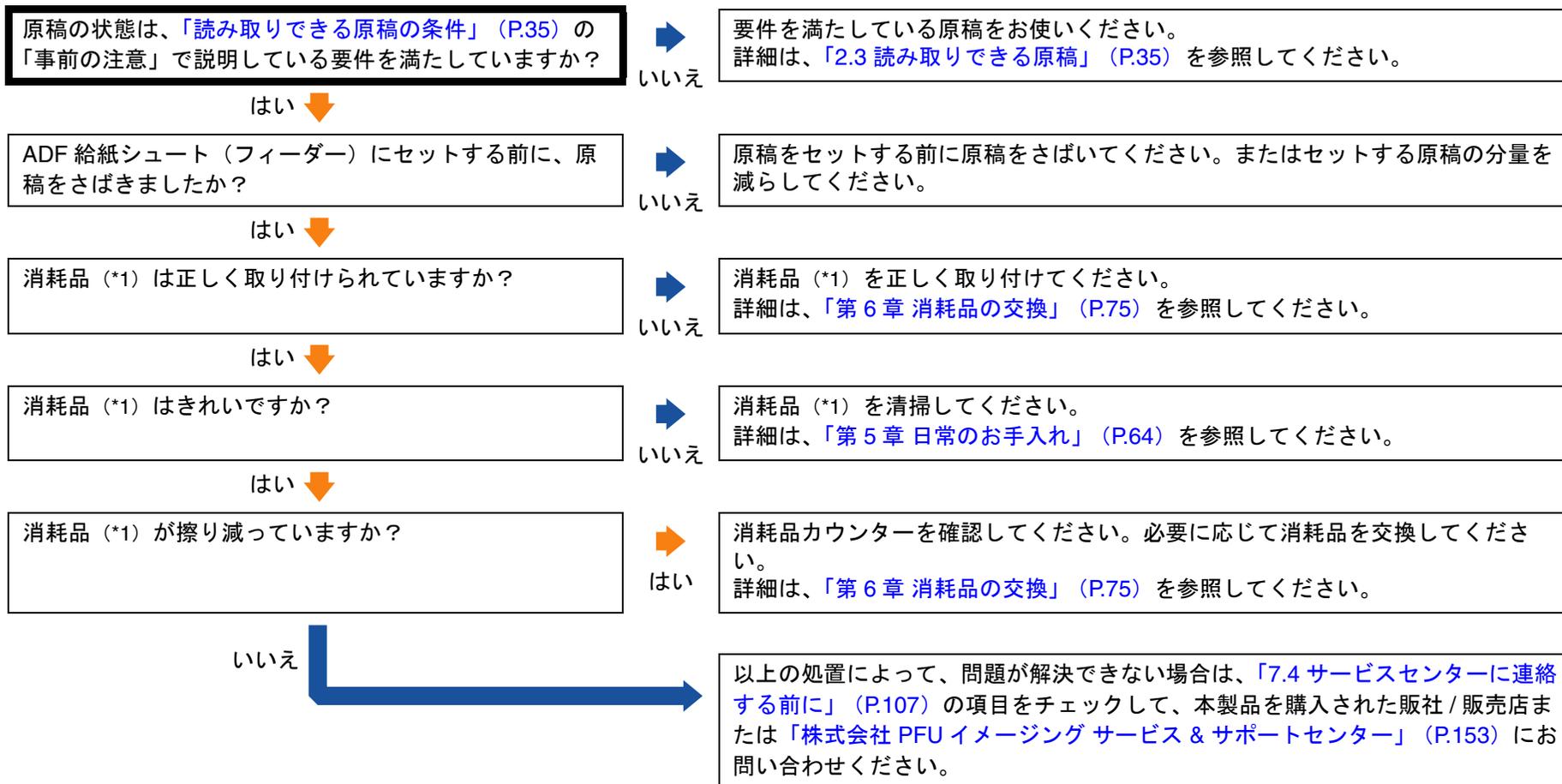
いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.107)の項目を
チェックして、本製品を購入された販社/販売店または「株式会社PFU イメージング サービス & サポートセン
ター」(P.153)にお問い合わせください。

*1: 消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

*2: 高地モードが「有効」の場合に、標高2,000m未満の平地でスキャナを使用すると、マルチフィードが検出されないことがあります。

原稿が ADF に送られない状態が頻繁に起こる



*1: 消耗品とは、ブレーキローラおよびピックアップローラです。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

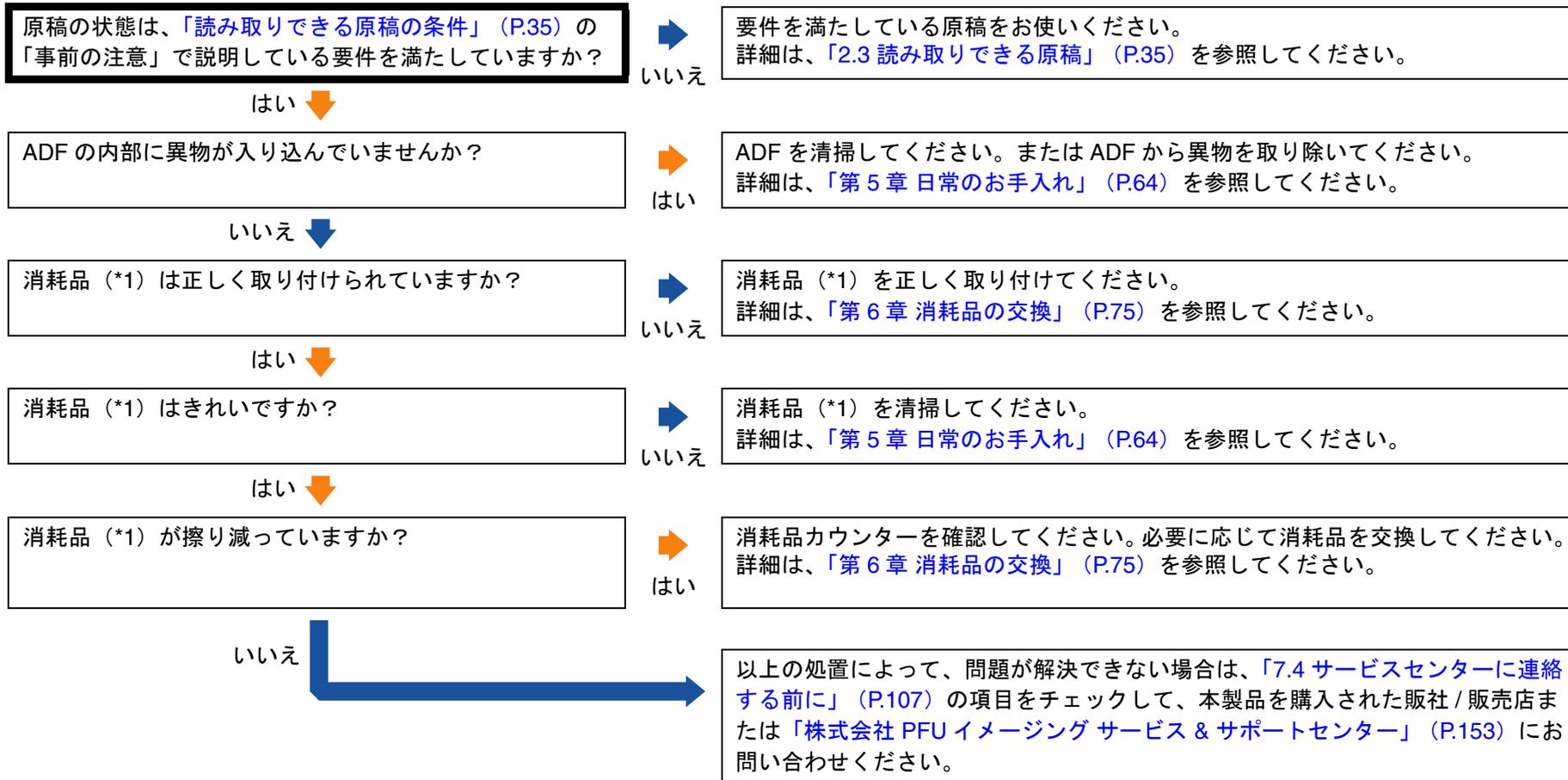
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

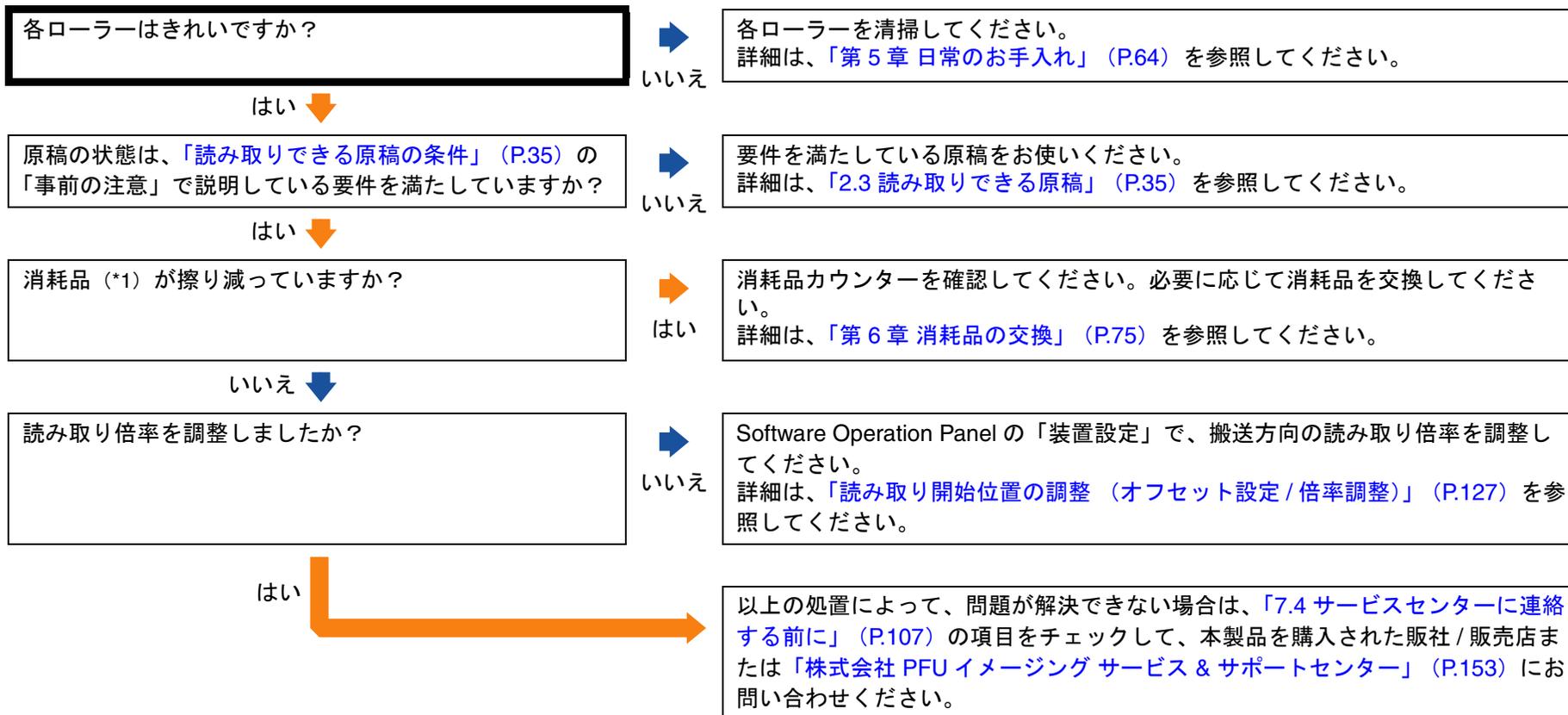
スキャナの動作設定

原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる



*1：消耗品とは、ブレイキローラおよびピックローラです。

読み取った画像が間延びする



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

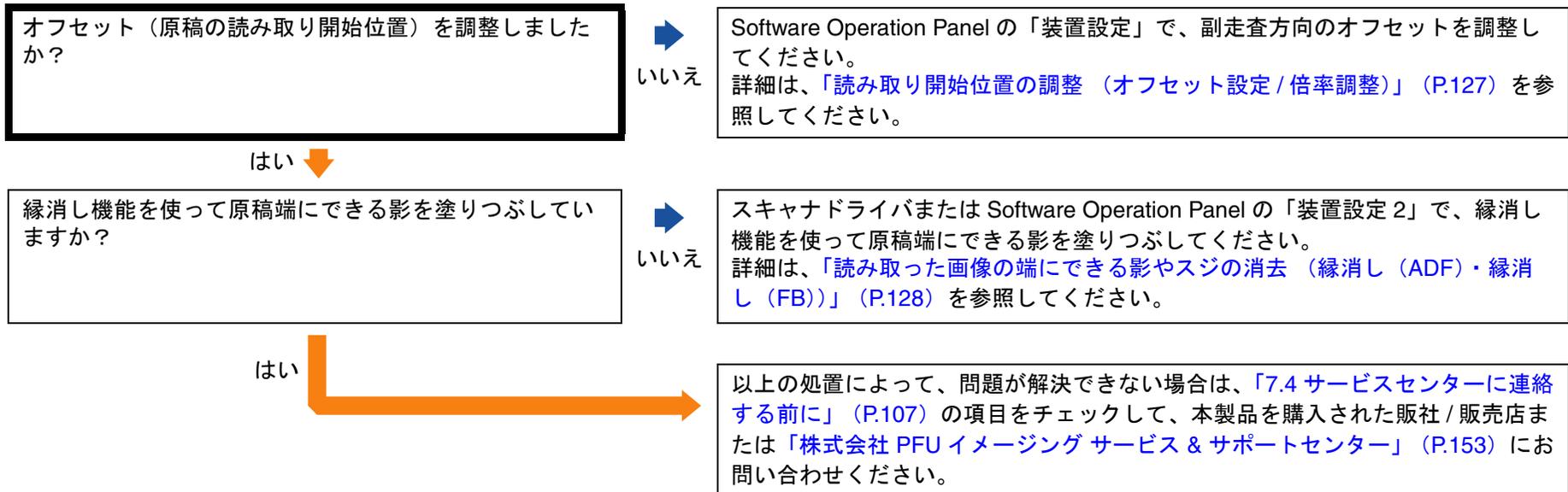
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

読み取った画像の先端または後端に影がある



原稿に黒い跡が残る

鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？

はい

鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。
詳細は、「第5章 日常のお手入れ」(P.64)を参照してください。

いいえ ↓

ADF 内部のガラス面または各ローラーはきれいですか？

いいえ

よごれている箇所を清掃してください。
詳細は、「第5章 日常のお手入れ」(P.64)を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.107)の項目をチェックして、本製品を購入された販社/販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.153)までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる

A3 キャリアシートだけを連続して読み取りませんでしたか？	はい	PPC 用紙（再生紙）など 50 枚程度を連続給紙したあとに、A3 キャリアシートを読み取ってください。 PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
いいえ ↓		
A3 キャリアシートはきれいですか？	いいえ	次のどちらかを行って、対処してください。 <ul style="list-style-type: none">● A3 キャリアシートを清掃してください。 清掃方法については、「第5章 日常のお手入れ」（P.64）を参照してください。● 新しい A3 キャリアシートに交換してください。 A3 キャリアシートのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」（P.154）にお問い合わせください。
はい ↓		
ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？	いいえ	ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。 詳細は、「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」（P.51）または「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」（P.54）を参照してください。
はい ↓		
ADF 内部のガラス面または各ローラーはきれいですか？	いいえ	よごれている箇所を清掃してください。 清掃方法については、「第5章 日常のお手入れ」（P.64）を参照してください。
はい ↓		
消耗品（*1）が擦り減っていますか？	はい	消耗品カウンターを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。 詳細は、「第6章 消耗品の交換」（P.75）を参照してください。
いいえ ↓		
ADF の内部に異物が入り込んでいませんか？	はい	ADF を清掃してください。または ADF から異物を取り除いてください。 詳細は、「第5章 日常のお手入れ」（P.64）を参照してください。
いいえ（続く） ↓		

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

いいえ (続き) ↓

厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいませんか？

はい

厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんで読み取れません。要件を満たしている原稿をお使いください。詳細は、「[A3 キャリアシートを使用する場合の条件](#)」(P.44)を参照してください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[7.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.107)の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.153)までお問い合わせください。

*1 : 消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りませんでしたか？

はい

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を1枚ずつはさんで読み取ってください。

いいえ ↓

原稿の折り目が、A3 キャリアシートからはみ出ていませんか？

はい

原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分をA3 キャリアシートの端から1mmほど内側にずらしてはさんでください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」（P.107）の項目をチェックして、本製品を購入された販売店または「株式会社PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.153）までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.153））に連絡する前に、次の項目をお調べください。

概要

調べる項目	調査結果
スキャナ名	例：ScanPartner SP30F スキャナ名については「7.5 装置ラベルの確認」（P.109）を参照してください。
製造番号 (シリアルナンバー)	例：XXXX000001 製造番号については「7.5 装置ラベルの確認」（P.109）を参照してください。
製造年月	例：2013-09（2013年9月） 製造年月については「7.5 装置ラベルの確認」（P.109）を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：A3 キャリアシート オプションについては「付.4 スキャナのオプション」（P.146）を参照してください。

エラーの状況

■コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	例：USB インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	

■搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

■画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
アプリケーションの種類	例：Presto! PageManager
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、2値白黒

■その他

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方をE-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

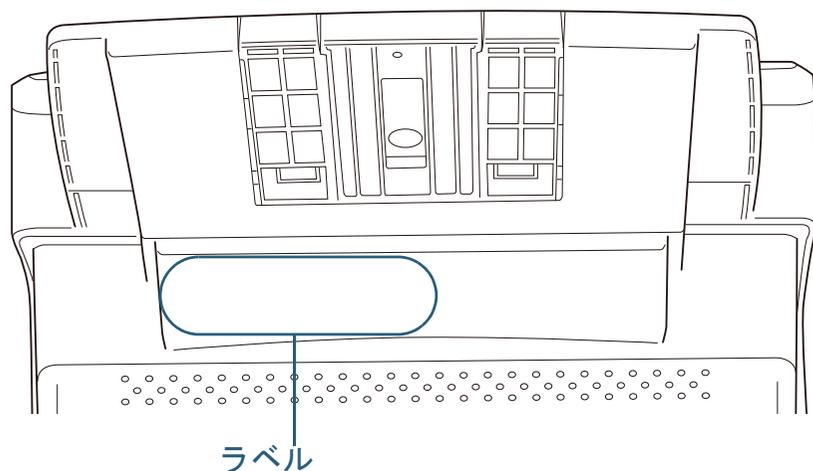
用語集

7.5 装置ラベルの確認

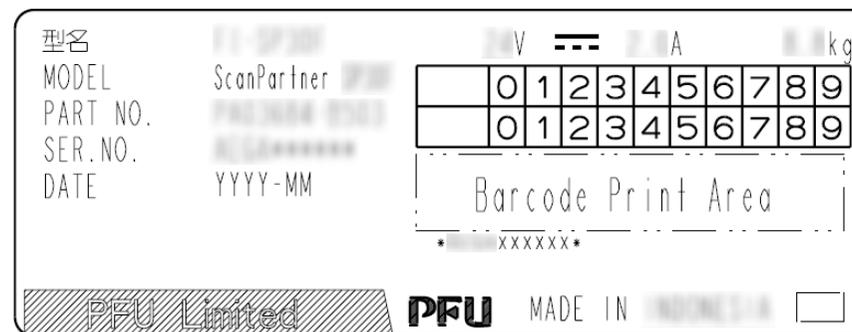
ラベルの確認方法について説明します。

ラベルの位置

ラベルの位置を次に示します。



ラベル 例：スキャナの情報を示しています。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第 8 章 スキャナの動作設定

この章では、Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明します。

8.1 Software Operation Panel の起動	111
8.2 Software Operation Panel のパスワード設定	113
8.3 設定できる項目	119
8.4 枚数カウンタに関する設定	124
8.5 読み取りに関する設定	127
8.6 マルチフィード検出に関する設定	133
8.7 待機時間に関する設定	138
8.8 電源投入 / 切断に関する設定	140

8.1 Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel は PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。

このアプリケーションを利用することで、読み取り時の動作や消耗品の管理などを設定できます。

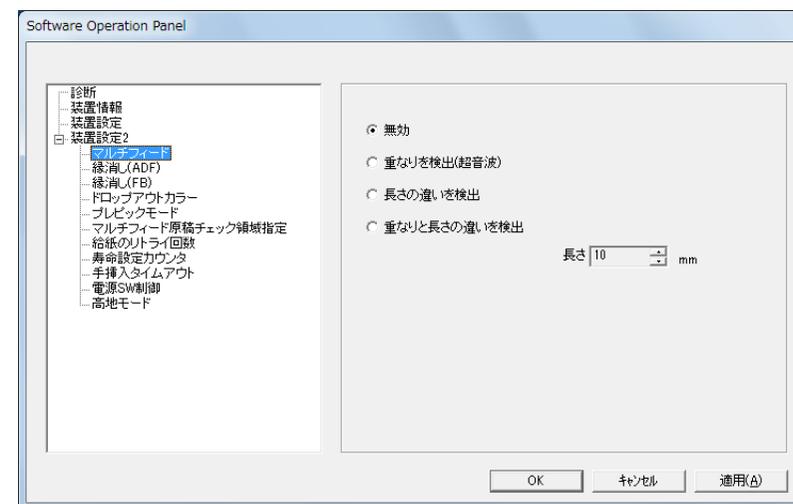
重要

- Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。
- スキャナを複数台接続しても2台目以降のスキャナは認識されません。スキャナは2台以上接続しない状態でお使いください。

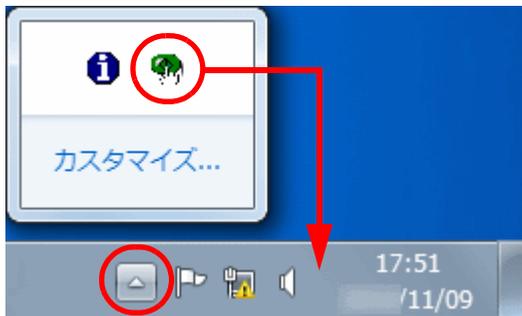
- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入/切断」(P.20)を参照してください。

- 2 「Software Operation Panel」画面を表示します。

- Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7
「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「ScanPartner」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows Server 2012/Windows 8
スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」 → 「ScanPartner」の「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows Server 2012 R2/Windows 8.1
スタート画面左下にある「↓」 → 「ScanPartner」の「Software Operation Panel」をクリックします。
「↓」はマウスを動かすと表示されます。



- ⇒ 画面右下の通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、Software Operation Panel のアイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



以降、通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させた場合を例に説明します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.2 Software Operation Panel のパスワード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定することにより、スキャナの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

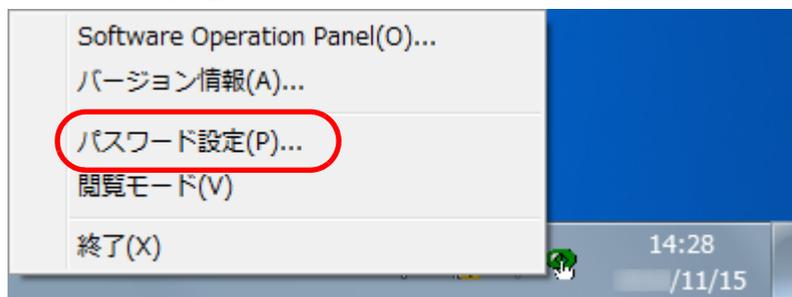
パスワードを設定していない状態では、スキャナの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限することで、不用意な設定変更を防止できます。

パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。

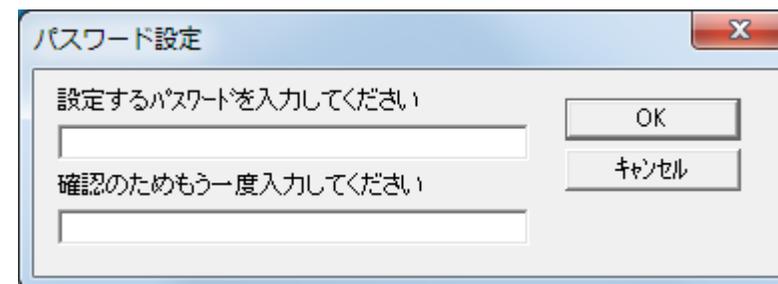


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。

入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

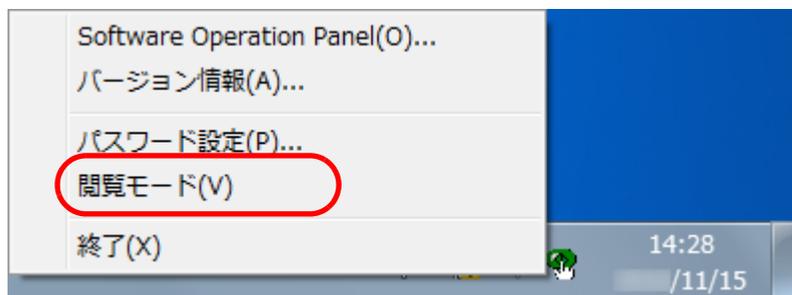
- 3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ パスワードが設定されます。

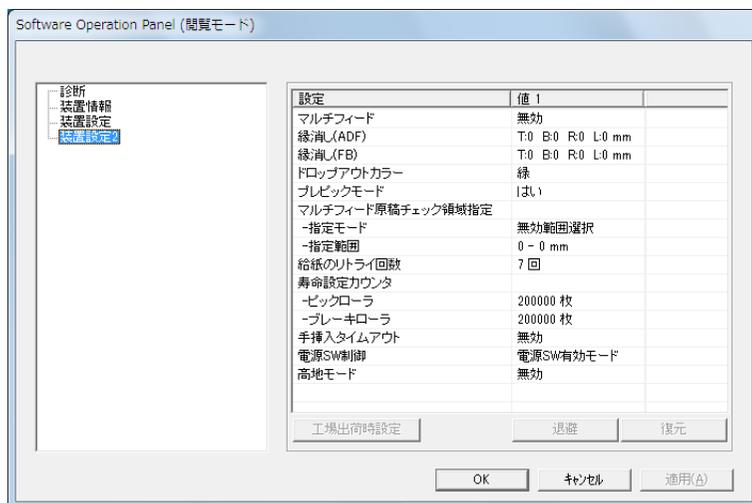
「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

- 1 パスワードを設定します。
「パスワードの設定」(P.113) を参照してください。
- 2 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

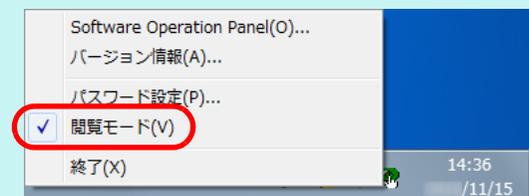


⇒ Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

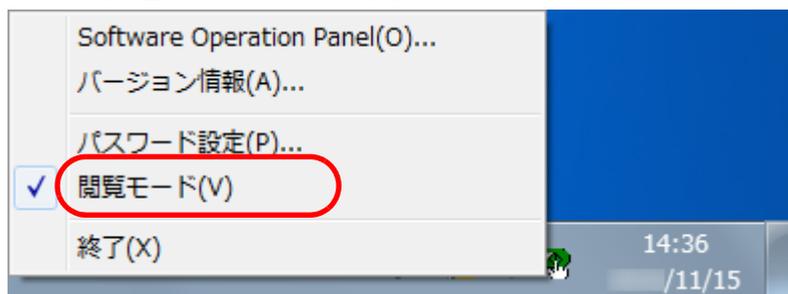
付録

用語集

「閲覧モード」の設定解除

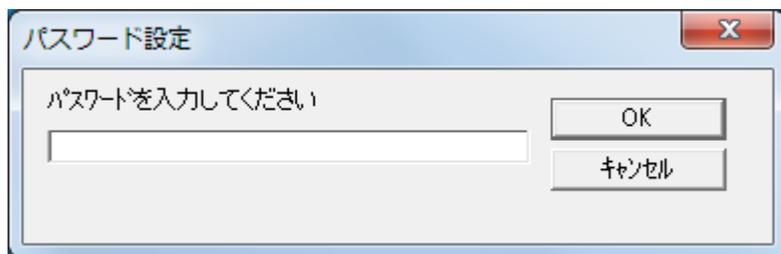
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

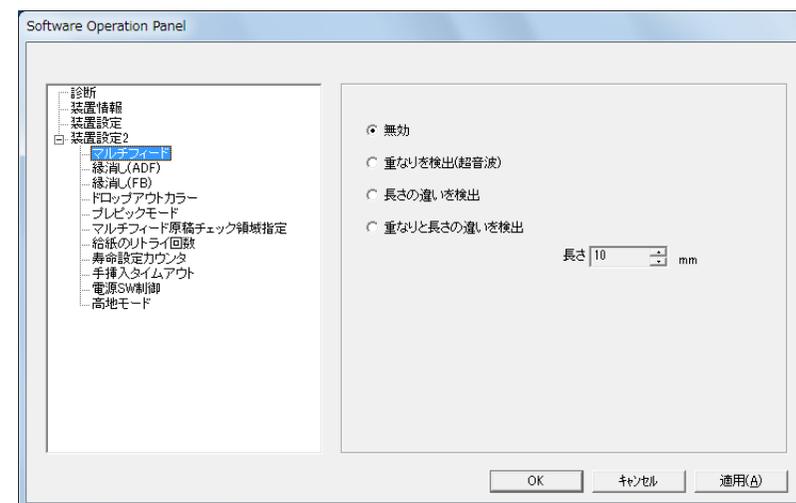


⇒「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

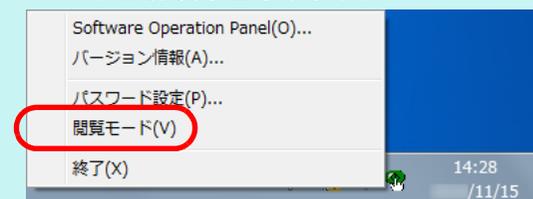


⇒「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナ設定可能なモードで起動されます。



ヒント

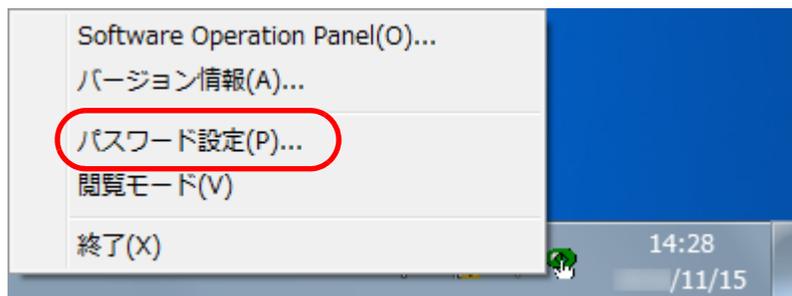
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



パスワードの変更

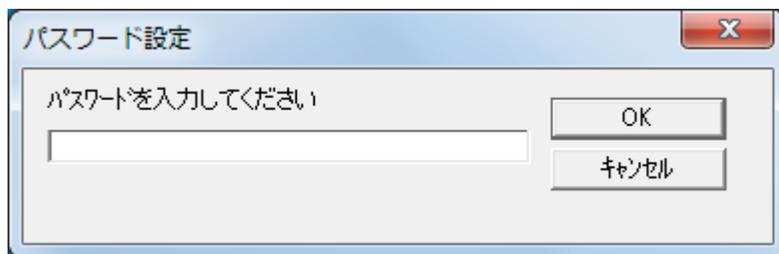
パスワードを変更します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



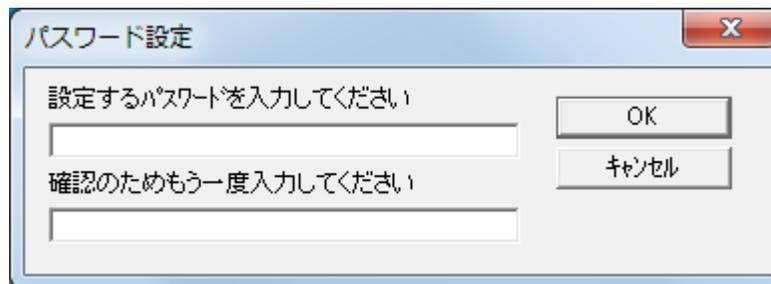
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は32文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが変更されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

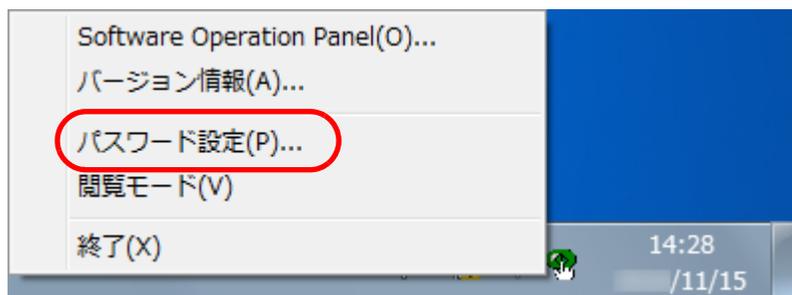
付録

用語集

パスワードの設定解除

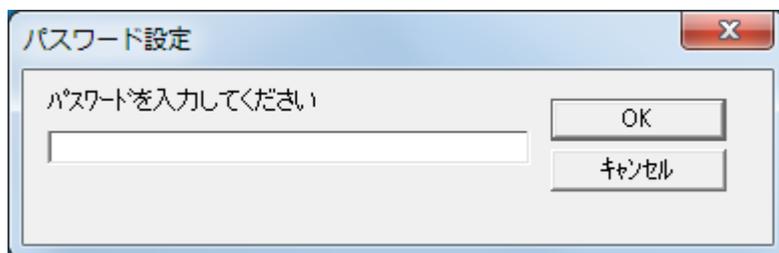
パスワードの設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



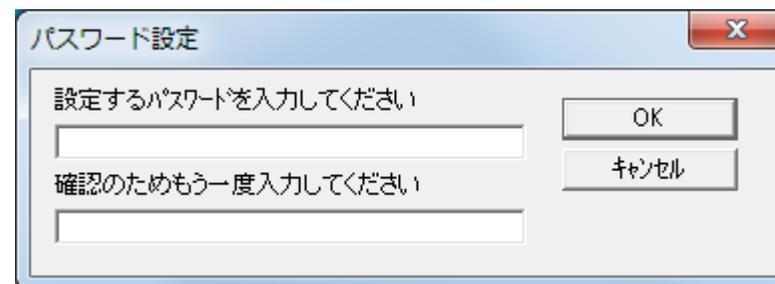
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



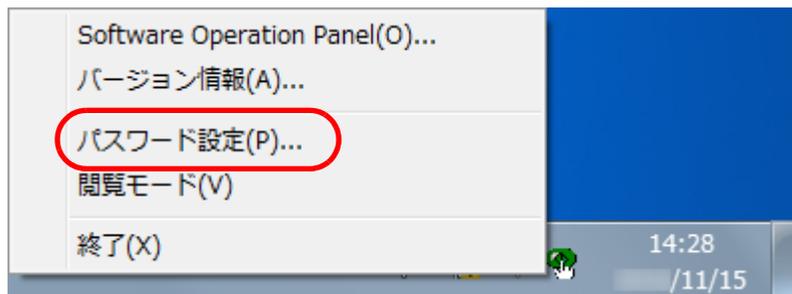
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードの設定が解除されます。

パスワード紛失時の対応

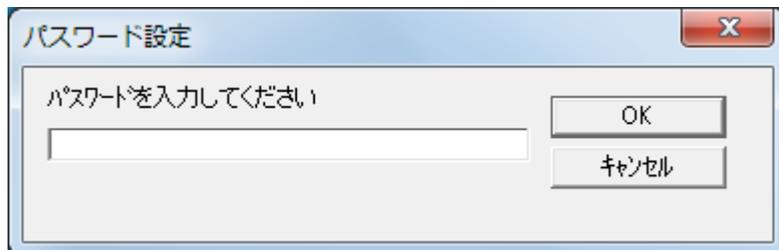
パスワードを紛失した場合、次の手順で、パスワードを再設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



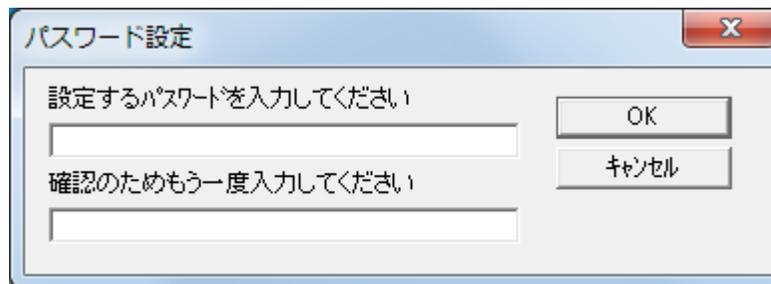
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 デフォルトパスワード「scanpartner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが再設定されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

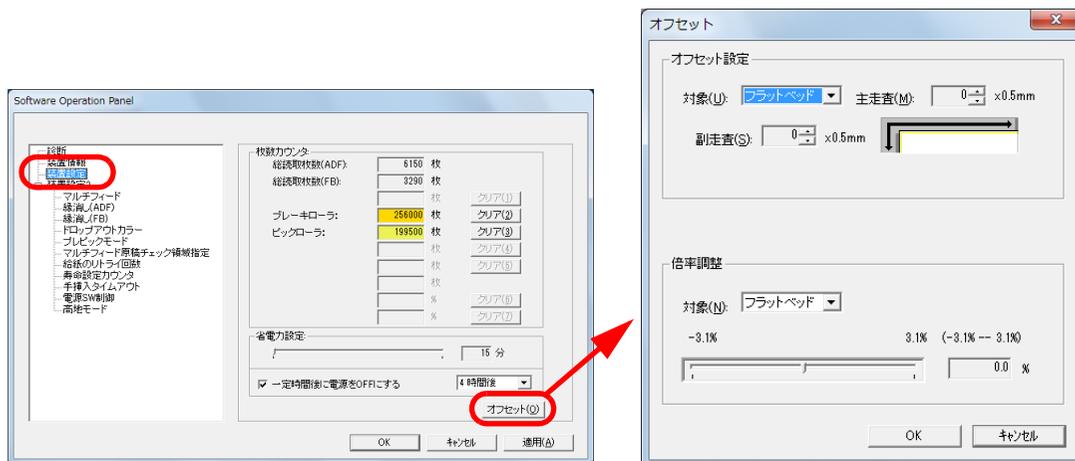
用語集

8.3 設定できる項目

Software Operation Panel では、コンピュータに接続されているスキャナに対して次のような設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
枚数カウンタ (P.124)	消耗品の交換時期を確認するために使用します。 また、消耗品を交換したときは、この機能を使ってカウンターをリセットします。	総読取枚数 (ADF) / 総読取枚数 (FB) / ブレーキローラ / ピックローラ	0
省電力設定 (P.139)	省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。	5 ~ 235 分の範囲で設定 (5 分刻みで設定)	15 分
	一定時間後に電源を OFF にする : スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されるようにしたい場合にチェックします。 また、自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間を設定します。	「一定時間後に電源を OFF にする」のチェック 1 時間後 / 2 時間後 / 4 時間後 / 8 時間後 (「一定時間後に電源を OFF にする」をチェックした場合)	チェックあり 4 時間後
オフセット設定 (P.127)	対象で選択した読み取り面の、原稿の読み取り開始位置のズレを調整します。	対象 : フラットベッド / ADF (表面) / ADF (裏面) 主走査・副走査 : -2 ~ +2mm の範囲で設定 (0.5mm 刻みで設定)	主走査・副走査 : 0mm
倍率調整 (P.127)	対象で選択した読み取り方法の、搬送方向の読み取り倍率を調整します。	対象 : フラットベッド / ADF -3.1 ~ 3.1% の範囲で設定 (0.1% 刻みで設定)	0%

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

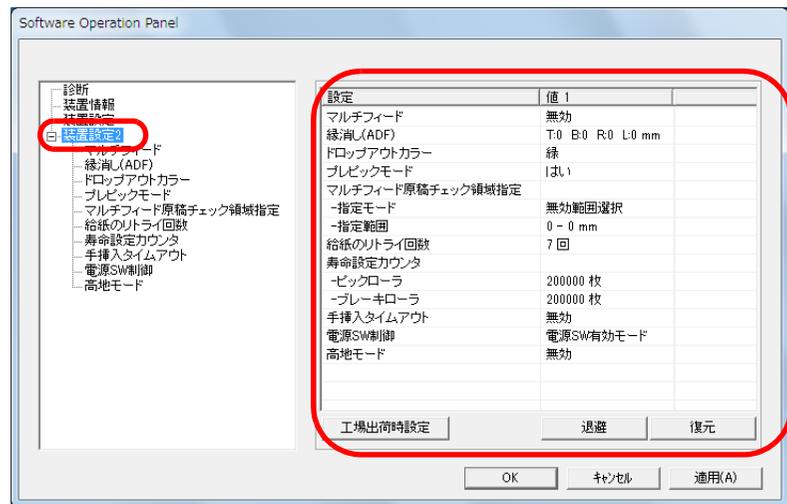
スキャナの動作設定

付録

用語集

装置設定 2

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



装置設定 2 で現在設定されている内容が画面右に一覧表示されます。
この画面で設定できる項目を次に示します。

ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷時の設定に戻せます。
工場出荷時の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。
変更した設定内容がクリアされますので、注意してください。
- Software Operation Panel の設定内容をバックアップとして、退避できます。
退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナに同じ設定内容を復元できます。
復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。
なお、異なるスキャナには復元できません。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

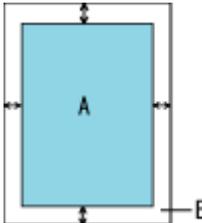
消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
マルチフィード (P.133)	マルチフィードの検出方法を設定します。重なり、原稿の長さ、または両方を監視し、マルチフィードを検出します。 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	無効 / 重なりを検出 (超音波) / 長さの違いを検出 / 重なりと長さの違いを検出 長さ (長さの違い検出時: 10/15/20mm から選択)	無効 長さ: 10mm
縁消し (ADF) 縁消し (FB) (P.128)	読み取られた画像の端面を指定された幅だけ白色で塗りつぶします。 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、本設定で出力された画像に対して、スキャナドライバの縁消し処理が行われます。	ADF : 上端 / 左端 / 右端 : 0 ~ 15mm 下端 : -7 ~ 7mm (1mm 刻みで設定可能) FB : 上端 / 下端 / 左端 / 右端 : 0 ~ 15mm  (A : 画像領域、B : 縁消し領域、A+B : 出力領域)	上 / 下 / 左 / 右 : 0mm
ドロップアウトカラー (P.130)	指定した色を除いて原稿を読み取ります (2 値白黒 / グレースケールモード時だけ)。 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	赤 / 緑 / 青 / なし	緑
プレピックモード (P.131)	処理速度を優先する場合は「はい」をクリックします。そうでない場合は「いいえ」をクリックします。 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	はい / いいえ	はい

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
マルチフィード原稿チェック領域指定 (P.135)	選択範囲：マルチフィード検出を行う範囲を制限したい場合にチェックします。	「選択範囲」のチェック	チェックなし
	有効 / 無効（中）：指定した範囲に対してマルチフィードを有効にするか、無効にするかを選択します。	有効 / 無効 （「選択範囲」をチェックした場合）	無効
	開始位置（中）：範囲の開始位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ～ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm
	終了位置（中）：範囲の終了位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ～ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm
給紙のリトライ回数 (P.131)	給紙時（ピックミスした場合）のリトライ回数を変更したい場合に設定します。	1 ～ 12 回	7 回
寿命設定カウンタ (P.126)	消耗品の交換周期を設定します。	ピックローラ / ブレーキローラ： 10,000 ～ 2,550,000 枚 （10,000 枚単位で設定します）	ピックローラ： 200,000 枚 ブレーキローラ： 200,000 枚
手挿入タイムアウト (P.138)	手挿入を無効にするか、有効にするかを選択します。	無効 / 有効	無効
	用紙無し検出までの時間設定：手挿入タイムアウトの設定を有効にした場合の、手挿入を解除するまでの待機時間を設定します。	5/10/20/30/40/50/60/70/80/90/100/110 秒	10 秒
電源 SW 制御 (P.140)	スキャナの電源の投入 / 切断方法を設定します。	電源 SW 有効モード / 電源 SW 無効モード / USB- 電源連動モード	電源 SW 有効モード
高地モード (P.132)	高地モードを有効にするか、無効にするかを選択します。 標高 2,000m 以上の高地でスキャナを使用する場合に有効にします。	有効 / 無効	無効

8.4 枚数カウンタに関する設定

枚数カウンタの確認およびリセット

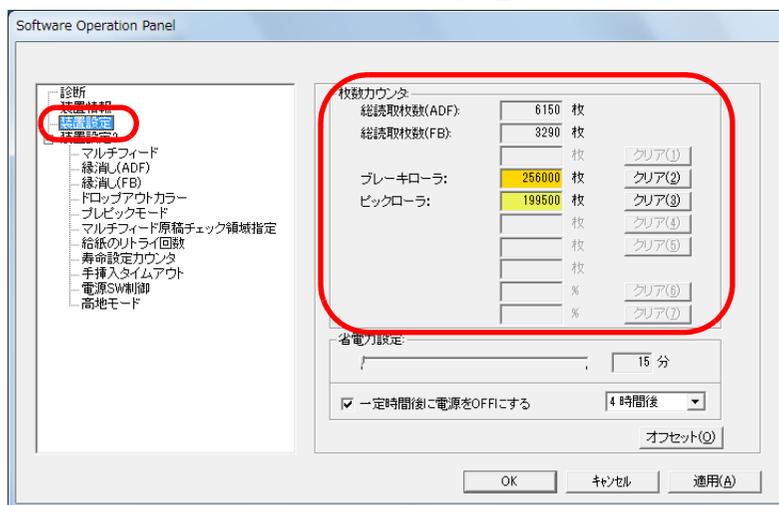
■枚数カウンタの確認

消耗品の交換時期を確認できます。

消耗品の交換が必要なカウンターの地色が変わります。

ブレーキローラおよびピックアップローラのカウンターは、消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の「消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）」（P.126）で設定した値の95%以上になった場合にカウンターの地色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」（P.111）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

項目	説明
総読取枚数（ADF）	ADF でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
総読取枚数（FB）	フラットベッドでこれまでに読み取った原稿の概算枚数
ブレーキローラ	ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数 枚数は、500 枚単位でカウントされます。
ピックアップローラ	ピックアップローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数 枚数は、500 枚単位でカウントされます。

重要

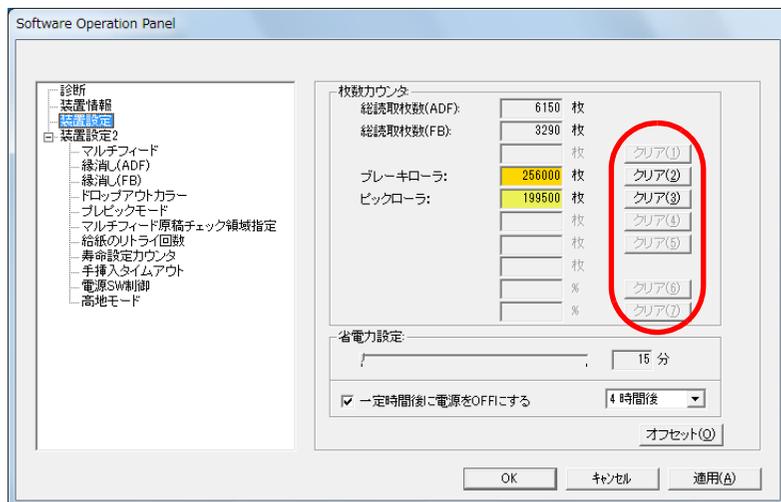
電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合や電源 SW 無効モードを設定している場合には総読取枚数カウンタが最大 9 枚分反映されないことがあります。

電源 SW 無効モードの設定については、「電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）」（P.140）を参照してください。

■枚数カウンタのリセット

消耗品を交換した場合は、次の手順で、該当する消耗品カウンターをリセットします。

1 交換した消耗品の [クリア] ボタンをクリックします。



⇒ カウンター値が0になります。

2 「Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

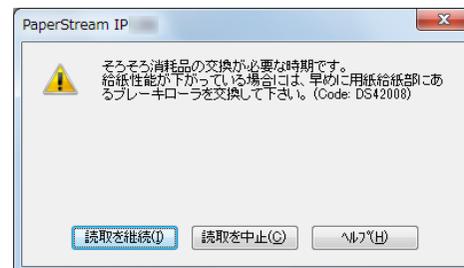
3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

■消耗品交換メッセージ

スキャナを使用していると、次のようなメッセージが表示されることがあります。

消耗品交換メッセージ



このメッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換してください。

[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。

消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- ブレーキローラ
「6.2 ブレーキローラの交換」(P.77)
- ピックローラ
「6.3 ピックローラの交換」(P.79)

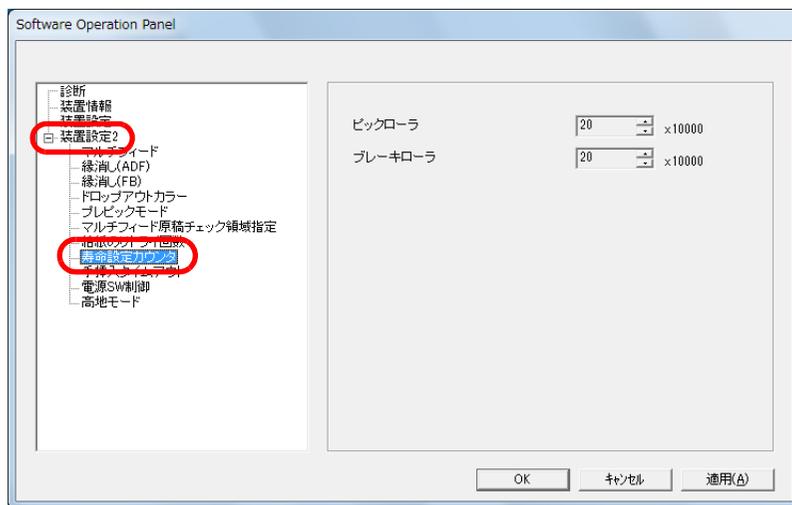
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）

消耗品の交換周期を設定できます。

消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の95%以上になった場合に「装置設定」カウンターの地色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

また、消耗品交換メッセージ（P.125）が表示されます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」（P.111）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。



- 3 各消耗品（ブレーキローラおよびピックアップローラ）の寿命設定カウント値を設定します。
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.5 読み取りに関する設定

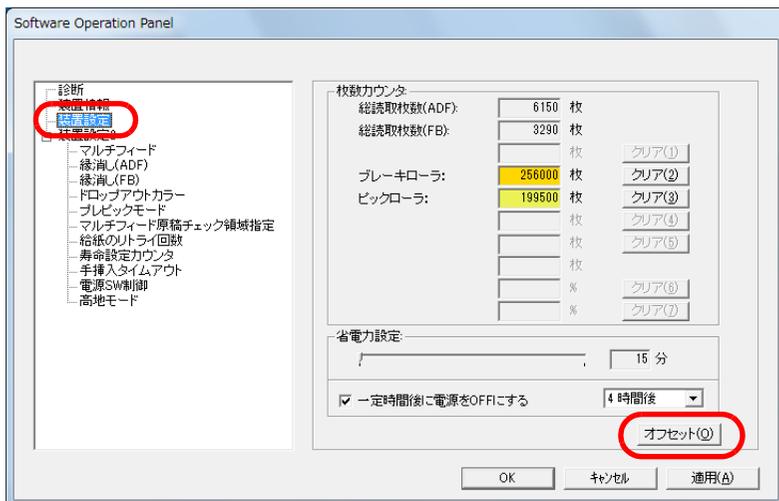
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定 / 倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、次の手順でオフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

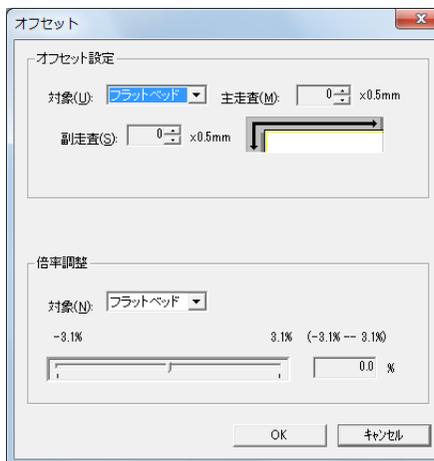
重要

工場出荷時に適切な値に調整されているため、通常は調整していただく必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。



- 3 必要に応じて、オフセット / 副走査方向の倍率調整を行います。



オフセット設定	説明
対象	オフセット調整を行う対象を、「フラットベッド」、「ADF (表面)」、「ADF (裏面)」から選択します。
主走査	主走査 (幅) 方向のオフセットを調整します。 -2 ~ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。
副走査	副走査 (長さ) 方向のオフセットを調整します。 -2 ~ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

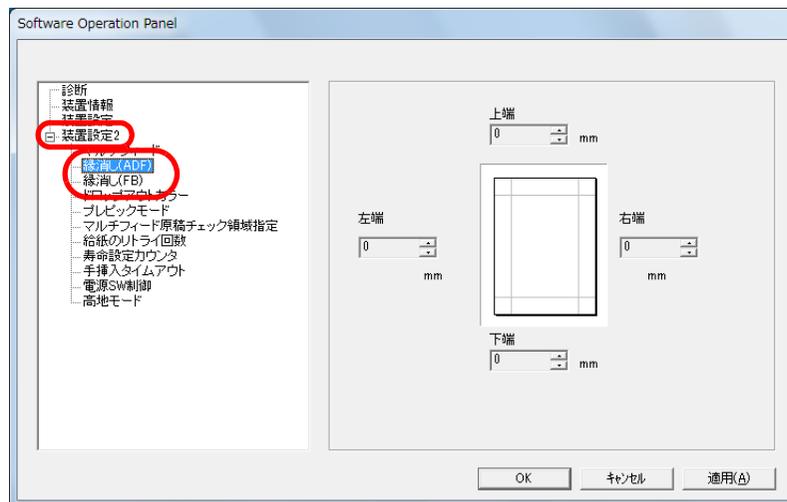
用語集

倍率調整	説明
対象	倍率調整を行う対象を、「フラットベッド」または「ADF」から選択します。
倍率調整 (副走査：長さ)	副走査（長さ）方向の倍率を調整します。 -3.1 ~ +3.1% の範囲で 0.1% 刻みの調整ができます。

読み取った画像の端にできる影やスジの消去 (縁消し (ADF)・縁消し (FB))

読み取る原稿の状態によっては、出力画像の端に原稿の影が写って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合は、「縁消し」機能を使って原稿の端を塗りつぶすことにより、原稿端部をきれいに処理できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縁消し (ADF)」または「縁消し (FB)」をクリックします。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

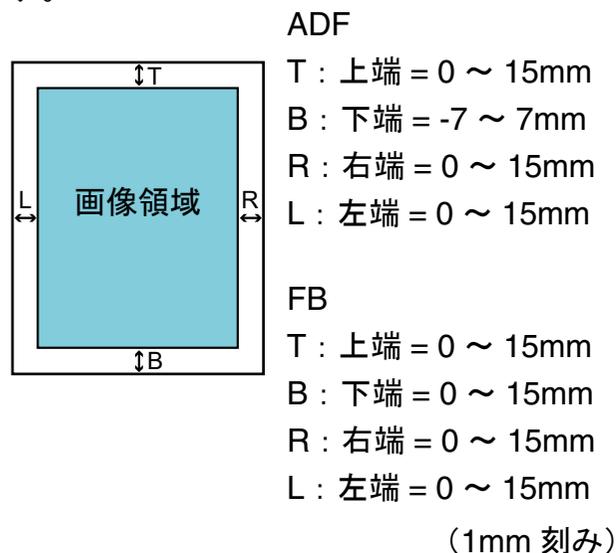
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

3 上端/下端/右端/左端それぞれの塗りつぶす幅を指定します。



指定した範囲を、白色で塗りつぶします。

重要

原稿枠いっぱいに文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の方の文字が消えてしまう場合がありますので注意してください。

ヒント

- 下端の設定については、次のように動作します。
 - プラス指定 (1 ~ 7mm) :
原稿下端検出位置より上方に指定した範囲を裏当て (背景色) の白色に塗りつぶします。
 - マイナス指定 (-1 ~ -7mm) :
原稿下端検出位置より下方に指定した範囲を裏当て (背景色) の白色に塗りつぶさずに出力します (後端検出モード時は、指定した範囲分多く画像を出力します)。
原稿下端検出位置とは、実際の読み取り原稿の下端をスキャナが検出した位置です。
- 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、本設定で出力された画像に対して、スキャナドライバの「縁消し」処理が行われます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

「ドロップアウトカラー」機能を使用すると、赤・緑・青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取りできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取りできます。

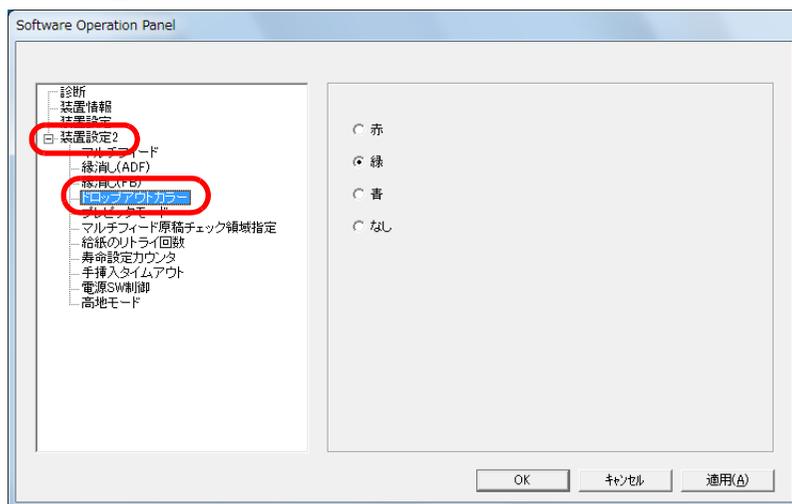
重要

ドロップアウトカラーは、対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。

ヒント

ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時だけ有効に機能します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。



- 3 ドロップアウトしたい色をクリックします。
赤、緑、青：赤/緑/青色をドロップアウトします。

なし : ドロップアウトをしません。

重要

Software Operation Panel から設定を行う場合は、赤、緑、青以外の任意の色を指定することはできません。任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナドライバから設定してください。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

ヒント

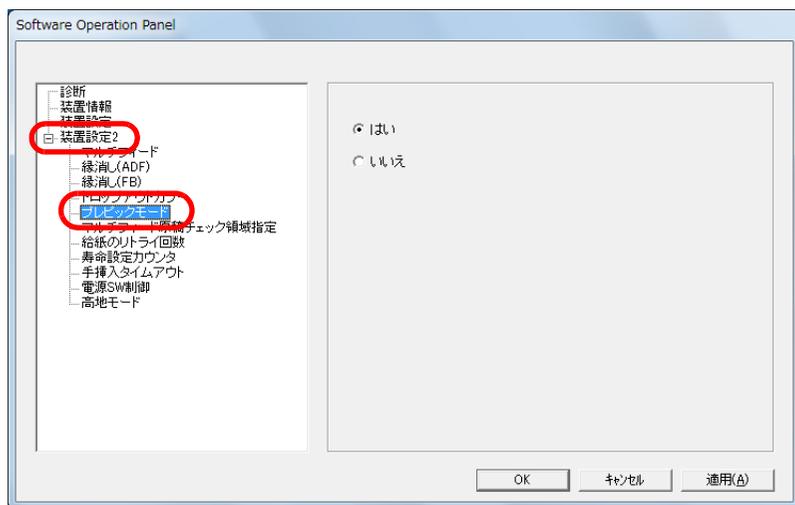
本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

読み取り時間の短縮（プレピックモード）

読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置まで搬送することを、「プレピック」と呼びます。

プレピックを有効にすることにより、読み取り終了後、次の読み取りを行うまでの時間を短縮できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「プレピックモード」をクリックします。



- 3 プレピックの設定を行います。
プレピックする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」をクリックします。

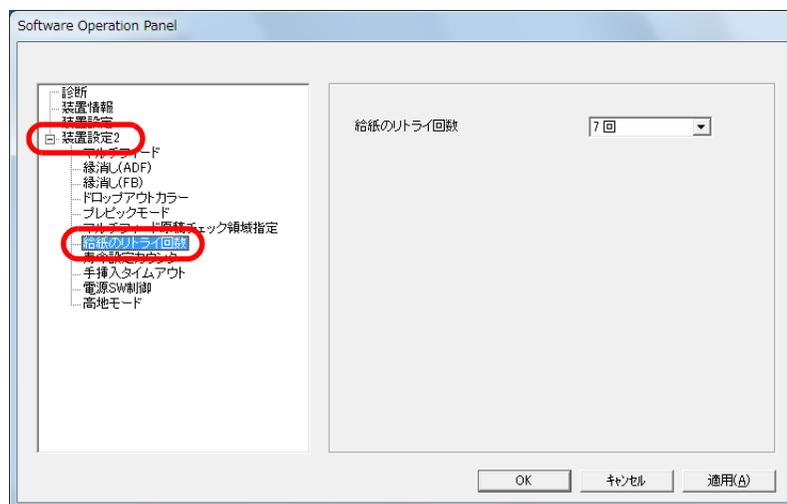
ヒント

- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- 本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

給紙時（ピックミスした場合）のリトライ回数を変更したい場合に設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。

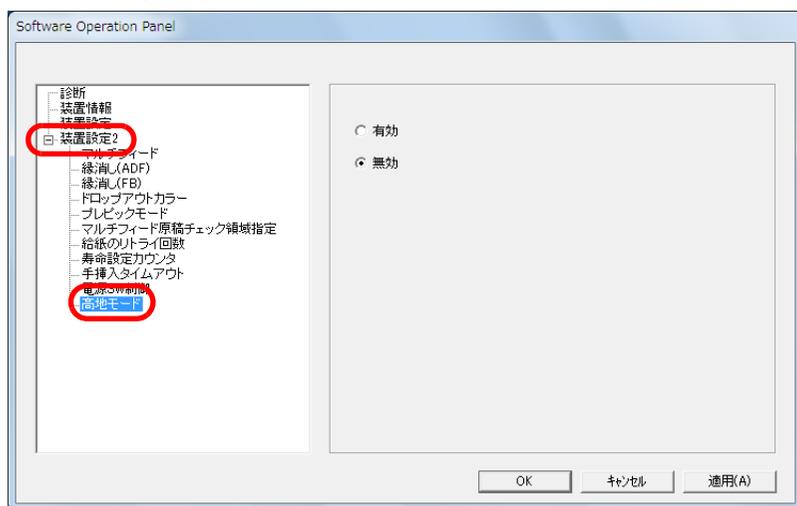


- 3 給紙のリトライ回数を選択します。
1～12回の範囲で選択できます。

高地で読み取る機能の設定（高地モード）

高地モードを有効にするか、無効にするかを選択します。高地では気圧が低いいため、超音波センサーによるマルチフィード検出の精度が低下する場合があります。高地モードを有効にすると、標高 2,000m 以上の高地でスキャナを使用できるようになります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、「8.1 Software Operation Panel の起動」（P.111）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。



- 3 「高地モード」を有効にするか、無効にするかを選択します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.6 マルチフィード検出に関する設定

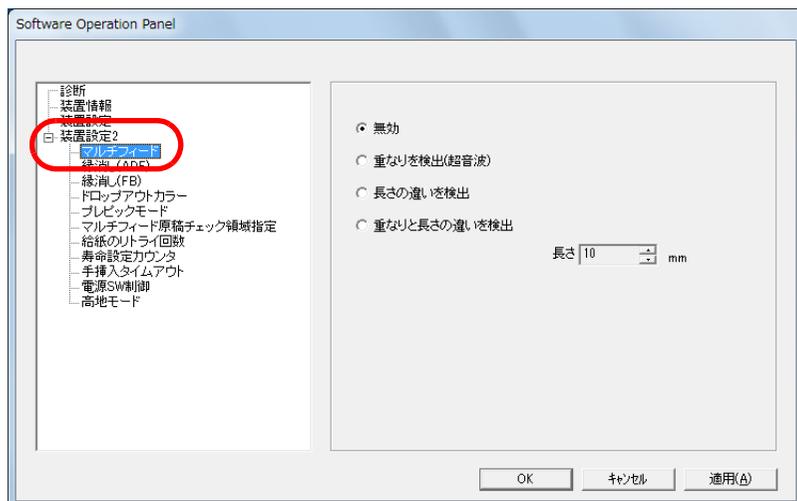
マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

気づかずに読み取っていると、あとで重要なデータが抜けていたという事態が発生するかもしれません。

これを防止するために、本製品には、マルチフィード検出機能があります。この機能を有効にしておくことで、マルチフィードを検出した時点で、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、原稿の先端から約30mmは、マルチフィードとして検出されません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。



- 3 検出方法をクリックします。

検出方法	説明
無効	マルチフィードを検出しません。
重なりを検出 (超音波)	原稿の重なりからマルチフィードを検出します。この設定をした場合、さらに次の検出オプションを指定することもできます。 ● 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)」(P.135)に進みます。
長さの違いを検出	原稿の長さの違いから、マルチフィードを検出します。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。
重なりと長さの違いを検出	「重なりを検出 (超音波)」と「長さの違いを検出」によりマルチフィードを検出します。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。この設定をした場合、さらに次の検出オプションを指定することもできます。 ● 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)」(P.135)に進みます。
長さ	長さの違いを検出する場合に、マルチフィードとみなすための長さの違いを、10/15/20mm から選択します。選択された長さ以下は、誤差とみなされて、マルチフィードとして検出されません。

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用してください。
- 原稿の上に写真や紙などが貼られている場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用すると、貼り付け部分を重なりと誤検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を使用してください。
ただし、検出範囲を制限することによって、「重なりを検出（超音波）」を使用することもできます。
- A3 キャリアシートはマルチフィードを検出できません。

ヒント

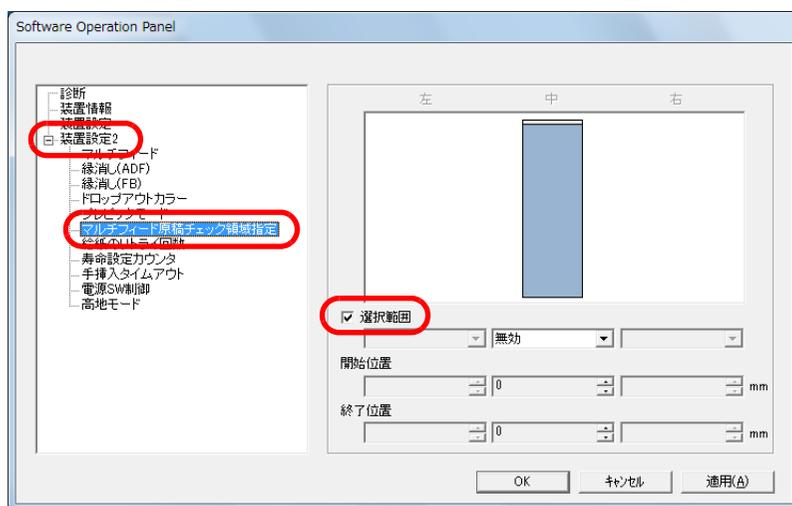
本設定はスキャナドライバでも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)

「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合だけ次の設定があります。

- 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。画面内の「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



2 検出範囲を指定します。

検出範囲	説明
選択範囲	<p>次の図にある水色の検出範囲を指定するために、チェックします。</p> <p>この画面で設定する内容を有効にする場合はチェックします。有効にしない場合はチェックを外します。チェックを外すと、開始位置 = 0 終了位置 = 0 となり、全範囲についてマルチフィード検出が行われます。</p> <p>この条件は、原稿がピックアップ幅の中央 (左右対称) にセットされていることが前提となります。</p> <p>原稿の先端から約 30mm は、マルチフィードを検出できません。</p>
無効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行いません。
有効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行います。
開始位置 (中)	<p>範囲指定の開始位置を、原稿の先端からの長さで示します。</p> <p>設定可能範囲 : 0 ~ 510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置</p>

検出範囲	説明
終了位置 (中)	範囲指定の終了位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置

ヒント

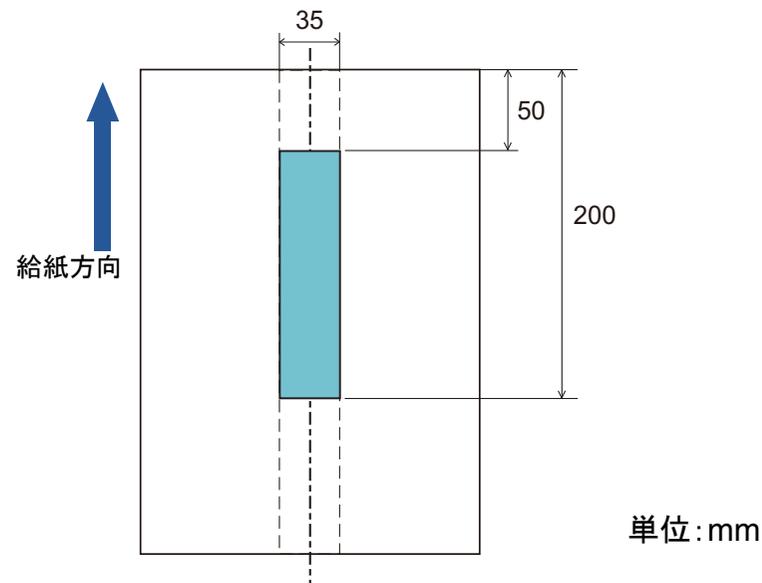
- 開始位置 = 0、終了位置 = 0 に設定した場合、無効 / 有効にかかわらず、全範囲についてマルチフィード検出を行います。
- 原稿の全範囲でマルチフィード検出を無効にしたい場合は、指定モードで「無効」をクリックし、開始位置 = 0、終了位置 ≥ 原稿長さ に設定してください。
- 開始位置が、原稿長さよりも大きな値に設定されると、「無効」の場合は、原稿長さ全域が検出範囲となり、「有効」の場合は、マルチフィードが無効になります。
- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要になります。
有効範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 ≥ 6mm になるように設定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
 - 設定領域を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
 - 設定領域を示す画面上で、開始位置 / 終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。

設定例 1 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置：中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 50mm、終了位置 = 200mm



水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

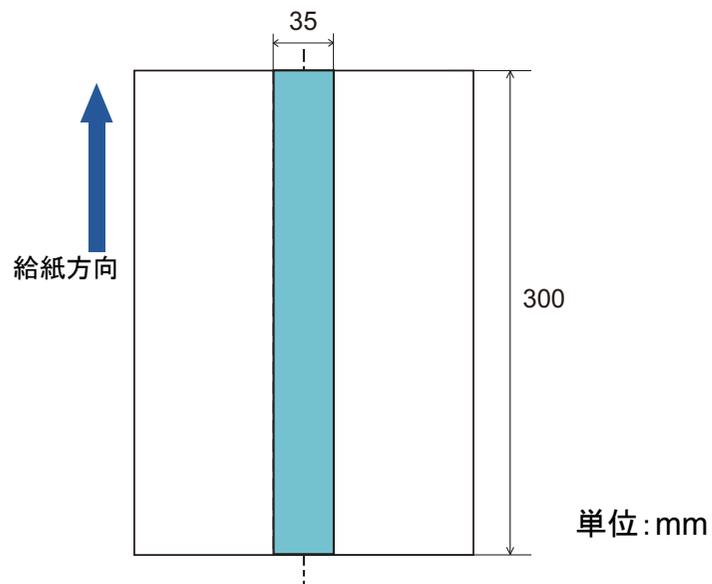
用語集

設定例 2 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 0mm、終了位置 = 0mm



水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。

ヒント

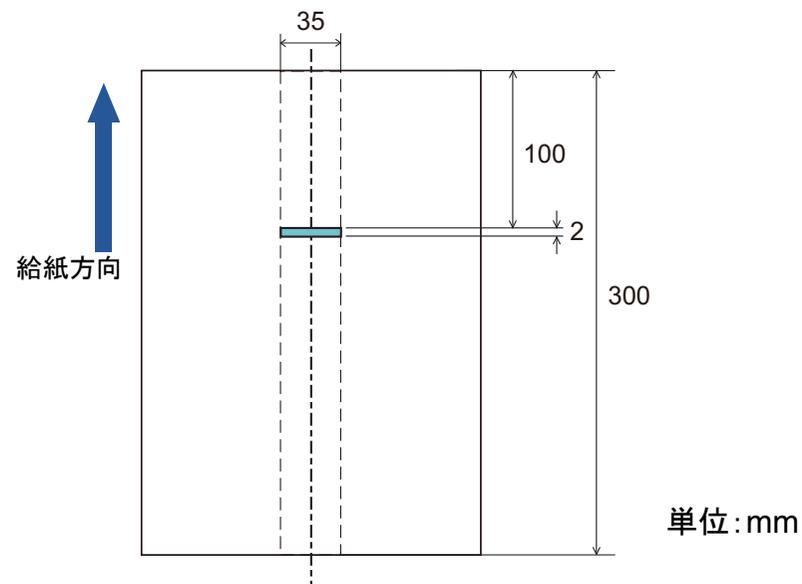
原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（のり付け、静電気による貼り付き）では、マルチフィード検出率が落ちる場合もあります。

設定例 3 : (悪い例)

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 100mm、終了位置 = 102mm



検出範囲（長さ）が5mmに満たないため、正しくマルチフィードを検出できません。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

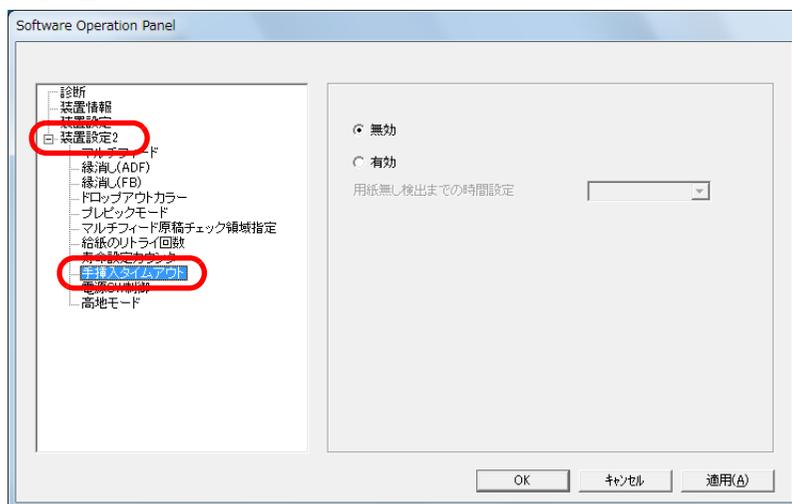
用語集

8.7 待機時間に関する設定

手挿入モードの待機時間の設定 (手挿入タイムアウト)

手で1枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手挿入）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておくことで、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔があいても、連続して読み取りできます。設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了して、手挿入が解除されます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「手挿入タイムアウト」をクリックします。



- 3 「手挿入タイムアウト」を有効にするか、無効にするかを選択します。
有効にする場合は、「用紙無し検出までの時間設定」で、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）を選択します。

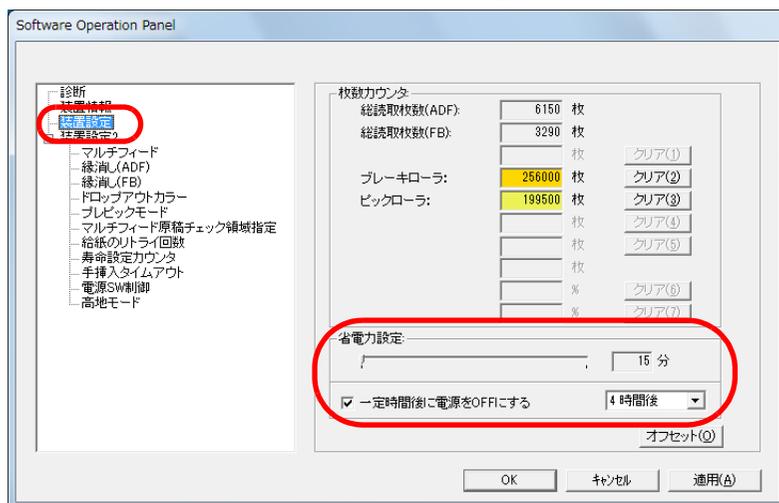
ヒント

手挿入タイムアウトの設定が有効になっていると、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態で読み取りを開始しても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。

省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

省電力モードに入るまでの待機時間を設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。
5 ～ 235 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）できます。

ヒント

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックした場合、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されます。
自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間は、1 時間後 / 2 時間後 / 4 時間後 / 8 時間後から選択できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.8 電源投入 / 切断に関する設定

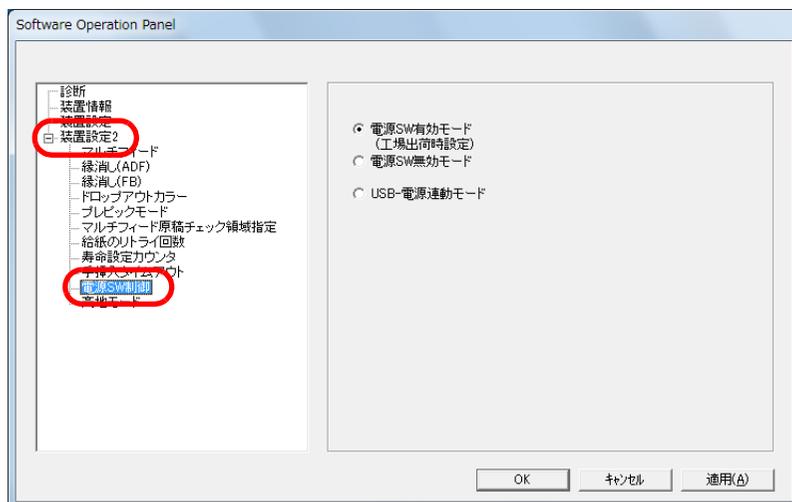
電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）

スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源に合わせてスキャナなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用して電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.111) を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「電源 SW 制御」をクリックします。



3 電源の投入 / 切断方法をクリックします。

電源 SW 有効モード : スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断します。

電源 SW 無効モード : コンピュータの電源に合わせてスキャナなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用して電源を投入 / 切断する

USB-電源連動モード : コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断します。

重要

- 「電源 SW 無効モード」を選択した場合、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしても、スキャナの電源は切断されません。
- コンピュータや USB ハブの種類によって、コンピュータの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。そのような環境では、「USB-電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。

付録

付録では、次の情報について説明します。

付 .1 スキャナ基本仕様	142
付 .2 設置諸元.....	144
付 .3 外形寸法.....	145
付 .4 スキャナのオプション	146
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順	148
付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成	149

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .1 スキャナ基本仕様

項目		仕様		備考
スキャナタイプ		ADF（自動給紙機構）＋フラットベッド		-
イメージセンサー		カラー CCD × 3 （表、裏、フラットベッド）		-
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 3 （表、裏、フラットベッド）		
読み取り可能 原稿サイズ	最小	ADF	52 × 74mm	-
	最大	ADF	216 × 355.6mm	(*1)
		フラット ベッド	216 × 297mm	-
原稿の厚さ		41 ~ 209g/m ² (35 ~ 180kg/ 連) A8 サイズは 127 ~ 209g/m ² (110 ~ 180kg/ 連) プラスチックカードは 1.4mm 以下		(*2)
読み取り速度 （A4、縦） (*3)	バイナリ（2 値白黒）	片面 30 枚 / 分、両面 60 面 / 分		300dpi
	グレースケール			
	カラー			
原稿搭載容量 (*4)		50 枚		厚さ 80g/m ² (69kg/ 連) の原稿 原稿の総厚みが 5mm 以下
光学解像度		600dpi		-
出力解像度	バイナリ（2 値白黒）	50 ~ 600dpi、1200dpi		50 ~ 600dpi は 1dpi ごとに設定可 1200dpi はスキャナドライバで設定可
	グレースケール			
	カラー			

項目	仕様	備考
読み取り階調	各色 8bit	内部処理時は各色 10bit
インターフェース	USB2.0/1.1 (*5)	Bタイプ
そのほかの機能	ハードリアルタイム JPEG 圧縮	-

*1: 長尺帳票読み取り時は、給紙方向（長さ方向）に最大 3048mm（120 インチ）まで読み取り可能です。

863mm より長い長尺帳票を読み取る場合は、解像度を 200dpi 以下にしてください。

*2: 記載している原稿の厚さは、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の原稿の厚さには、制限はありません。

*3: 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

*4: 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。「[2.3 読み取りできる原稿](#)」（P.35）を参照してください。

*5: 添付の USB ケーブルを使用してください。

USB ハブに接続する場合、必ずコンピュータの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。

USB2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB2.0 に対応している必要があります。また、USB1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

USB ケーブルは USB マークを上にして接続してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付 .2 設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）(*1)		301 × 567 × 229mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）(*2)		400 × 800 × 450mm
質量		8.8kg
入力電源	電圧範囲	AC100V、± 10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60、± 3Hz
消費電力	動作時	45W 以下
	省エネ時	2.2W 以下
	電源オフ時	0.35W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35° C、非使用時：-20～60° C
	湿度	動作時：20～80%、非使用時：8～95%
発熱量	動作時	38.7Kcal/Hr 以下
	省エネ時	1.9Kcal/Hr 以下
	電源オフ時	0.3Kcal/Hr 以下
出荷時質量 (*3)		約 13kg
サポート期間		5 年

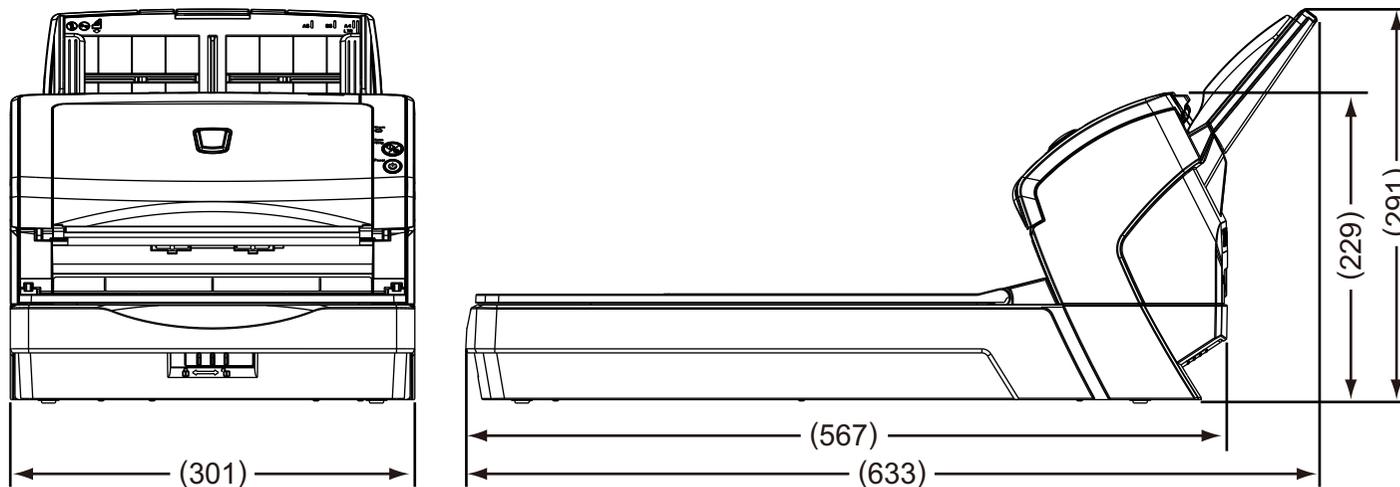
*1：奥行きは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

*3：梱包品などを含めた質量です。

付 .3 外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

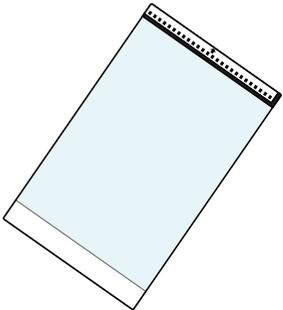
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

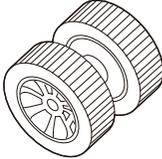
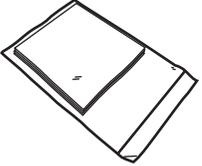
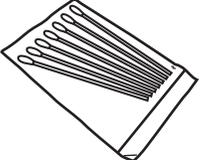
付 .4 スキャナのオプション

品名	型名	説明
ScanSnap A3 キャリアシート 	FI-511ES	A4 サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿を読み取るためのオプションです。 A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿、傷つけない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取りできます。 A3 キャリアシートが、破損、磨耗によって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシート（5枚）を別途ご購入していただけます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-624SA	スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、「ScanAid の梱包品」（P.147）を参照してください。

スキャナのオプションのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」（P.154）にお問い合わせください。

スキャナのオプションの詳細は、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.153）にお問い合わせください。

ScanAid の梱包品

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1本) 	容量 : 50ml	ブレーキローラ (1個) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換
クリーニングペーパー (1パック) 	10 枚入り / 1 パック	ピックローラ (1個) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換
クリーニングクロス (1パック) 	20 枚入り / 1 パック		
綿棒 (2パック) 	50 本入り / 1 パック		

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順

- 1 コンピュータの電源を投入して、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 「コントロールパネル」画面を表示します。
 - Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7
「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。
 - Windows Server 2012/Windows 8
スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」 → 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
 - Windows Server 2012 R2/Windows 8.1
スタート画面左下にある「↓」 → 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
「↓」はマウスを動かすと表示されます。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
⇒ 「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - PaperStream IP ドライバを削除する場合
以下をクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN) for ScanPartner
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for ScanPartner
 - PaperStream IP (ISIS) for ScanPartner
 - Software Operation Panel を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください。
(Software Operation Panel は、PaperStream IP ドライバをインストールすると同時にインストールされます)。
 - Error Recovery Guide を削除する場合
「Error Recovery Guide for ScanPartner」をクリックしてください。
- ABBYY FineReader Sprint を削除する場合
「ABBY FineReader 9.0 Sprint」をクリックしてください。
- Presto! PageManager を削除する場合
「Presto! PageManager 9.34」をクリックしてください。
- マニュアルを削除する場合
「ScanPartner manuals」をクリックしてください。
- 6 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンをクリックします。
- 7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックします。
⇒ アンインストールが実行されます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e- 文書法(*1)の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e- 文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 読み取った画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- A3 キャリアシートを使用して読み取った画像は、e- 文書法に適合した電子文書として扱えません。
本製品で e- 文書に適合した電子文書を作成する場合、A3 キャリアシートを使用して読み取らないでください。

*1：e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。

スキャナドライバの読み取り設定について

本製品で e- 文書に適合した電子文書を作成する場合、適用を受ける各府省令および原本のタイプに従い、次の設定で読み取りを行うことを推奨します。

適用を受ける府省令 またはガイドライン		経済産業省通達			財務省令（国税関係） 総務省令（地方税関係）			厚生労働省通達		
原本タイプ		カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画
推奨読み取り設定 (*1)	画像タイプ	24bitカラー	多値（グレースケール）	2 値白黒	24bit カラー					
	ガンマ補正	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0		指定なし	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0					
	色補正	シャドウ：0 ハイライト：255		-	シャドウ：0 ハイライト：255					
	解像度	150dpi 以上 (*2)		200dpi 以上 (*2)	200dpi 以上 (*2)			300dpi 以上 (*2)		

画像の完全性	原稿の全領域が読み取られていること (*3)
圧縮	JPEG 圧縮が使用可能 (*4)

*1：これら設定は、2005年5月現在の各府省令およびガイドラインを参照しています。実運用にあたってはお客様の責任に基づいて最新の府省令およびガイドラインをご確認ください。設定方法はスキャナドライバのヘルプを参照してください。読み取ったあとは、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。

*2：細かな文字が含まれる文章が判読できない場合は、解像度を上げて読み取ってください。

*3：読み取る原稿の情報をすべて画像に収めるためには、「自動用紙サイズ検出」機能があるスキャナについては、設定のうえ、読み取ることを推奨します。「自動用紙サイズ検出」機能がないスキャナで読み取る場合や、割印などがある原稿の情報をすべて画像に収める場合は、「用紙サイズ」の設定を、読み取る原稿のサイズよりもひとまわり大きなサイズで読み取ることを推奨します。読み取ったあとは、読み取り原稿の必要な情報が画像に収まっていることを確認し、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。

*4：出力されたデータが各府省令に準拠した画像であることを確認したうえで使用してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 「第7章 困ったときには」(P.82)
- サポート & サービスのホームページ
(<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/scanpartner/support/>)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

サポート&サービスのご案内

当社では、お客様に安心してイメージ スキャナ ScanPartner をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

● 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

● 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

● 訪問修理（有償）(*1)

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

● 持込/センドバック修理（有償）(*2)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

● 付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

(1) 引き取り修理サービス（有償）(*1)

(2) 代替機サービス（有償）(*1)

*1：保証期間中の場合も有償となります。

*2：保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

サービスセンター窓口

お客様からのイメージ スキャナ ScanPartner 全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。故障・トラブルのお問い合わせの際は、「[7.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.107)を参考に必要事項を確認してください。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

E-mail : scanners@pfu.fujitsu.com

電話 : 050-3786-0811

- 上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。

上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、042-788-7755 にお問い合わせください。

- 電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。
- トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。

お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。

ホームページ : <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/scanpartner/support/>

受付時間 : 9:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。該当する項目がないか、確認してください。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/scanpartner/faq/>

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後 5 年間です。

ヒント

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

保証期間については、保証書を参照してください。

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

上記窓口では、ABBYY FineReader Sprint および Presto! PageManager に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader Sprint に関しては、次の E-mail にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

E-mail : support_japan@abbyyusa.com

ホームページ : <http://www.abbyy.com>

Presto! PageManager に関しては、次のホームページをご覧ください。

<http://nj.newsoft.com.tw/support/index.php>

サプライ用品の購入先

サプライ用品は、fi シリーズ用 fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z のサプライ用品をご購入ください。

スキヤナの清掃方法と消耗品の交換方法については、「第5章 日常のお手入れ」(P.64) および「第6章 消耗品の交換」(P.75) を参照してください。

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただきます。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

TOP

目次

索引

はじめに

スキヤナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキヤナの動作設定

付録

用語集

用語集

あ行

明るさ
一時的エラー
インターフェース
オーバースキャン

か行

解像度
画像処理
画像反転
片面読み取りモード
ガンマ
グレースケール
原稿検知センサー
原稿づまり
誤差拡散

さ行

しきい値
自動傾き / サイズ検出
白基準
スムージング
操作環境
操作パネル
装置異常

た行

縦向き
ダブルレターサイズ
超音波センサー
ディザ
デフォルト設定
ドライバ
ドロップアウトカラー

な行

ノイズ検出
濃度

は行

ハーフトーン
排出ローラー
ピクセル
ピック開始時間
ピックローラ
フィードローラー
フィルター
フラットベッド
ブランクページスキップ
ブレーキローラ
プレピック

ま行

マルチイメージ
マルチフィード
モアレ

や行

横向き

ら行

両面読み取りモード
輪郭処理
輪郭抽出
レターサイズ

英字

A3 キャリアシート
A4 サイズ
A5 サイズ
A6 サイズ
A7 サイズ
A8 サイズ
ADF（自動給紙機構）
CCD（電荷結合素子）センサー
dpi（dots per inch）
ISIS
OCR（光学式文字認識）
TWAIN
USB

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

あ行

明るさ

読み取った画像の明るさを指します。

一時的エラー

ユーザーによる修復が可能なエラーです。

インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に使用される接続規格です。

オーバースキャン

指定された原稿サイズより大きめに読み取りを行う機能です。

か行

解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像は、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現できます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

画像処理

設定したパラメーターを使用して、読み取った画像に処理を加えて出力します。

画像反転

画像の白と黒を入れ替える読み取り方式です。

片面読み取りモード

原稿の指定した面（表面または裏面）だけを読み取るモードです。（⇔両面読み取りモード）

ガンマ

画像の明るさの変化を示す単位です。機器（スキャナ、ディスプレイなど）への入力電圧と画像の明るさの関数として与えられます。ガンマレートが1以上に設定されている場合、画像は明るくなり、1以下の場合は逆に暗くなります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

グレースケール

白黒を 256 階調（濃淡）で表現します。写真などの画像を読み取るのに適しています。

原稿検知センサー

原稿の通過を監視することにより、マルチフィード、原稿づまりなどの搬送異常を検知します。

原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合または紙滑りにより給紙が中断された場合に表示されるエラーです。

誤差拡散

白黒 2 値を使用した、ハーフトーン（擬似グレースケール）画像処理です。あるピクセル（注目画素）と隣接したピクセルの濃度を合計し、隣接ピクセルへの関係に基づいて高濃度順に黒いピクセルを再配置し、読み取り画像と出力画像間の格差を最小限にできます。注目画素のエラーを周辺画素に分散させることで、隣接ピクセルの濃度データを決定し 2 値化します。新聞の写真など点により構成される画像のモアレを抑え、グレースケールのグラデーションを再現します。

さ行

しきい値

ある色を黒または白と判定するために使用される値です。グレースケールのグラデーションを持つ画像を読み取る際は、設定が必要となります。設定したしきい値に従って、各ピクセルは黒または白に変換されます。

自動傾き / サイズ検出

後端検出：

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

自動用紙サイズ検出：

原稿の形状を検出し、読み取った原稿を同じサイズで出力します。

白基準

白色の基準となるシートです。

スキャナは、このシートの色を白として、そのほかの部分の明るさを調整します。

スムージング

斜めの線やカーブ上の凹凸を一定にし、ギザギザを除去する処理。OCR アプリケーションなどに使用します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

操作環境

スキャナを正常に動作 / 保管するために必要な条件（温度、湿度など）です。

操作パネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。

た行

縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。
原稿 / 画像が縦にセット / 表示されます。

ダブルレターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。11 × 17 インチです。

超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

ディザ

グレースケールの濃度を再現するよう点を配置する処理です。事前に点の配置パターンを設定しておき、グレースケールの濃度を再現します。グレースケールを多値で再現する方式に比べ、必要とするメモリ容量が少量となります。

デフォルト設定

（ハードウェアの場合）

工場出荷時に設定されている各種設定値です。

（ソフトウェアの場合）

インストール直後に設定されている各種設定値です。

ドライバ

コンピュータに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

ドロップアウトカラー

指定した色成分を、読み取った画像から取り除いて出力します。

な行

ノイズ検出

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点を除去し、画像の質を向上させる機能です。

濃度

表示色の深さを指します。

は行

ハーフトーン

ドットパターンによって、濃淡を2値白黒で再現します。写真などの画像を2値白黒で読み取る際に有効です。

排出ローラー

ADFからスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。

ピクセル

読み取った画像を構成する点です。

ピック開始時間

原稿をセットしてから、ホッパエンプティセンサー上を通過してピックが開始されるまでの時間です。

ピックローラ

ADF給紙シュート（フィーダー）の原稿から1ページだけ分離させ、ADF内に搬送するローラーです。

フィードローラー

ADF内で原稿を搬送するローラーです。

フィルター

読み取った画像に対して、フィルター処理を実行する機能です。
フィルターには次のようなものがあります。

デジタルエンドーサ：

読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加する機能です。

縁消し：

読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶす機能です。

フラットベッド

スキャナの入力装置です。

原稿を、1枚ずつ原稿台（ガラス板）の上にのせて読み取ります。

本・冊子など、ADFで読み取りできないような原稿も読み取りできます。

ブランクページスキップ

原稿に含まれるブランクページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取る機能です。

ブレーキローラ

ADF内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。

プレピック

読み取りを開始する前に、原稿を事前に読み取り位置手前まで搬送しておくことです。

原稿をセットした位置から読み取り位置に送るまでの時間を短縮できます。

ま行

マルチイメージ

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）する機能です。

マルチフィード

一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

モアレ

原稿の角度設定が不適切なために生じる、画像上の干渉縞です。

や行

横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

ら行

両面読み取りモード

原稿の両面を一度に読み取るモードです。(⇔片面読み取りモード)

輪郭処理

黒い部分に隣接した、白以外の明るい色の濃度を減少させる機能です。この機能の値を高く設定すると、点状のノイズの除去や、画像をソフトにできます。

輪郭抽出

白と黒の各領域の境界線をトレースし、輪郭として抽出する機能です。

レターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。8.5 × 11 インチです。

英字

A3 キャリアシート

A4 サイズより大きい原稿を読み取る際に使用するクリアファイルです。

A4 サイズ

210 × 297mm の定型原稿サイズです。

A5 サイズ

148 × 210mm の定型原稿サイズです。

A6 サイズ

105 × 148mm の定型原稿サイズです。

A7 サイズ

74 × 105mm の定型原稿サイズです。

A8 サイズ

52 × 74mm の定型原稿サイズです。

ADF（自動給紙機構）

ADF（=Automatic Document Feeder）

複数枚の原稿を、自動的に 1 枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

CCD（電荷結合素子）センサー

原稿からの反射光を感知し、デジタル化（電子化）するセンサーです。スキャナ、カメラなどのデバイスで、目の役割を果たします。

dpi（dots per inch）

1 インチあたりのドット数です。スキャナやプリンターの解像度の単位として使用されます。dpi の値が高いほど、解像度は高くなります。

ISIS

1990 年に米国 Pixel Translations（現：Captive, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

OCR（光学式文字認識）

原稿の文字を認識し、操作可能なテキストデータに変換する機器および技術です。原稿に投光し、反射光の差異を文字の形として認識します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

USB

Universal Serial Bus の略称です。キーボード、スキャナなどの接続に使用されるインターフェースの規格です。最大 127 機までの機器の接続が可能です。また機器の電源を切断せずに、接続・取り外しが可能となっています。

USB 2.0 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで 12Mbps、ハイスピードモードで最大 480Mbps となっています。

USB 1.1 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで最大 12Mbps となっています。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

索引

A

A3 キャリアシート	146
A3 キャリアシートの清掃	74
ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	23
ADF での原稿のセット	32
ADF で読み取りできる原稿	35
ADF の開け方	21
ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）	68
ADF の清掃（布による場合）	69
ADF の閉じ方	21

E

e- 文書法に適合した電子文書の作成	149
--------------------------	-----

S

[Scan/Stop] ボタン	62
ScanAid	146
Software Operation Panel の起動	111
Software Operation Panel のパスワード設定	113

あ

アンインストール手順	148
------------------	-----

い

いろいろな読み取り方	48
------------------	----

お

オプション	146
-------------	-----

か

外形寸法	145
各部の名称と働き	16
画像読み取り用アプリケーションの紹介	28

き

基本仕様	142
------------	-----

け

原稿づまりが発生したときは	83
原稿のセット（ADF の場合）	32
原稿のセット（フラットベッドの場合）	34
原稿のセット方法	31, 33

こ

困ったときには	82, 89
混載条件	41

さ

サービスセンターに連絡する前に	107
-----------------------	-----

し

修理・お問い合わせ	151
種類やサイズが異なる原稿の読み取り	50
省電力モード	25
消耗品	76
消耗品の交換	75
消耗品の交換周期	76

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

す	電源の投入	20
スキャナ外部の清掃	67	
スキャナ内部の清掃	68	
スキャナの動作設定	110	
スキャナの特長	15	
スキャナをお使いになる前に	14	
スタッカーの設定	24	
せ		
清掃 (A3 キャリアシート)	74	
清掃 (ADF (クリーニングペーパーによる場合))	68	
清掃 (ADF (布による場合))	69	
清掃 (スキャナ外部)	67	
清掃 (スキャナ内部)	68	
清掃 (フラットベッド)	73	
清掃が必要な場所	65	
清掃用品	65	
設置諸元	144	
設定できる項目	119	
そ		
操作パネルのエラー表示	85	
操作パネルの操作方法	45	
操作パネルをお使いになる前に	46	
装置ラベル	109	
た		
待機時間に関する設定	138	
て		
手挿入	61	
電源 SW 制御	140	
電源投入 / 切断に関する設定	140	
電源の切断	20	
と		
ドキュメントカバーの開け方	22	
ドキュメントカバーの閉じ方	22	
特長	15	
に		
日常のお手入れ	64	
は		
はじめに	3	
ひ		
ピックアップローラの交換	79	
ふ		
縁消し	128	
フラットベッドでの原稿のセット	34	
フラットベッドの清掃	73	
ブレーキローラの交換	77	
ほ		
本書の使い方	2	
本書をお読みになる前に	5	
ま		
枚数カウンタに関する設定	124	
マルチフィード検出に関する設定	133	

よ

読み取り方一覧	49
読み取り方の変更	61
読み取り時のスキャナ動作の変更	62
読み取り操作の流れ	26
読み取りに関する設定	127

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

ScanPartner SP30F イメージスキャナ

オペレーターガイド

P3PC-4782-02Z0

発行日 2014年1月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。